

MODEL 8527

モータスライダー式耐電圧絶縁試験器

---

取扱説明書

鶴賀電機株式会社

## 安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくために、次の注意事項をお守りください。  
この取扱説明書では、機器を安全に使用していただくために、次のようなシンボルマークを使用しています。

**⚠ 警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合、その危険をさけるための注意事項です。

**⚠ 注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、又は物的障害が発生する危険な状態が生じることが想定される場合の注意事項です。

### ⚠ 警告

本器は高電圧を出力します。感電の恐れがありますので次の事項を厳守してください。

- ・試験中は出力端子、高電圧ケーブル及び試験物には触れないでください。本体に⚠の記号を表示している部分は、高電圧を発生する危険な箇所です。
- ・保護接地端子は必ず大地にアースしてください。
- ・出力を大地アースや商用電源ラインに短絡させないでください。本器のケースが高電圧に充電され危険です。また、本器の故障にもつながります。
- ・操作時は電気作業用のゴム手袋を着用してください。
- ・被試験物へ接続するケーブルは付属の高電圧ケーブル、又は使用電圧に適合した電線をご使用ください。
- ・電源スイッチのON/OFFは繰り返さないでください。故障の原因にもなり危険です。
- ・設置の場所

本製品は次に掲げる爆発性物質及び可燃物性、さらに、それらを含有する物性を使用される所、保管される場所では絶対に設置して使用しないでください。（労働安全衛生法施工令別表1危険物）

[爆発性の物][可燃性の物][引火性の物][可燃性のガス][酸化性の物]

※8527は内部に金属製の物質が使用されています。腐食・錆の発生による劣化、電気的な火花により爆発・引火する恐れがあります。

- ・8527の上部に物を置いたり、踏み台としないでください。  
※放熱状態が悪くなり、内部の温度が上昇し故障の原因となります。  
※上部が変形する恐れがあります。
- ・容量性の負荷（試験物）に電圧を印加すると、負荷の容量分の値によっては、無負荷より出力電圧が上昇することがあります。また電圧依存性のある負荷（試験物）の場合には、波形歪みが生じることがあります。試験電圧2kVの場合ですと2000pF以下の容量の影響は無視できます。

### ⚠ 注意

供給電源について以下の事柄に注意してください。

本器は500VAの高電圧トランスを搭載しています。次の場合本器を接続している商用電源ライン等に、相当大きな電流(数10A)が流れる場合があります。

- ・耐電圧試験スタート直後の数10ms。
- ・被試験物が不合格だった場合、本器が不合格判定するまでの数10ms。

供給電源ラインの容量、またそのラインに接続されている他の機器等に考慮してください。

また、交流安定化電源装置を使用した場合、その装置の電流制限回路の動作により、出力を高速でON/OFFします。よって本器の高電圧出力に相当大きなサージ電圧を発生させ、大変危険です。

## ⚠ 注 意

- ・ 次のような場所では使用しないでください。故障、誤動作等のトラブルの原因になります。
  - ▶ 雨、水滴、日光が直接当たる場所。
  - ▶ 高温・多湿や、ほこり・腐食性ガスの発生する場所。
  - ▶ 外来ノイズ、電波、静電気の発生の多い場所。
  - ▶ 不安定な場所や機械的振動の多い場所。
  - ▶ 高感度の測定器や受信機が周囲にある場所。
- ・ ケースを開けたり、本体を改造しないでください。感電の危険やトラブルの原因となります。
- ・ 異常な動作が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ 保守、点検される時は、必ず使用を停止し電源を切ってください。
- ・ 振動のしている所、衝撃をうける所では使用しないでください。故障の原因となります。

## 保管・運搬について

## ⚠ 警 告

- ・ 雨などの水滴がかからないようにしてください。
  - ※感電、動作不良の恐れがあります。
- ・ 横にしないでください。取り扱いに注意して、振動などにより倒れないようにしてください。
  - ※内部の機構が損傷、動作不良の恐れがあります。

## ⚠ 注 意

- ・ 運搬時はシャーシ（底板）を持ってください。  
高電圧出力端子部の赤色のブッシング（3項、各部の名称と機能の⑨⑳参照）を持って運搬しないでください。
  - ※ブッシング（赤色）が破損し、8527が落下して大けがの恐れがあります。
- ・ 運搬は機械的振動、衝撃を極力少なくしてください。
  - ※内部の機構が損傷、動作不良の恐れがあります。

## インターロックについて

8527はインターロック機能を装備しています。

インターロック機能作動中は試験ができません。

付属の **REMOTE/OUT** プラグを裏面の **REMOTE/OUT** コネクタ⑳に差し込んでから **STOP** スイッチ㉔を押すとインターロックが解除されます。

インターロック機能については15.3項（P48）を参照してください。

# 目次

1. はじめに	1
1. 1 ●出荷時の設定	1
2. ご使用前のご確認	2
2. 1 ●開梱時の点検	2
2. 2 ●取り扱い上の注意	2
3. 各部の名称と機能	3
3. 1 ●前面パネルの説明	3
3. 2 ●裏面パネルの説明	7
3. 3 ●表示器の状態表示と説明書上での表記	8
4. ご使用前の準備	9
4. 1 ●出力電圧計の零位調整	9
4. 2 ●保護接地端子の接続	9
4. 3 ●外部制御機器との接続	9
4. 4 ●高電圧ケーブルの接続	9
4. 5 ●電源コードの接続	10
4. 6 ●電源の投入としゃ断	10
4. 7 ●始業点検（絶縁抵抗試験の確認）	11
4. 8 ●試験の前に	11
4.8.1 パワーオンゼロボルトスライダ機能	11
5. 各モードでの設定項目	13
5. 1 ●READY状態	13
5. 2 ●試験条件設定モード	13
5. 3 ●メモリー書き込みモード	13
5. 4 ●メモリー読み出しモード	13
6. 試験モードの種類と設定のながれ	14
6. 1 ●試験モードの種類	14
6. 2 ●設定のながれ	14
7. モータスライダの操作方法	15
7. 1 ●モータスライダ操作の概要	15
7. 2 ●モータスライダの手動操作方法	16
7. 3 ●モータスライダの自動操作方法	16
8. 耐電圧試験条件の設定	17
8. 1 ●モータスライダ電圧設定	17
8. 2 ●基準電圧の設定	18
8. 3 ●上限漏れ電流の設定	20
8. 4 ●下限漏れ電流の設定	21
8. 5 ●試験時間の設定	23
9. 絶縁抵抗試験条件の設定	25
9. 1 ●絶縁抵抗試験レンジの設定	25
9. 2 ●上限抵抗値の設定	26
9. 3 ●下限抵抗値の設定	28
9. 4 ●マスクタイマー時間の設定	29
9. 5 ●試験時間の設定	30
9. 6 ●放電機能設定	32
10. メモリー機能	33
10. 1 ●メモリーの構成	33
10. 2 ●メモリー書き込み	33
10. 3 ●メモリー読み出し	34
10. 4 ●メモリーによるモータスライダ電圧調整	35
11. 試験方法（スタートから判定結果まで）	36
11. 1 ●W試験（耐電圧試験）	36
11. 2 ●I試験（絶縁抵抗試験）	38
11. 3 ●W-I試験（耐電圧→絶縁抵抗試験）	39
11. 4 ●I-W試験（絶縁抵抗→耐電圧試験）	40
12. キーロック	41
13. 特殊テストモード	42

## 目 次

14.	リモートコントロール	43
14. 1	●REMOTEコネクタによる操作	43
14. 2	●REMOTE端子台による操作	44
14. 3	●REMOTE/OUTコネクタによる操作	44
14. 4	●REAR:MODEによる操作	45
14. 5	●REMOTE/OUTコネクタによるモータスライダ電圧調整	46
14. 6	●各リモートコントロールの優先順位	46
15.	外部制御	47
15. 1	●REMOTE/OUTコネクタによる制御	47
15. 2	●コネクタピン配列と機能	47
15. 3	●インターロック信号	48
15. 4	●保護機能動作 (PROTECTION)	48
15. 5	●出力信号と制御用電源	49
16.	ステータス出力	50
16. 1	●STATUS OUTの出力名と出力条件	50
16. 2	●ステータス出力仕様	50
16. 3	●ステータス出力条件の設定	51
17.	タイミングチャート	52
17. 1	●モータスライダ動作	52
17. 2	●モータスライダ停止後、試験終了まで	53
18.	ブザー音の調整	54
19.	電圧モニター出力	55
20.	エラーメッセージ	56
21.	保守・故障について	57
21. 1	●お手入れについて	57
21. 2	●故障かなと思ったら	57
21. 3	●ヒューズの交換	57
21. 4	●長期間、故障なくお使い頂くには	58
22.	仕様	59

# 1. はじめに

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は、本製品をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取り計らいください。また、いつでも読めるよう本製品の近くに備えてください。

8527は、高電圧を取り扱いますので、作業者の安全に対し多数の配慮を施し、多くの保護機能を持った設計を行っています。

- ・耐電圧試験器としては最大出力5kV、出力容量500VAの能力があり電気用品安全法をはじめ各種規格に基づく電子機器・電子部品の耐電圧試験ができます。
- ・耐電圧試験用の試験電圧調整は、モータによって自動的に設定されます。
- ・試験電圧が設定値の±5%又は±50Vいずれか大きい値の範囲に入らないと試験を開始しない基準電圧設定、上下限漏れ電流設定、タイマー機能により正確な試験ができます。
- ・絶縁抵抗試験器として、500V/2000MΩ及び1000V/2000MΩの2レンジを持っています。
- ・試験電圧・電流・試験時間の表示は見やすい緑色大型LED表示器を採用しています。
- ・各種規格及び法律に規定された試験条件の書き込み、読み出しができる9点のメモリーを備えています。
- ・ステータス出力として試験中、判定結果などをリレー接点で出力します。
- ・**REMOTE/OUT**コネクタにより、本器の状態に合わせて待機中、試験中、判定結果などの出力信号をオープンコレクタで出力します。
- ・外部より試験のスタート、ストップが可能なりモートコントロール用コネクタ及びリモートコントロール端子を設けていますので、判定結果及び出力信号と併せて利用することにより自動化、省力化を推進できます。

## 1. 1 ● 出荷時の設定

工場出荷時は下記の初期値に設定しています。

機能	設定値	摘要
キーロック	OFF	詳細内容は12項キーロックを参照ください。
ダブルアクション	OFF	詳細内容は13項特殊テストモードを参照ください。
GOODホールド	OFF	
モーメンタリ	OFF	
FAILモード	OFF	
パワーオンゼロ ボルトスライダ	OFF	4.7.1項参照してください。

メモリー（No.1～No.9共通）

工場出荷時にはメモリーNo.1～9共、下記のデータを書き込んでいます。

**ENTER**キーと**SHIFT**キーを同時に押しながら電源をONすると出荷時の設定になります。

試験モード	耐電圧試験条件	絶縁抵抗試験条件		
W-I	スライダ電圧設定	OFF (0.00kV)	試験電圧レンジ	0.5kV
	基準電圧	OFF (0.00kV)	上限抵抗値	OFF (2000MΩ)
	上限漏れ電流	10.0mA	下限抵抗値	10MΩ
	下限漏れ電流	OFF (0.0mA)	マスクタイマー時間	0.3s
	試験時間	60.0s	試験時間	60.0s
			放電機能	ON

## 2. ご使用前のご確認

### 2. 1 ●開梱時の点検

- (1) 開梱に当たって  
お手元に届きましたら輸送中に損傷を受けていないかご確認の上、開梱してください。  
万一、破損していたり仕様どおり作動しない場合は、お買い求め先又は当社営業所にご連絡ください。  
また、本製品を輸送するときのために、梱包材を保管しておくことをお勧めします。
- (2) 収納品のチェック  
梱包箱には本体と下記の標準付属品が収納されていますので、ご確認ください。

#### 付属品リスト

高電圧ケーブル	2m	1組
アース線	3m	1本
電源コード	2.5m	1本
REMOTE/OUTプラグ		1個 (36P)
ヒューズ	10A	1本
取扱説明書		1部
RS-232Cインタフェース取扱説明書		1部



#### 注意

外部通信用RS-232C (Dサブ9ピン) コネクタ、形名5881-11-018 (9ピン-9ピン/1.8m) は別売りです。お客様にてご用意される場合、取付けはインチピッチねじタイプをご使用願います。

### 2. 2 ●取り扱い上の注意

8527は、高電圧を取り扱いますので安全性に十分留意して設計していますが、最大5kVの高電圧を外部に供給しますので、取扱いを誤れば人命にかかわる事故が起こる恐れがあります。事故防止のため、下記の注意事項を厳守の上、常に細心の注意を払い安全を確認の上ご使用ください。

- (1) 保護接地端子 (裏面) は付属のアース線を用いて確実に大地アースに接続してください。接地が不完全であれば、出力を大地又は電源ラインに短絡した場合、本器の外箱が高電圧に充電され、作業者が外箱に触れると非常に危険です。  
アース線が断線していないのかも確認してください。



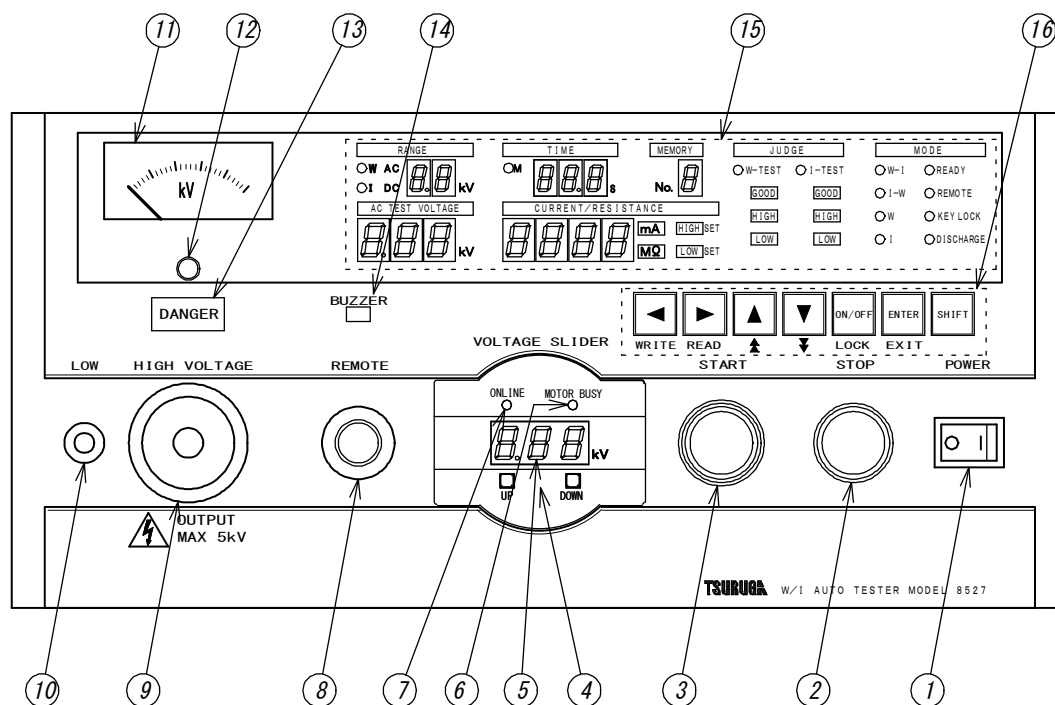
#### 警告

接地が不完全な場合、感電の恐れがあります。

- (2) 試験中は、出力端子、高電圧ケーブル、被試験物には、絶対に触れないでください。  
(3) 被試験物への接続は、必ず出力OFF状態でLOW側を先に接続してください。  
(4) 8527使用の際は、感電防止のためゴム手袋を着用してください。

### 3. 各部の名称と機能

#### 3. 1 ● 前面パネルの説明



- ① **POWER** 電源スイッチです。右側を押すとON、左側を押すとOFFします。
- ② **STOP** 試験動作の中断及び判定復帰、スライダの停止用スイッチです。
- ③ **START** 試験開始スイッチです。  
ただし、**REMOTE** コネクタ⑧を使用したとき、又は裏面パネルの**REMOTE** 端子台⑫及び**REMOTE/OUT** コネクタ⑬よりリモート操作するときは作動しません。

#### VOLTAGE SLIDER (耐電圧試験用)

- ④ **UP**、**DOWN** 耐電圧試験の試験電圧を調整するキーです。  
キーロック機能をONした時、無効となります。
- ⑤ **スライダー表示器** スライダーの電圧を試験電圧に変換して表示します。
- ⑥ **MOTOR BUSY** ランプ スライダーが動作中のとき点灯します。
- ⑦ **ONLINE** ランプ RS-232Cインターフェイスによるリモートコントロール時に点灯します。(詳細はRS-232Cインターフェイスの取扱説明書参照)
- ⑧ **REMOTE** リモートコントロール用コネクタです。
- ⑨ **HIGH VOLTAGE** 試験電圧出力用の高電圧側端子です。  
試験中は高電圧を出力します。**DANGER** ランプ⑬点灯時は、絶対に触れないでください。感電する恐れがあります。  
裏面パネルの**HIGH VOLTAGE** と共通です。
- ⑩ **LOW** 試験電圧出力用の低電圧側端子です。本器のケースと同電位です。
- ⑪ **出力電圧計** 出力電圧値を指示する指示電気計器です。
- ⑫ **零位調整器** 耐電圧試験用電圧計のゼロを合わせます。非通電時に行います。



⑬ **DANGER** ランプ

試験電圧を出力しているとき点灯して警告します。

**DANGER** ランプ⑬点灯中は、高電圧ケーブル及び被試験物には絶対に触れないでください。感電する恐れがあります。

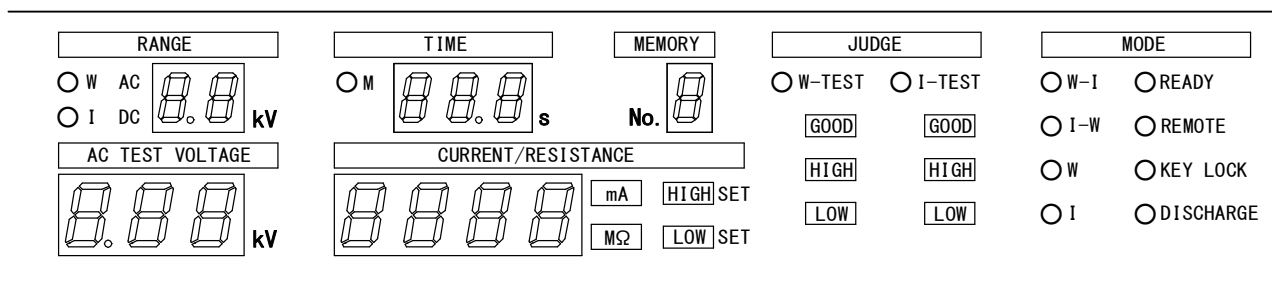
⑭ ブザー

ブザーの開口部です。

**⚠ 警 告**

ブザーには、物を入れたり、ドライバー等の挿入は絶対にしないでください。

- ・ 金属片などで触れたりすると感電の恐れがあります。
- ・ 故障、誤動作等のトラブルの原因になります。



⑮ 表示部

試験条件、試験結果などの情報を表示します。

READY ランプ

READY状態の時に点灯します。

REMOTE ランプ

リモートコントロール時に点灯します。  
点灯時は **START** スイッチ③は操作が無効になります。

KEY LOCK ランプ

キーロック機能をONした時に点灯します。点灯時は **START** スイッチ③及び **STOP** スイッチ②以外は操作が無効になります。

DISCHARGE ランプ

READY状態で放電機能設定をONした時に点灯します。  
試験中は消灯し絶縁抵抗試験後、放電中に点灯します。

W-I ランプ

試験モード耐電圧試験→絶縁抵抗試験の時に点灯します。

I-W ランプ

試験モード絶縁抵抗試験→耐電圧試験の時に点灯します。

W ランプ

試験モード耐電圧試験の時に点灯します。

I ランプ

試験モード絶縁抵抗試験の時に点灯します。

レンジ表示器 W AC (RANGE) I DC

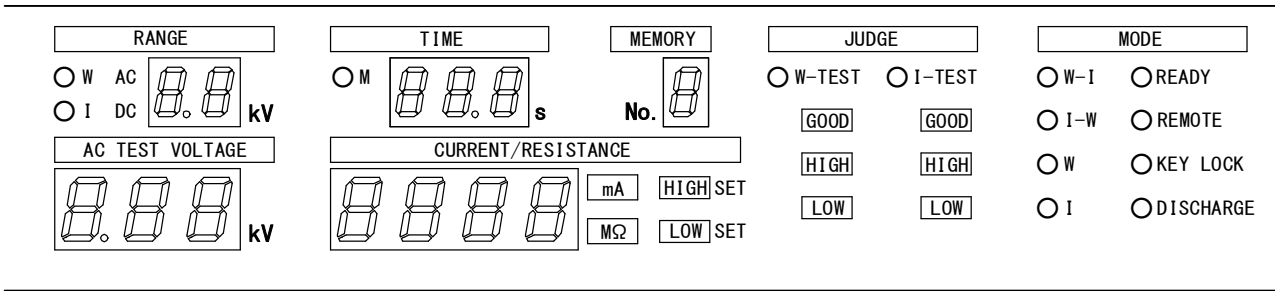
耐電圧試験の電圧レンジを表示します。(5.0kV)  
絶縁抵抗試験の電圧レンジを表示します。(0.5kV又は1.0kV)

耐電圧試験の電圧表示 (AC TEST VOLTAGE)

READY状態では基準電圧値を、試験中は出力端子の電圧値を読みとって表示しています。

電流/抵抗表示器 (CURRENT/RESISTANCE)

(1) 耐電圧試験の上下限漏れ電流設定時は漏れ電流設定値を、試験中は測定値を表示します。  
(2) 絶縁抵抗試験の上下限抵抗設定時は抵抗設定値を、試験中は測定値を表示します。



**mA** ランプ 耐電圧試験中に点灯し、電流/抵抗表示器が漏れ電流値であることを表示します。

**MΩ** ランプ 絶縁抵抗試験中に点灯し、電流/抵抗表示器が絶縁抵抗値であることを表示します。

**試験時間表示器 (TIME)** 各試験（耐電圧試験と絶縁抵抗試験）ごとの試験時間を表示します。試験中は試験ごとの残時間表示します。試験時間をOFFに設定した時、試験中は経過時間を表示します。

**M** ランプ 絶縁抵抗試験中、マスクタイマー時間中に点灯します。

**HIGH** SET (1)耐電圧試験中、上限漏れ電流設定時に点灯します。  
(2)絶縁抵抗試験中、上限抵抗設定時に点灯します。

**LOW** SET (1)耐電圧試験中、下限漏れ電流設定時に点灯します。  
(2)絶縁抵抗試験中、下限抵抗設定時に点灯します。

**メモリー-No. 表示器 (MEMORY No.)** メモリーモードの時、設定したメモリー番号を表示します。

**W-TEST** ランプ 耐電圧試験中点灯します。

**GOOD** 耐電圧試験後、試験判定結果が合格の時に点灯します。

**HIGH** 耐電圧試験後、試験判定結果が上限不合格の時に点灯します。

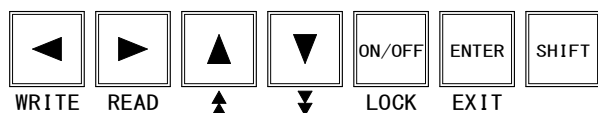
**LOW** 耐電圧試験後、試験判定結果が下限不合格の時に点灯します。

**I-TEST** ランプ 絶縁抵抗試験中点灯します。

**GOOD** 絶縁抵抗試験後、試験判定結果が合格の時に点灯します。

**HIGH** 絶縁抵抗試験後、試験判定結果が上限不合格の時に点灯します。

**LOW** 絶縁抵抗試験後、試験判定結果が下限不合格の時に点灯します。



## ⑩ 設定キー

基準電圧、漏れ電流、試験時間などの試験条件の設定、及びメモリーの書き込み、読み出しを行うキーです。



WRITE

各設定項目を左方向に順送りに選択するキーです。

(**SHIFT**キーと同時に押すと**WRITE**キーとなり、メモリーの書き込みに使用します。)



READ

各設定項目を右方向に順送りに選択するキーです。

(**SHIFT**キーと同時に押すと**READ**キーとなり、メモリーの読み出しに使用します。)



▲

設定値の1桁目を1digitずつ上昇させるキーです。

(**SHIFT**キーと同時に押すと**▲**キーとなり、設定値の2桁目を1digitずつ上昇させます。)

押し続けると連続して上昇させます。

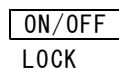


▼

設定値の1桁目を1digitずつ下降させるキーです。

(**SHIFT**キーと同時に押すと**▼**キーとなり、設定値の2桁目を1digitずつ下降させます。)

押し続けると連続して下降させます。



LOCK

各設定項目の設定要否を選択するキーです。

(**SHIFT**キーと同時に押すと**LOCK**キーとなり、キーロックの設定／解除ができます。)



EXIT

試験条件の設定終了、メモリー設定時の決定に使うキーです。

(**SHIFT**キーと同時に押すと**EXIT**キーとなり、設定モード及びメモリーモードを中断し、READY状態に戻ります。)

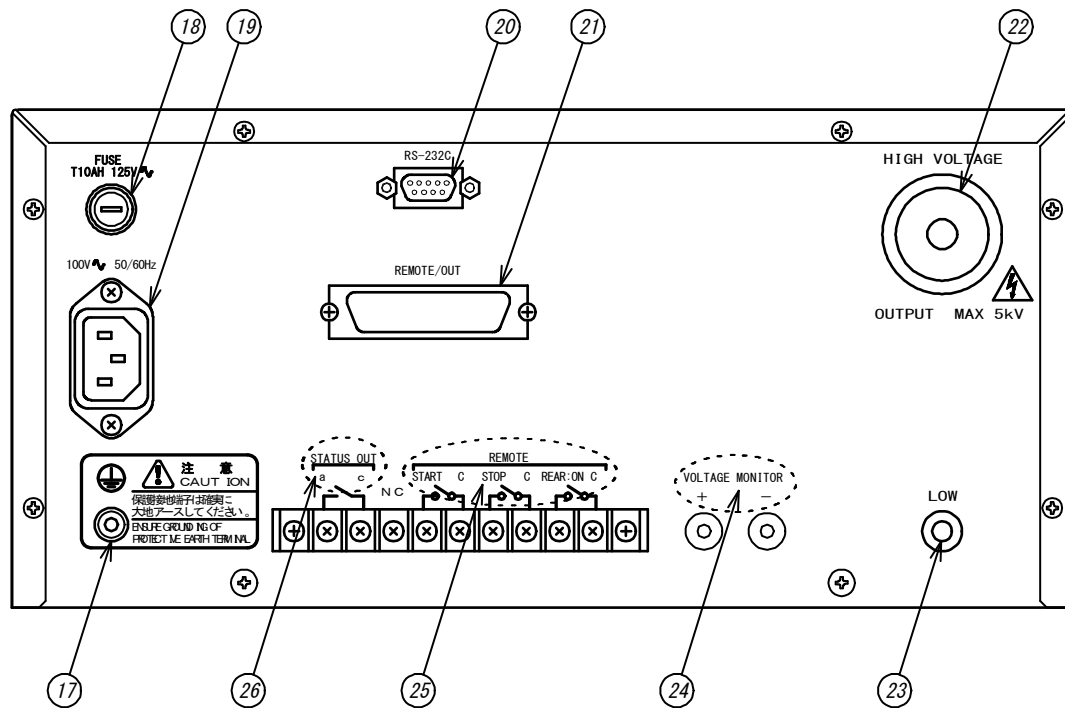


SHIFT

シフトキーで、他のキーと組み合わせて使用します。

(各キーの青色で表示した機能が有効になります。)

## 3. 2 ●裏面パネルの説明



## ⑰ 保護接地端子

大地接地用端子です。

付属のアース線（緑色）を使用して、必ず大地へ接地してください。本器のケースと同電位です。

## ⑱ FUSE 10A

ヒューズソケットです。ヒューズの定格は下表を参照してください。

区分	電源電圧	ヒューズ定格
標準品	AC100V	125V 10A
	AC115V	
オプション	AC200V	250V 5A
	AC220V	
	AC240V	

耐ラッシュ形ですので添付ヒューズ以外は使用しないでください。

## ⑲ 100V～50/60Hz

供給電源接続用インレットです。

付属の電源コード（3P）に適合します。

## ⑳ RS-232C

シリアル通信RS-232C（Dサブ9ピン）コネクタです。

インタフェース取扱説明書を参照してください。

## ㉑ REMOTE/OUT

設定用入力及び出力信号を出力するコネクタです。

詳細は15.1項（P47）を参照してください。

## ㉒ HIGH VOLTAGE

試験電圧出力用の高電圧側端子です。

試験中は高電圧を出力します。**DANGER**ランプ⑳点灯時は、絶対に触れないでください。感電する恐れがあります。

前面パネルの**HIGH VOLTAGE**と共通です。

## ㉓ LOW

試験電圧出力用の低電圧側端子です。本器のケースと同電位です。

## ㉔ VOLTAGE MONITOR

耐電圧出力のモニター出力です。

出力電圧：DC0～5V（AC0～5kVに対して）

- ⑫ **REMOTE** リモートコントロール用端子台です。
- START C** **REAR:ON C**端子が短絡状態の時、**START C**端子を短絡すると試験を開始します。  
なお、前面パネルの**REMOTE**コネクタ⑧使用時は、**START C**端子は無効になります。
- STOP C** 端子間を短絡すると、試験動作の中断及び判定結果の復帰ができます。
- REAR:ON C** 端子間を短絡すると、裏面端子台から試験開始が可能となり、前面パネルの**START**スイッチ③は無効となります。  
詳細は14.2 (P43) を参照してください。
- ⑬ **STATUS OUT** ステータス出力用端子台です。  
詳細は16.1 (P50) を参照してください。

### 3. 3 ● 表示器の状態表示と説明書上での表記

	数字表示器	面発光表示器	LEDランプ
点灯状態			● W-TEST
点滅状態			◎ W-TEST
消灯状態			○ W-TEST

## 4. ご使用前の準備

### 4. 1 ●出力電圧計の零位調整

電源スイッチをONする前に、出力電圧計⑩の指針は“0”を表示しているか確認してください。

ずれている場合はマイナスドライバーで零位調整器⑫を回して調整してください。

### 4. 2 ●保護接地端子の接続

保護接地端子⑬を付属のアース線を用いて大地に接地してください。接地が不完全な時や、出力を大地又は電源ラインに短絡した時は本器の外箱が高電圧に充電され、外箱に触れた時危険です。また大地アース線が断線していないか使用の際、必ず点検してください。

#### ⚠ 警告

接地が不完全な場合、感電の恐れがあります。

### 4. 3 ●外部制御機器との接続

**REMOTE** コネクタ⑧、**REMOTE** 端子台⑮、**REMOTE/OUT** コネクタ⑱及び**STATUS OUT** 端子台⑲に外部制御機器を接続できます。

接続方法は14～15項（P43～50）を参照してください。

### 4. 4 ●高電圧ケーブルの接続

出力部の選択

高電圧出力を前面パネル側又は裏面パネル側のいずれから取り出すかを選択してください。試験中は前後の高電圧出力端子は共に高電圧に充電されます。

前面パネル選択時

**HIGH VOLTAGE** 端子⑨及び**LOW** 端子⑩に付属の高電圧ケーブルを接続します。

裏面パネル選択時

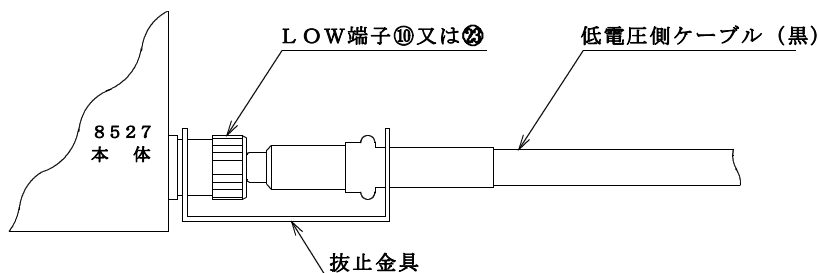
**HIGH VOLTAGE** 端子⑳及び**LOW** 端子㉑に付属の高電圧ケーブルを接続します。

高電圧ケーブルは付属のケーブル、又は使用電圧に適合した電線をご使用ください。

#### ⚠ 警告

- ・高電圧ケーブルの接続は必ず出力OFF状態で出力電圧計⑩が“0”Vを指示しているのを確認してから行ってください。感電の恐れがあります。
- ・付属の高電圧ケーブルのワニグチクリップのビニール被覆部は、絶縁耐電圧がありませんので試験中は絶対に触れないでください。感電の恐れがあります。
- ・高電圧出力の引き出しは、前面パネル又は裏面パネルのいずれかで行ってください。前面パネルと裏面パネルの併用は危険ですので、絶対に行わないでください。

**LOW**端子に低電圧側ケーブルを接続した後、必ず抜止金具を端子に固定してください。



抜止金具のU字溝側を本体のLOW端子に締めつける

### 警告

低電圧側ケーブルがはずれると被試験物全体が高電圧に充電され感電する恐れがあります。

## 4. 5 ● 電源コードの接続

本体の電源スイッチ **POWER** ①がOFFになっているのを確認した後、付属の電源コードを裏面の供給電源接続用インレットに接続します。

電源コードの差し込みプラグ (3P) を接地極付コンセントに接続します。

### 警告

電源電圧はAC100Vであることを確認してください。  
AC90V～110Vの範囲でお使いください。  
この範囲外では故障や動作不完全の原因になります。  
オプションの標準外電源電圧の場合は、公称電圧の±10%の範囲内でご使用ください。

## 4. 6 ● 電源の投入としゃ断

電源しゃ断時の試験条件は、電源をOFFしても保持され、次回電源ON時にその条件で復帰します。

しゃ断は、READYランプ点灯状態で電源をOFFしてください。

### 警告

本器は、機械的なモータスライダ式の試験器です。  
標準工場出荷時の設定では、**POWER**スイッチ①をONしたとき耐電圧試験の設定電圧は、**POWER**スイッチ①しゃ断前と同じになりますので注意してください。基準電圧設定とVOLTAGE SLIDERの表示を確認の上、ご使用願います。確認なしで絶対に試験開始しないでください。

### 注意

試験電圧出力中に**POWER**スイッチ①をOFFしないでください。  
故障の原因になります。ただし、試験物等の異常等で**STOP**スイッチを押しても電圧出力が下がらないような非常停止の場合は除きます。

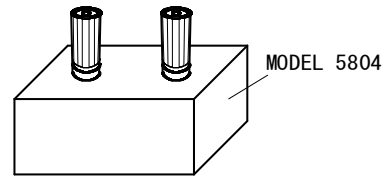
## 4. 7 始業点検（絶縁抵抗試験の確認）

測定開始する前に次の点検をすることを推奨します。

### 用意するもの

推奨抵抗：絶縁抵抗計校正用抵抗器 MODEL 5804シリーズ（オプション）または相当品

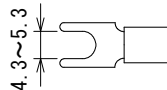
形名	抵抗値
5804-11	1MΩ
5804-12	10MΩ
5804-13	100MΩ
5804-14	1000MΩ



### 推奨抵抗の仕様

最高回路電圧	DC1500V
許容差	±1%
温度係数	±50ppm/°C ただし、1000MΩは±100ppm/°C
接続端子	ジョンソン12mm端子 赤色

裸圧着端子：U型Y型4～5mm



### 注意

市販品の抵抗器を用意した場合

- ・試験電圧によって用意した抵抗器の定格電圧または電力を超えると、抵抗器は破損することがあります。
- ・抵抗器は定格電力の約50%以内で使用することを推奨します。

### 確認方法

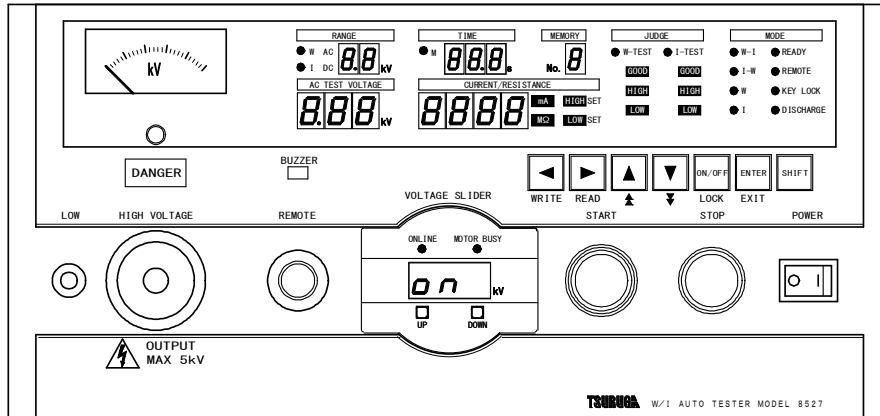
- (1) 抵抗器を用意します。
- (2) 抵抗器をクリップするため、裸圧着端子を推奨抵抗器の端子に締め付けてください。
- (3) 測定電圧設定を500V、試験モード I（絶縁抵抗試験）にします。
- (4) 「NG」判定しないように下限抵抗値を試験する抵抗値より小さくするか、タイマーおよびマスクタイマーを長くしてください。
- (5) 用意した抵抗器をテストリードで接続してください。
- (6) 測定開始し測定表示値が用意した抵抗器に対し確度内（測定器の確度+抵抗器の許容差）であることを確認してください。

## 4. 8 試験の前に

- 1) 操作の前に 2.2項 **取り扱い上の注意** を熟読してから、**POWER** スイッチを ON してください。
- 2) **POWER** スイッチを ON 後、表示器のランプテストをします。  
ランプテストが終了すると、スライダ表示器は、電源しゃ断前の試験条件により決まります。
  - パワーオンゼロボルトスライダ設定 = ON しているとスライダ表示器は 0.00kV になります。
  - パワーオンゼロボルトスライダ設定 = OFF しているとスライダ表示器はスライダ電圧設定値になります。
  - パワーオンゼロボルトスライダ設定 = OFF、スライダ電圧設定値 = OFF のときは、スライダは昇降せずスライダ電圧を試験電圧に換算して表示します。



### 4.8.1 パワーオンゼロボルトスライダー機能



電源投入時の、耐電圧試験用のスライダー電圧の状態を選択します。

**⚠ 注意**

試験前にスライダー表示値を確認してから試験を行ってください。

#### 設定手順

パワーオンゼロボルトスライダーの設定モードに入る

- ① **DOWN** キーを押しながら電源をONします。
- ② この間ランプテスト状態になります。ただし **DANGER** ランプは、約3秒のランプテストとなります。  
次にスライダー表示器⑤が **on** 又は **off** 点灯表示します。  
このとき **DOWN** キーから手を離しても構いません。

設定の変更

この状態で **DOWN** キーを押すごとに **on** 又は **off** の選択ができます。

終了

電源OFFします。

変更した設定を有効にする

電源を再投入すると新しい設定が有効になります。

#### 設定後の電源投入時のスライダー動作について

[ONのとき]

- ・前面パネルの表示器がランプテスト状態になります。
- ・スライダー表示器は降下しながら0.00kVになります。この間、ランプテスト状態になります。ただし **DANGER** ランプは、約3秒のランプテストとなります。

注意) 電源投入時からスライダー電圧0.00kVに至るまでの制御信号、コマンドについて

- ① **START**、**STOP** スイッチやキー操作も受け付けません。
- ② **REMOTE/OUT** コネクタの有無や設定条件に関係なく0.00kVになります。
- ③ RS-232Cのコマンドも受け付けません。

[OFFのとき]

- ・しゃ断前の試験条件にスライダー電圧を設定していると、電源投入後、ランプテストした後、スライダーが昇降します。

#### 電源起動時のモータースライダー動作例

設定値		電源起動時のVOLT SLIDER表示の動き	
パワーオンゼロボルトスライダー機能	モータースライダー電圧設定 (1.20kV)	VOLT SLIDER表示	
OFF	OFF	(例1) 1.20 k Vで電源断→電源起動	(例2) 0.00 k Vで電源断→電源起動
OFF	ON	電源ON時1.20 k V表示のまま	電源ON時0.00 k V表示のまま
ON	OFF	電源ON時1.20 k V表示のまま	電源ON時0.00→1.20 k Vまで上昇動作
ON	ON	電源ON時1.20→0.00 k V表示に降下動作	電源ON時0.00 k V表示のまま
ON	ON	電源ON時1.20→0.00 k V表示に降下動作	電源ON時0.00 k V表示のまま

## 5. 各モードでの設定項目

### 5. 1 ● READY 状態

**POWER** スイッチ①をONすると、ランプテスト後、**READY** が点灯しREADY状態になります。

自動試験モード (W-I、I-W) でのREADY状態では、耐電圧試験と絶縁抵抗試験の試験条件設定が2秒周期で交互に表示します。

試験条件は、電源しゃ断前の状態を表示します。

**START** スイッチ③を押すと試験を開始します。

READY状態では、次の5項目の設定ができます。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| (1) 試験条件の設定      | 8~9項 (P17~32) 参照 |
| (2) キーロック        | 12項 (P41) 参照     |
| (3) ブザー音の調整      | 18項 (P54) 参照     |
| (4) ステータス出力条件の設定 | 16.3項 (P51) 参照   |
| (5) 特殊テストモード     | 13項 (P42) 参照     |
- ①ダブルアクション
  - ②GOODホールド
  - ③モーメンタリ
  - ④FAILモード

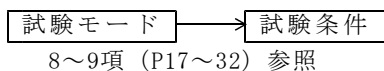
### 5. 2 ● 試験条件設定モード

READY状態で **▶** (又は **◀**) キーを押すと **READY** が消灯して、試験条件設定モードになります。

試験条件設定モードでは、試験モードと試験条件の設定、変更ができます。

**ENTER** キーを押すと設定を終了し、READY状態になります。

設定項目



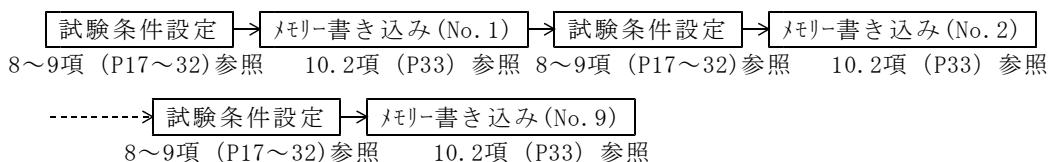
### 5. 3 ● メモリー書き込みモード

試験条件設定モードで試験条件設定後 **WRITE** キー (**SHIFT** と **◀** 同時) を押すとメモリーNo. のチャンネル番号を点滅表示しメモリー書き込み状態になります。

メモリー書き込みモードでは、試験条件設定モードで設定した12種類の試験条件を1組として9組までの試験条件をNo.1~9のメモリーに書き込みできます。

**ENTER** キーを押すと設定を終了し、READY状態になります。

設定項目



### 5. 4 ● メモリー読み出しモード

READY状態で **READ** キー (**SHIFT** と **▶** 同時) を押すと、メモリーNo. のチャンネル番号を点滅表示し、メモリー読み出し状態になります。

メモリー読み出しモードでは、10.2項 (P33) で書き込んだ最大9点のメモリーより1点を選択して読み出しできます。

**ENTER** キーを押すと選択を終了し、READY状態になります。

設定項目

メモリー読み出し (メモリーNo. を選択)  
10.3項 (P34) 参照

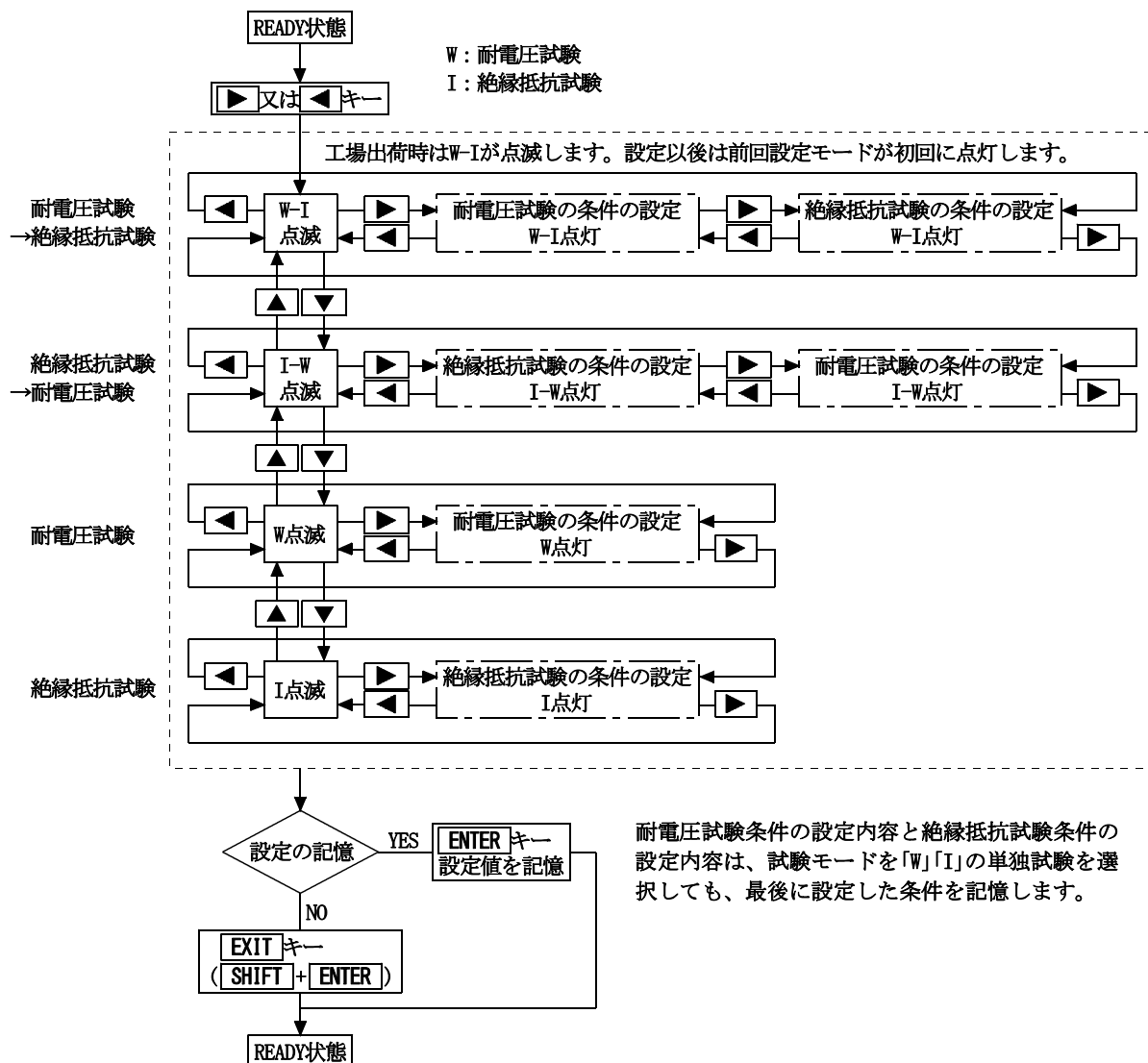
## 6. 試験モードの種類と設定のながれ

### 6. 1 ● 試験モードの種類

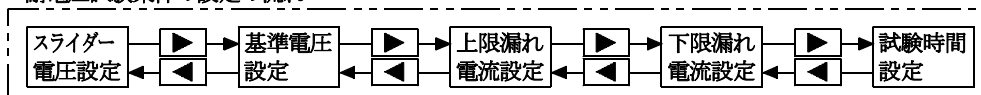
試験モードは、次の4種類選択することができます。

- (1) W-I (耐電圧試験→絶縁抵抗試験)
- (2) I-W (絶縁抵抗試験→耐電圧試験)
- (3) W (耐電圧試験)
- (4) I (絶縁抵抗試験)

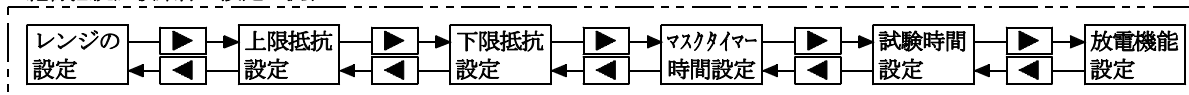
### 6. 2 ● 設定のながれ



耐電圧試験条件の設定の流れ



絶縁抵抗試験条件の設定の流れ



## 7. モータスライダの操作方法

被試験物の規格に基づいた耐電圧試験をするために、試験電圧を設定する必要があります。

8527では、ツマミ式とは違ってモータ式のスライダを内蔵していますので電圧調整器の回転角度が見えません。そこでスライダ表示器⑤は、READY中、モータ稼働中、試験中、判定中すべての状態においてスライダの電圧値を試験電圧値に換算した値で表示しています。ただし被試験物の接続による電圧降下分は含みません。

操作方法は、手動操作と指定電圧値に自動設定できる自動操作があります。

### 7. 1 ●モータスライダ操作の概要

#### 7.1.1 モータスライダ操作の種類

- (1) 手動昇降操作
- (2) 自動昇降操作

#### 7.1.2 自動・手動昇降操作の優先

- ・自動昇降中の手動昇降操作はできません。自動昇降操作優先です。
- ・**UP**/**DOWN**キー昇降操作中に自動昇降設定すると自動昇降が優先します。

#### 7.1.3 モータスライダ操作できる試験モードと試験スタートの制限

- (1) スライダ操作できる試験モード
  - ・W-I、I-W、W (W=耐電圧試験 I=絶縁抵抗試験)
  - ・試験モードIでは、スライダ表示器が消灯しスライダ昇降はできません。
- (2) 試験スタートの制限
  - ・自動昇降中又は手動昇降中に試験スタートはできません。

#### 7.1.4 モータスライダの強制停止

ストップ操作 (**STOP**スイッチ、STOP端子台、リモートコネクタSTOP、RESETコマンド)によりスライダ昇降動作は停止します。

#### 7.1.5 エラー発生したとき

- ・スライダ昇降中にエラー発生したとき、スライダ昇降停止します。エラー復帰後、スライダ昇降可能になります。エラーの復帰処理は20項参照してください。
- ・RS-232Cによる設定は可能ですが、コマンドWMARK=□.□□kV、MEMORY=□によるスライダの自動昇降は行いません。

### ▲ 注 意

**UP**/**DOWN**キーで連続昇降できますが、0.01kV分解能の調整できない場合があります。

## 7. 2 ●モータスライダの手動操作方法

### 操作できる条件

- ①KEY LOCKランプ消灯時
- ②READY状態と試験中、判定中（ただし、インターロックが発生するエラーは除く）
- ③試験モードが、W-I、I-W、Wの時に限ります。

### 操作できない条件

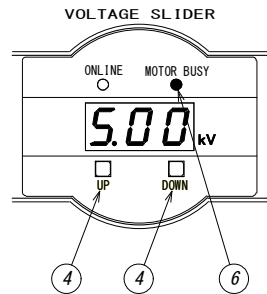
- ①KEY LOCKランプ点灯しているとき
- ②試験モードIのとき

### 表示内容

**UP**/**DOWN**キー④操作中は、MOTOR BUSYランプ⑥が点灯します。READYランプは消灯します。

### 操作範囲

0.00～約5.99kV（電源電圧変動により5.99kV以上操作可能）



### 操作方法

**UP**キー④を押し続けると上昇します。

**DOWN**キー④を押し続けると降下します。

**UP**/**DOWN**キー④から手を離すと停止します。

注) **UP**キーと**DOWN**キー同時に押さないでください。同時に押すと、**DOWN**キー優先となります。

### ⚠ 警 告

電源電圧変動により5.99kV以上設定の操作可能ですが、非常に危険です。できるだけ仕様範囲内（5kV以内）でご使用ください。

## 7. 3 ●モータスライダの自動操作方法

自動操作には3種類の方法があります。

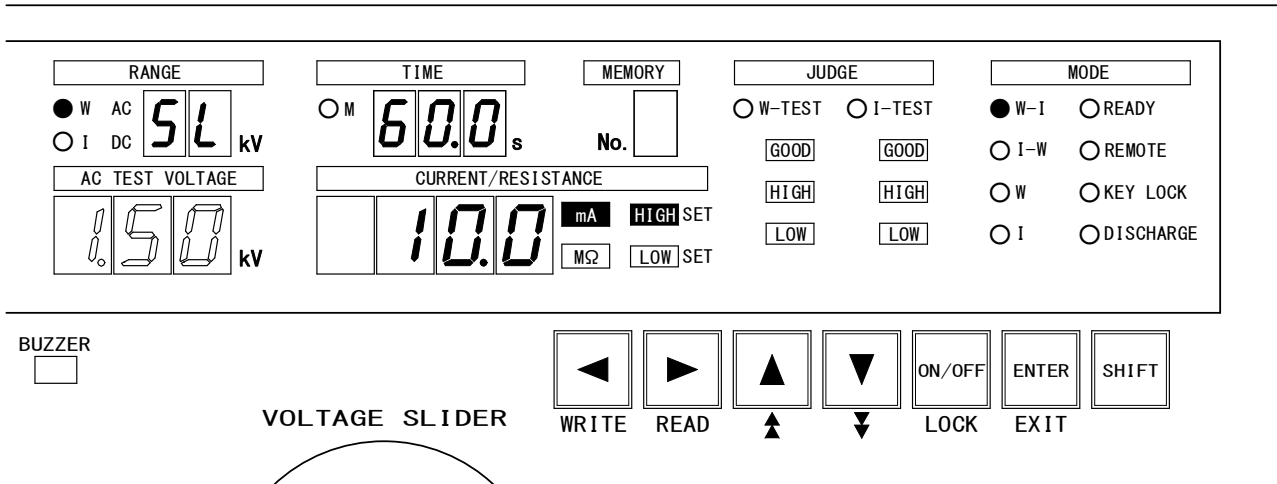
1. 前面パネルの**ENTER**キーによる方法
2. **REMOTE/OUT**コネクタによる方法
3. RS-232Cインターフェイスによる方法

## 8. 耐電圧試験条件の設定

試験モードW-I、I-W又はWを選択したとき設定できます。

### 8. 1 ●モータスライダ－電圧設定

設定範囲：0.00～5.99kV, OFF



#### 設定モードに入る

- ①READY状態の時、又はキーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
又はキーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はWランプ）を点滅状態にします。
- ②キーを押して試験モードランプを点灯します。

#### スライダ－電圧設定

- ①又はキーを押して、W ACランプの点灯と試験電圧レンジ表示器を5L点灯し、試験電圧表示器の点滅する状態を選択します。（上図を参照してください。）
- ②試験電圧表示器が点滅中に又はキーを押してスライダ－電圧設定値を設定します。  
キー（と同時）又はキー（と同時）を押すと2桁目（0.10kV桁）が設定できます。
- ③スライダ－電圧設定が不要な時はキーを押し、表示器がOFFで点滅する状態を選択します。

#### 1つ前の設定へ

キーを押します。試験モードにより下記の設定に切り替わります。

試験モード	切り替わり後の設定項目
W-I	試験モードW-Iランプ点滅へ戻る
W	試験モードWランプ点滅へ戻る
I-W	絶縁抵抗放電へ

#### 次の設定へ

キーを押します。**基準電圧の設定**に切り替わります。

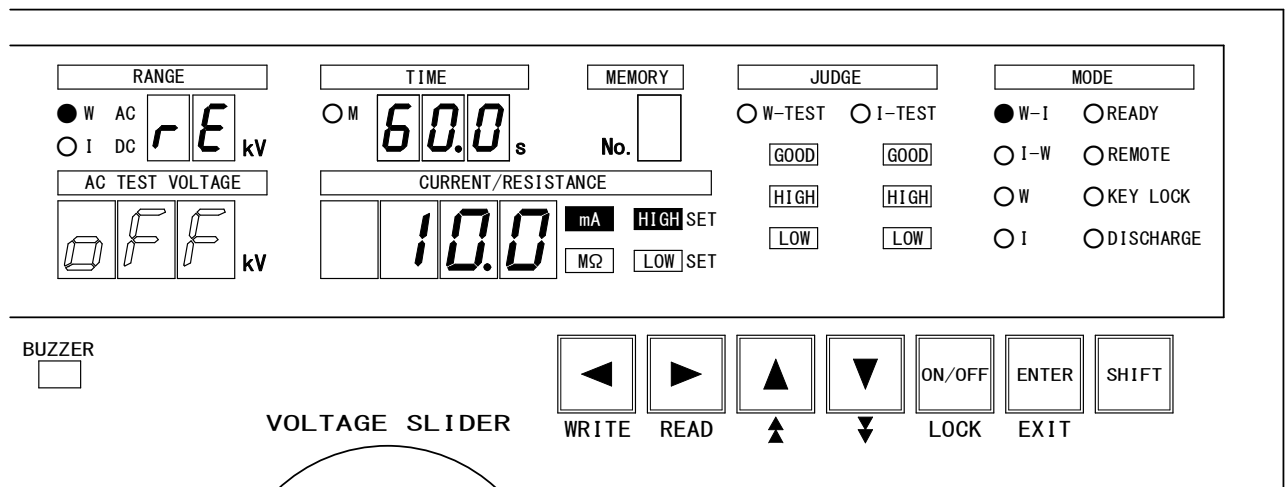
#### 設定の終了

キーを押すと、スライダ－が昇降し設定を記憶してREADY状態に戻ります。設定モード中にキー（と同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## 8. 2 ● 基準電圧の設定

設定範囲：0.00～5.00kV, OFF

[基準電圧の設定をOFFする]



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はWランプ）を点滅状態にします。
- ② **▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

## 基準電圧の設定をOFFにする

- ① **▶**又は**◀**キーを押して、試験電圧表示器のW ACランプの点灯と試験電圧レンジ表示が**rE**点灯し、試験電圧表示器が点滅する状態を選択します。
- ② 次に**ON/OFF**キーを押し、表示器が**OFF**で点滅する状態を選択します。  
(上図を参照してください。)

## 1つ前の設定へ

**◀**キーを押します。**スライダー電圧設定**に切り替わります。

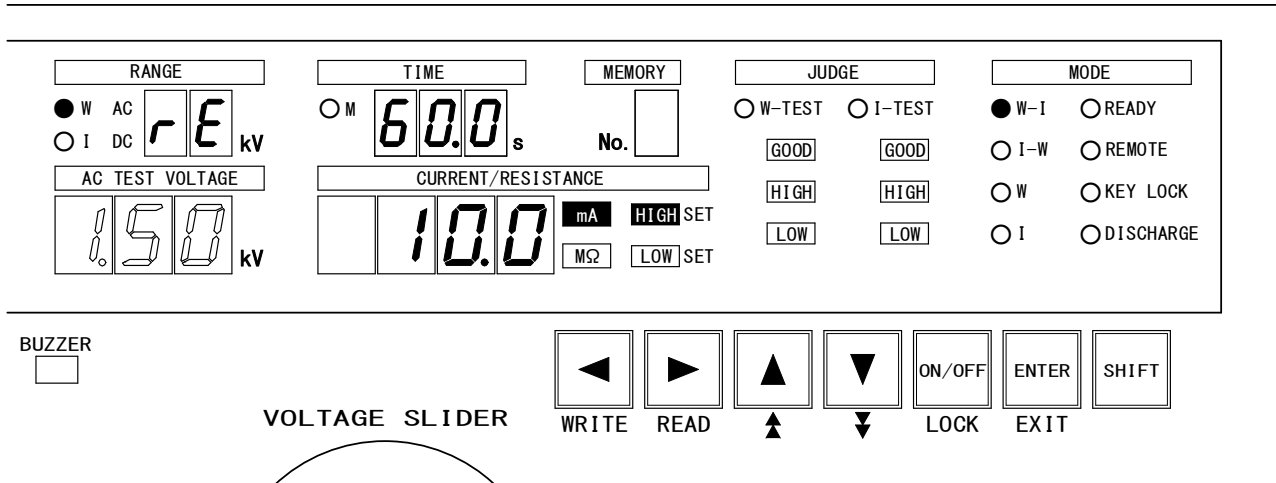
## 次の設定へ

**▶**キーを押します。**上限漏れ電流の設定**に切り替わります。

## 設定の終了

**ENTER**キーを押すと、スライダーが昇降し設定を記憶してREADY状態に戻ります。設定モード中に**EXIT**キー（**SHIFT**と**ENTER**同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## [基準電圧を設定する]



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はWランプ）を点滅状態にします。
- ② **▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

## 基準電圧の設定

- ① **▶**又は**◀**キーを押して、試験電圧表示器の**W AC**ランプの点灯と試験電圧レンジ表示が**rE**点灯し、試験電圧表示器が点滅する状態を選択します。
  - ② 次に**ON/OFF**キーを押し、表示器が数字点滅する状態を選択します。
  - ③ **▲**又は**▼**キーを押して基準電圧値を設定します。  
**▲**キー（**SHIFT**と**▲**同時）又は**▼**キー（**SHIFT**と**▼**同時）を押すと2桁目（0.10kV桁）が設定できます。（上図を参照してください。）
- 注）基準電圧値は0.00～5.00kVの範囲で設定可能

## 1つ前の設定へ

**◀**キーを押します。**スライダー電圧設定**に切り替わります。

## 次の設定へ

**▶**キーを押します。**上限漏れ電流の設定**に切り替わります。

## 設定の終了

**ENTER**キーを押すと、スライダーが昇降し設定を記憶してREADY状態に戻ります。設定モード中に**EXIT**キー（**SHIFT**と**ENTER**同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

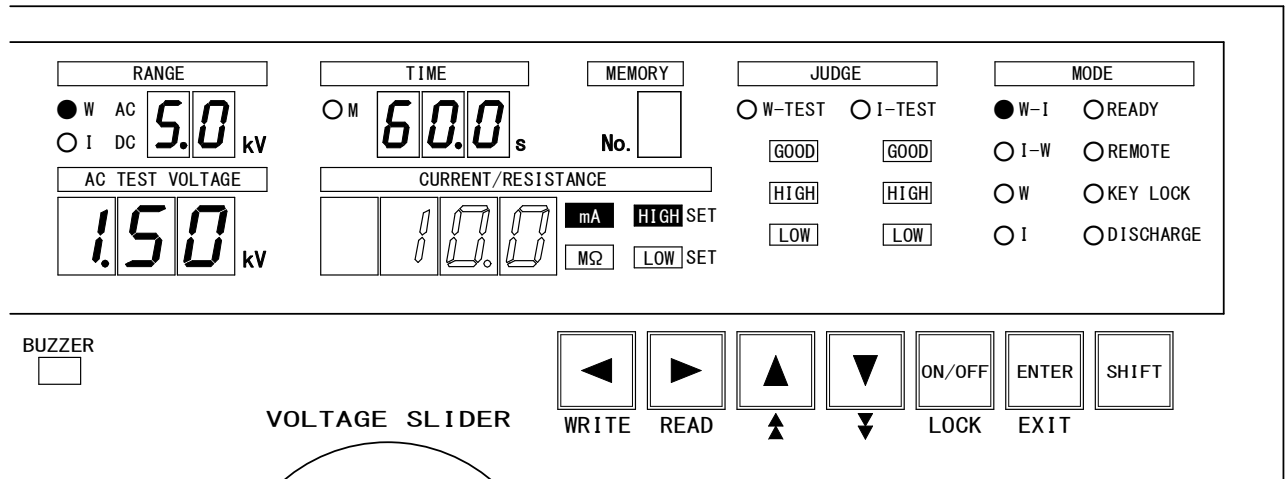


## 8. 3 ● 上限漏れ電流の設定

設定範囲：0.1～110.0mA

注) 上限漏れ電流値は下限漏れ電流値以下にはできません。下記の条件に適合するように設定してください。

1. 下限漏れ電流値が決まっているとき、上限漏れ電流値を「下限漏れ電流値を超える値」にしてください。
2. 上限漏れ電流値が決まっているとき、下限漏れ電流値を「上限漏れ電流値未満の値」又は「OFF」にしてください。



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ(W-I、I-W又はWランプ)を点滅状態にします。
- ② **▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

## 上限漏れ電流の設定

- ① **▶**又は**◀**キーを押して、抵抗/電流表示器が点滅、**mA**点灯、**HIGH SET**点灯する状態を選択します。(上図を参照してください。)
- ② 次に**▲**又は**▼**キーを押して上限漏れ電流値を設定します。
- ③ **▲**キー(**SHIFT**と**▲**同時)又は**▼**キー(**SHIFT**と**▼**同時)を押すと2桁目が設定できます。

## 1つ前の設定項目へ

**◀**キーを押します。**基準電圧の設定**に切り替わります。

## 次の設定へ

**▶**キーを押します。**下限漏れ電流の設定**に切り替わります。

## 設定の終了

**ENTER**キーを押すと、スライダーが昇降し設定を記憶してREADY状態に戻ります。設定モード中に**EXIT**キー(**SHIFT**と**ENTER**同時)を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。

その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## 8. 4 ● 下限漏れ電流の設定

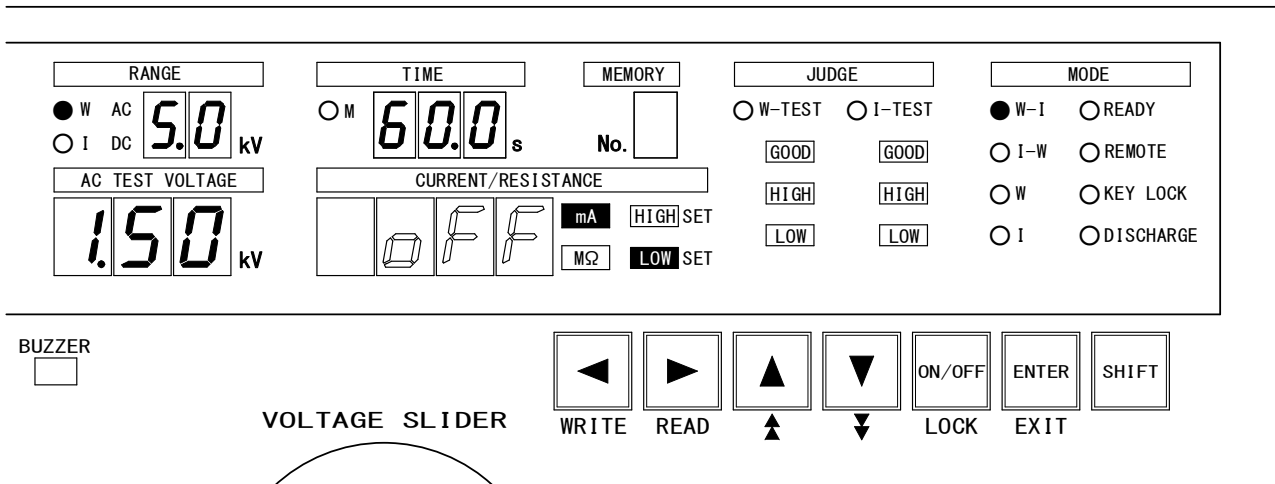
設定範囲：0.0～109.0mA, OFF

注1) 下限漏れ電流値は上限漏れ電流値以上にはできません。下記の条件に適合するように設定してください。

1. 下限漏れ電流値が決まっているとき、上限漏れ電流値を「下限漏れ電流値を超える値」にしてください。
2. 上限漏れ電流値が決まっているとき、下限漏れ電流値を「上限漏れ電流値未満の値」にしてください。

注2) OFFにすると下限判定は行いません。OFFから復帰(ON)したときの下限設定が上限設定値以上の場合は、0.0mAに下限設定値を置き換えます。

[ 下限漏れ電流の設定をOFFする ]



設定モードに入る

- ① READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ(W-I、I-W又はWランプ)を点滅状態にします。
- ② **▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

下限漏れ電流の設定をOFFにする

- ① **▶**又は**◀**キーを押して、抵抗/電流表示器が点滅、**mA**点灯、**LOW SET**点灯する状態を選択します。
- ② 次に**ON/OFF**キーを押し、表示器が**OFF**で点滅する状態を選択します。  
(上図を参照してください。)

1つ前の設定項目へ

**◀**キーを押します。**上限漏れ電流の設定**に切り替わります。

次の設定へ

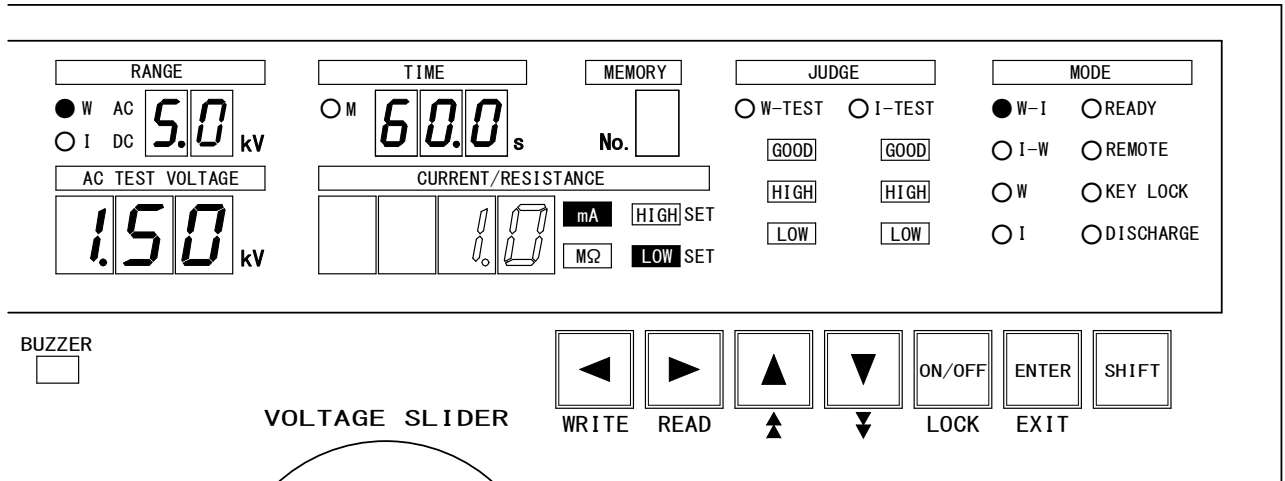
**▶**キーを押します。**試験時間の設定**に切り替わります。

設定の終了

**ENTER**キーを押すと、スライダーが昇降し設定を記憶してREADY状態に戻ります。設定モード中に**EXIT**キー(**SHIFT**と**ENTER**同時)を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。

その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

[下限漏れ電流を設定する]



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、又はキーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
又はキーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はWランプ）を点滅状態にします。
- ② 又はキーを押して試験モードランプを点灯します。

## 下限漏れ電流の設定

- ① 又はキーを押して、抵抗/電流表示器が点滅、点灯、点灯する状態を選択します。
- ② 次にキーを押し、表示器が数字点滅する状態を選択します。  
 （上図を参照してください。）
- ③ 又はキーを押して下限漏れ電流値を設定します。  
キー（と同時）又はキー（と同時）を押すと2桁目が設定できます。

## 1つ前の設定項目へ

キーを押します。**上限漏れ電流の設定**に切り替わります。

## 次の設定へ

キーを押します。**試験時間の設定**に切り替わります。

## 設定の終了

キーを押すと、スライダーが昇降し設定を記憶してREADY状態に戻ります。設定モード中にキー（と同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

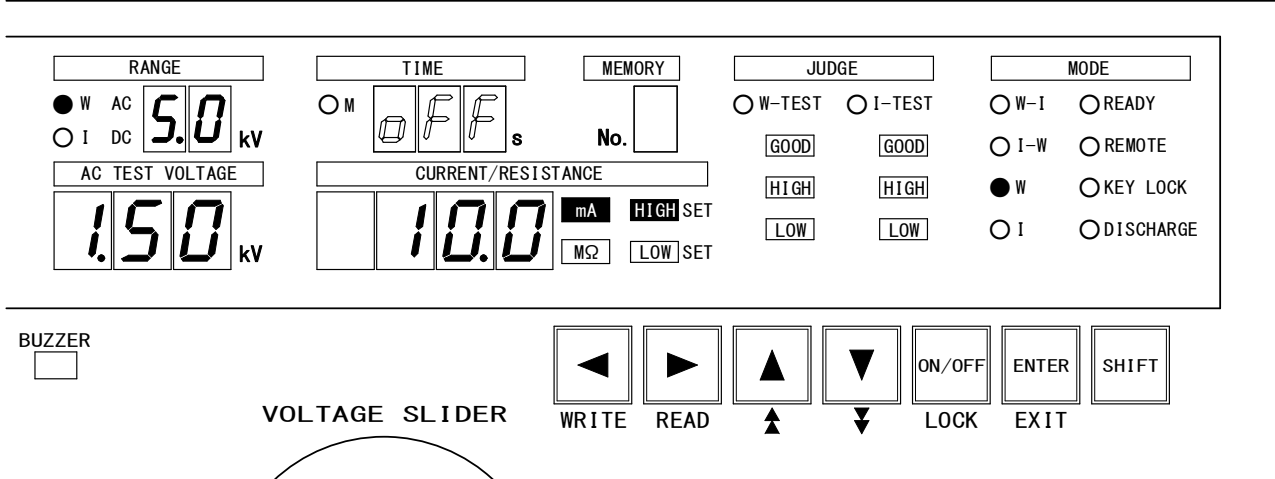
## 8. 5 ● 試験時間の設定

設定範囲：0.5～999 s

試験モードがWのとき、OFF設定できます。

注) 試験モードがW-I、I-Wの時は、試験時間を設定してください。

[試験時間の設定をOFFする]



設定モードに入る

- ① READY状態のとき、又はキーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
又はキーで試験モードランプが上下移動しますので、試験モードWランプを点滅状態にします。
- ② 又はキーを押して試験モードランプを点灯します。

試験時間の設定をOFFにする

- ① 又はキーを押して、試験時間表示器が点滅する状態を選択します。
- ② 次にキーを押し、表示器が **OFF** で点滅する状態を選択します。  
 (上図を参照してください。)

1つ前の設定項目へ

- キーを押します。 **下限漏れ電流の設定** に切り替わります。

次の設定へ

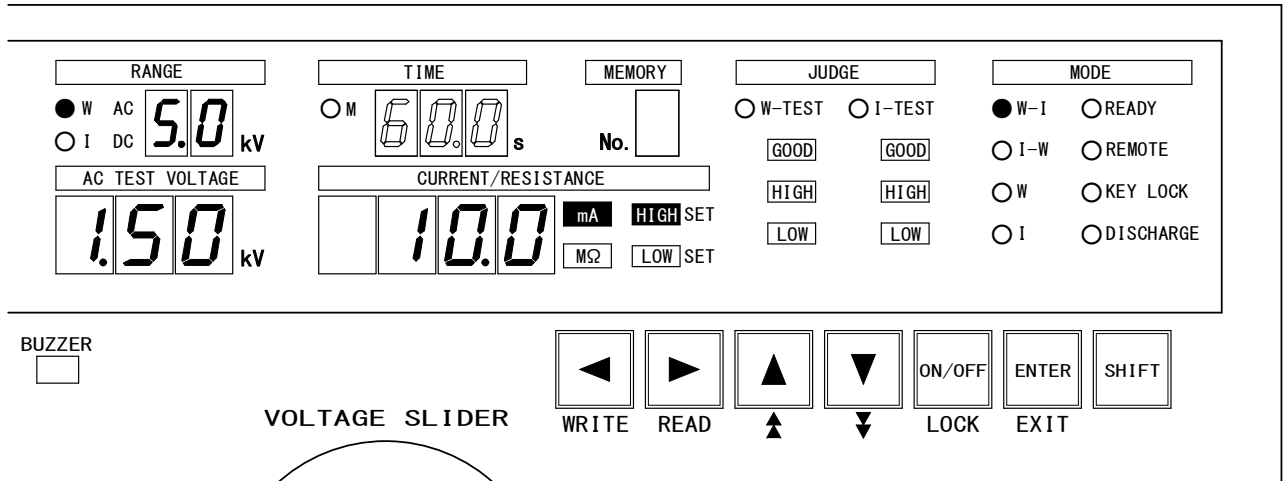
- キーを押します。試験モードにより下記の設定に切り替わります。

試験モード	切り替わり後の設定項目
W-I	→ 絶縁抵抗試験の試験電圧設定
W	→ 試験モードWランプ点滅へ戻る
I-W	→ 試験モードI-Wランプ点滅へ戻る

設定の終了

- キーを押します。スライダーが昇降し設定を記憶してREADY状態に戻ります。設定モード中にキー (と同時) を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。  
 その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## [試験時間を設定する]



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、又はキーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
又はキーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はWランプ）を点滅状態にします。
- ② 又はキーを押して試験モードランプを点灯します。

## 試験時間の設定

- ① 又はキーを押して、試験時間表示器が点滅する状態を選択します。
- ② 次にキーを押し、表示器が数字点滅の状態を選択します。  
（上図を参照してください。）
- ③ 又はキーを押して試験時間を設定します。  
キー（と同時）又はキー（と同時）を押すと2桁目が設定できます。  
設定範囲は0.5～99.9s(分解能0.1s)、100～999s(分解能1s)となります。

## 1つ前の設定項目へ

キーを押します。下限漏れ電流の設定に切り替わります。

## 次の設定へ

キーを押します。試験モードにより下記の設定に切り替わります。

試験モード	切り替わり後の設定項目
W-I	→ 絶縁抵抗試験の試験電圧設定
W	→ 試験モードWランプ点滅へ戻る
I-W	→ 試験モードI-Wランプ点滅へ戻る

## 設定の終了

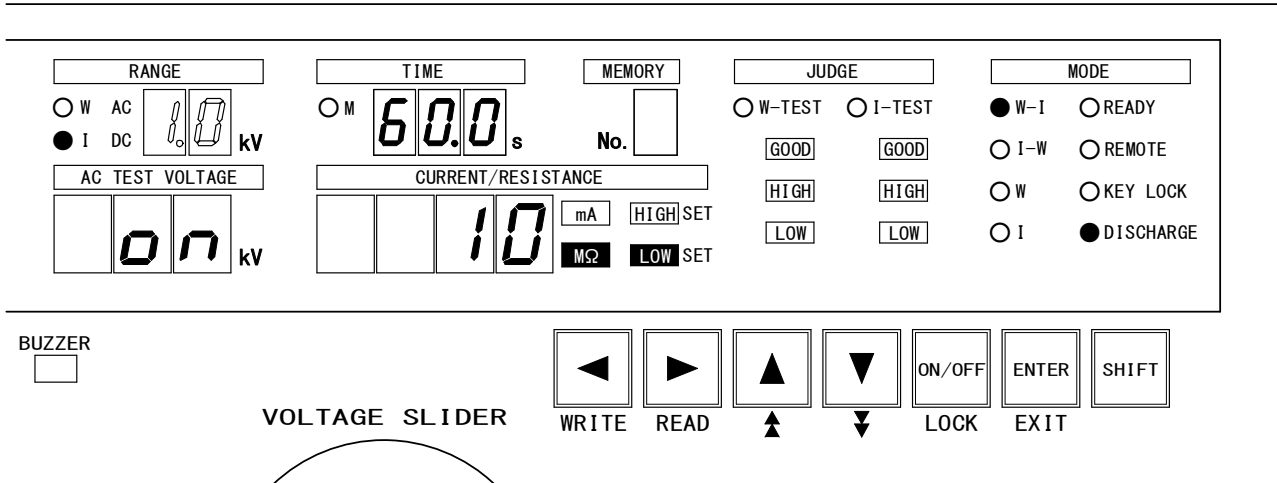
キーを押すと、スライダが昇降し設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
設定モード中にキー（と同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。  
その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## 9. 絶縁抵抗試験条件の設定

試験モードW-I又は、I-W又はIを選択したとき設定できます。

### 9. 1 ● 絶縁抵抗試験レンジの設定

設定範囲：1.0kV又は0.5kV



#### 設定モードに入る

- ① READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はIランプ）を点滅状態にします。
- ② **▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

#### 試験電圧レンジの変更

- ① **▶**又は**◀**キーを押して、**I DC**ランプの点灯と試験電圧レンジの点滅する状態を選択します。（上図を参照してください。）
- ② 次に**▲**又は**▼**キーで試験電圧1.0kV又は0.5kVに切り替えます。  
 試験電圧レンジを切り替えると、レンジ表示器は切り替えた電圧値を点滅表示します。

#### 1つ前の設定へ

**◀**キーを押します。試験モードにより下記の設定に切り替わります。

試験モード	切り替わり後の設定項目
W-I	→ 耐電圧試験の試験時間設定
I-W	→ 試験モードI-Wランプ点滅へ戻る
I	→ 試験モードIランプ点滅へ戻る

#### 次の設定へ

**▶**キーを押します。**上限抵抗値の設定**に切り替わります。

#### 設定の終了

**ENTER**キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。

試験モードW-I又はI-Wのときスライダが昇降します。

設定モード中に**EXIT**キー（**SHIFT**と**ENTER**同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。

その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## 9. 2 ● 上限抵抗値の設定

設定範囲：0.2MΩ～2000MΩ, OFF

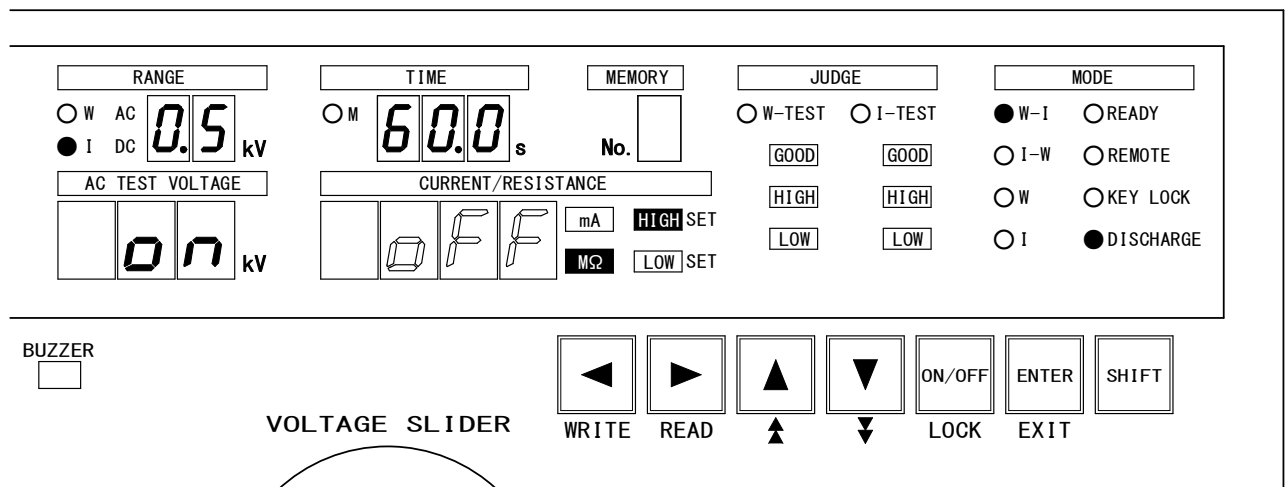
注1) 設定範囲は0.2～9.9MΩ(分解能0.1MΩ)、10～2000MΩ(分解能1MΩ)となります。

注2) 上限抵抗値は下限抵抗値以下にはできません。下記の条件に適合するように設定してください。

1. 下限抵抗値が決まっているとき、上限抵抗値を「下限抵抗値を超える値」又は「OFF」にしてください。
2. 上限抵抗値が決まっているとき、下限抵抗値を「上限抵抗値未満の値」にしてください。

注3) OFFにすると上限判定は行いません。OFFから上限抵抗設定値にしたときの上限抵抗設定が下限抵抗設定値以下の場合、2000MΩに上限抵抗設定値を置き換えます。

[ 上限抵抗値の設定をOFFにする ]



設定モードに入る

- ① READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ(W-I、I-W又はIランプ)を点滅状態にします。
- ② **▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

上限抵抗値の設定をOFFにする

- ① **▶**又は**◀**キーを押して、抵抗/電流表示器が点滅、**MΩ**が点灯、**HIGH SET**点灯する状態を選択します。
- ② 次に**ON/OFF**キーを押し、表示器が**OFF**で点滅する状態を選択します。  
(上図を参照してください。)

1つ前の設定項目へ

**◀**キーを押します。絶縁抵抗試験レンジの設定に切り替わります。

次の設定へ

**▶**キーを押します。下限抵抗値の設定に切り替わります。

設定の終了

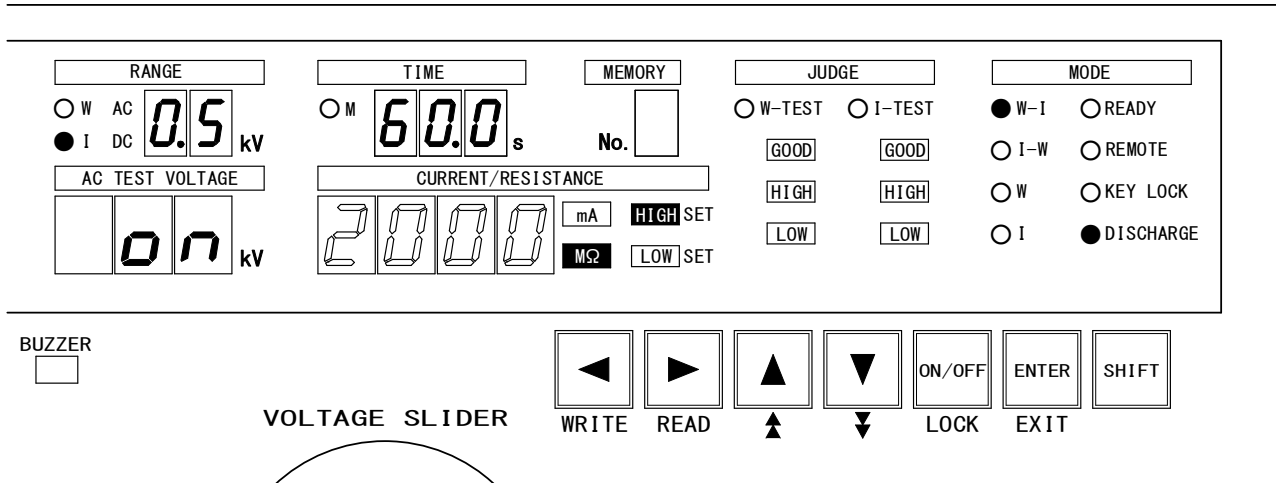
**ENTER**キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。

試験モードW-I又はI-Wのときスライダーが昇降します。

設定モード中に**EXIT**キー(**SHIFT**と**ENTER**同時)を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。

その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## [上限抵抗値を設定する]



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はIランプ）を点滅状態にします。
- ② **▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

## 上限抵抗値の設定

- ① **▶**又は**◀**キーを押して、抵抗/電流表示器が点滅、**MΩ**が点灯、**HIGH SET**点灯する状態を選択します。
- ② 次に**ON/OFF**キーを押し、表示器が数字点滅する状態を選択します。  
(上図を参照してください。)
- ③ **▲**又は**▼**キーを押して上限抵抗値を設定します。  
**▲**キー（**SHIFT**と**▲**同時）又は**▼**キー（**SHIFT**と**▼**同時）を押すと2桁目（1MΩ桁）から設定できます。

## 1つ前の設定項目へ

**◀**キーを押します。**絶縁抵抗試験レンジの設定**に切り替わります。

## 次の設定へ

**▶**キーを押します。**下限抵抗値の設定**に切り替わります。

## 設定の終了

**ENTER**キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
試験モードW-I又はI-Wのときスライダが昇降します。  
設定モード中に**EXIT**キー（**SHIFT**と**ENTER**同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。  
その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。



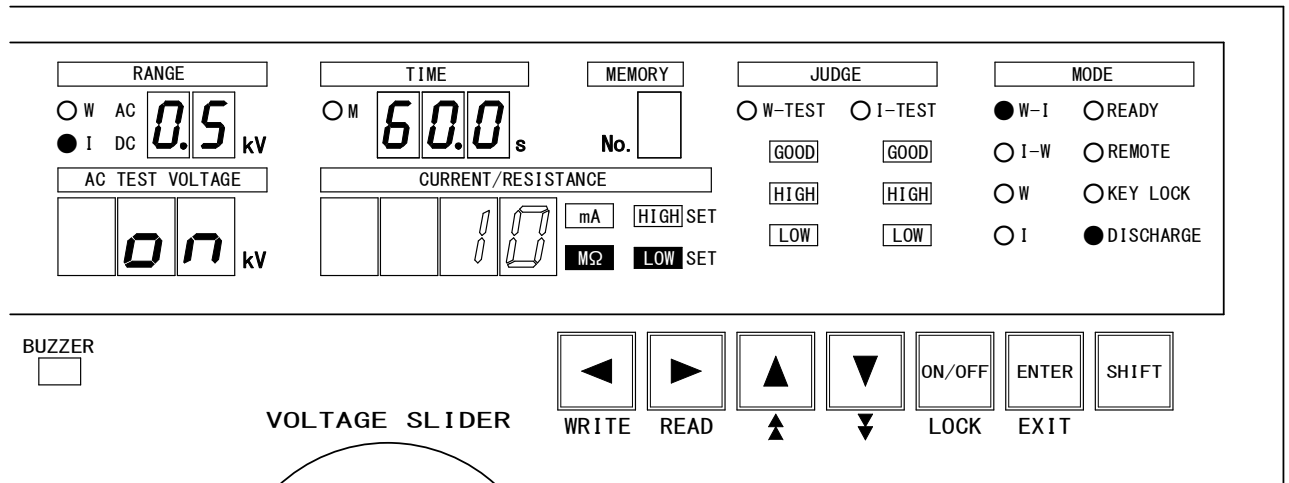
## 9. 3 ● 下限抵抗値の設定

設定範囲：0.1MΩ～1999MΩ

注1) 設定範囲は0.1～9.9MΩ（分解能0.1MΩ）、10～1999MΩ（分解能1MΩ）となります。

注2) 下限抵抗値は上限抵抗値以上にはできません。下記の条件に適合するように設定してください。

1. 下限抵抗値が決まっているとき、上限抵抗値を「下限抵抗値を超える値」にしてください。
2. 上限抵抗値が決まっているとき、下限抵抗値を「上限抵抗値未満の値」にしてください。



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、又はキーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
又はキーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はIランプ）を点滅状態にします。
- ② 又はキーを押して試験モードランプを点灯します。

## 下限抵抗値の設定

- ① 又はキーを押して、抵抗/電流表示器が点滅、が点灯、点灯する状態を選択します。（上図を参照してください。）
- ② 次に又はキーを押して下限抵抗値を設定します。
- ③ キー（と同時）又はキー（と同時）を押すと2桁目が設定できます。

## 1つ前の設定項目へ

キーを押します。上限抵抗値の設定に切り替わります。

## 次の設定へ

キーを押します。マスクタイマー時間の設定に切り替わります。

## 設定の終了

キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。

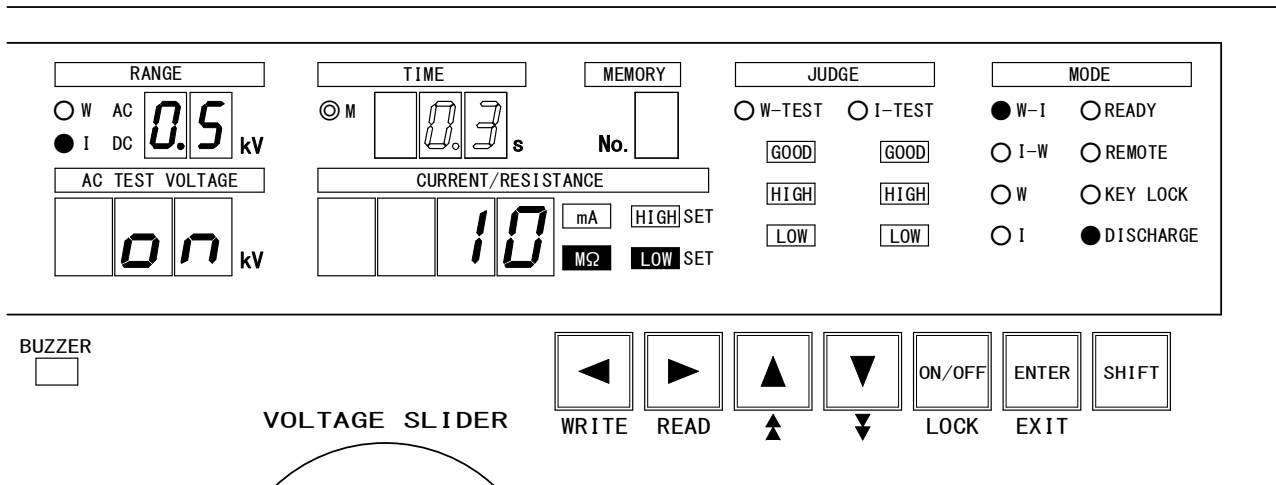
試験モードW-I又はI-Wのときスライダーが昇降します。

設定モード中にキー（と同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。

その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## 9. 4 ● マスクタイマー時間の設定

設定範囲：0.3～50.0s マスクタイマーはOFFにはできません。  
注) 設定範囲は試験時間より0.2s以下の設定にはできません。



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ (W-I、I-W又はIランプ) を点滅状態にします。
- ② **▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

## マスクタイマー時間を設定する

- ① **▶**又は**◀**キーを押して、Mランプと試験時間表示器が点滅する状態を選択します。
- ② 次に**ON/OFF**キーを押し、表示器が数字点滅する状態を選択します。  
(上図を参照してください。)
- ③ **▲**又は**▼**キーを押してマスクタイマー時間を設定します。  
**▲**キー (**SHIFT**と**▲**同時) 又は**▼**キー (**SHIFT**と**▼**同時) を押すと2桁目が設定できます。(1sの桁)

## 1つ前の設定項目へ

- ◀**キーを押します。**下限抵抗値の設定**に切り替わります。

## 次の設定へ

- ▶**キーを押します。**試験時間の設定**に切り替わります。

## 設定の終了

- ENTER**キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
試験モードW-I又はI-Wのときスライダが昇降します。  
設定モード中に**EXIT**キー (**SHIFT**と**ENTER**同時) を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。  
その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## 9. 5 ● 試験時間の設定

設定範囲：0.5～999s

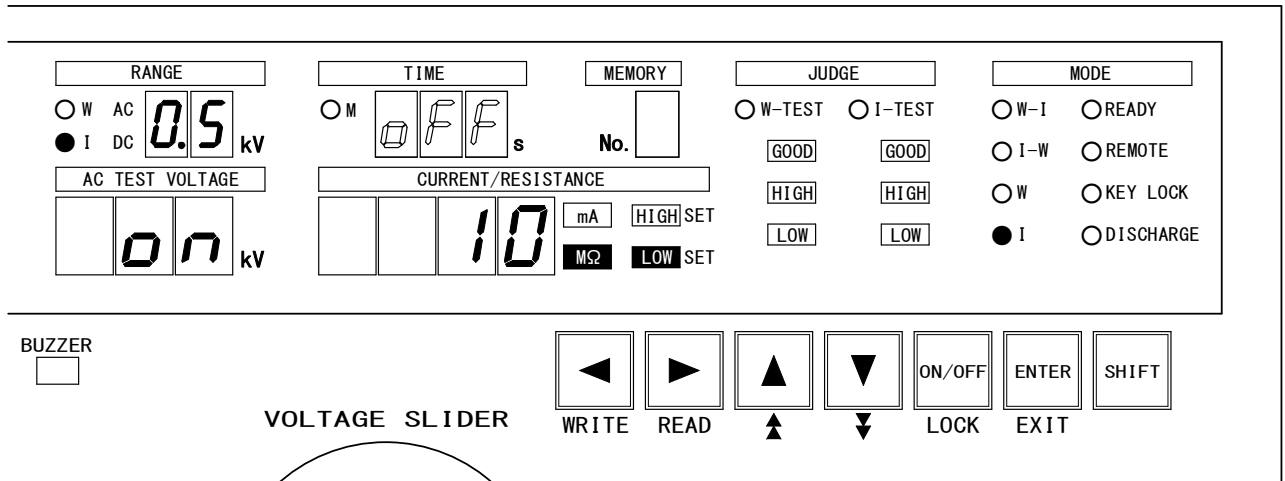
試験モードがIのとき、OFF設定できます。

注1) 設定範囲はマスクタイマー時間より0.2s以上で設定してください。

注2) OFFから試験時間設定にしたとき、マスクタイマー時間以下の場合、60.0sに試験時間を置き換えます。

注3) 試験モードがW-I、I-Wの時は、試験時間を設定してください。

[試験時間の設定をOFFする]



設定モードに入る

- READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ(W-I、I-W又はIランプ)を点滅状態にします。
- ▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

試験時間の設定をOFFにする

- ▶**又は**◀**キーを押して、試験時間表示器が点滅する状態を選択します。
- 次に**ON/OFF**キーを押し、表示器がOFFで点滅する状態を選択します。  
(上図を参照してください。)

1つ前の設定項目へ

**◀**キーを押します。マスクタイマー時間の設定に切り替わります。

次の設定へ

**▶**キーを押します。放電機能設定に切り替わります。

設定の終了

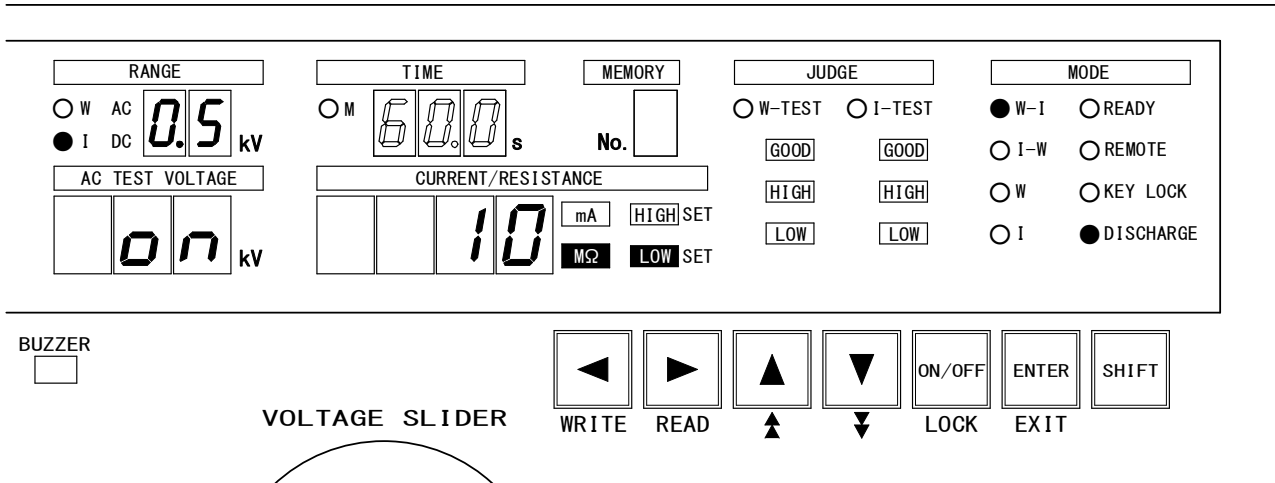
**ENTER**キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。

試験モードW-I又はI-Wのときスライダーが昇降します。

設定モード中に**EXIT**キー(**SHIFT**と**ENTER**同時)を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。

その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## [試験時間を設定する]



## 設定モードに入る

- ① READY状態の時、又はキーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
又はキーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はIランプ）を点滅状態にします。
- ② 又はキーを押して試験モードランプを点灯します。

## 試験時間の設定

- ① 又はキーを押して、試験時間表示器が点滅する状態を選択します。
- ② 次にキーを押し、表示器が数字点滅する状態を選択します。  
 （上図を参照してください。）
- ③ 又はキーを押して試験時間を設定します。  
キー（と同時）又はキー（と同時）を押すと2桁目が設定できます。（1sの桁）

## 1つ前の設定項目へ

キーを押します。**マスクタイマー時間の設定**に切り替わります。

## 次の設定へ

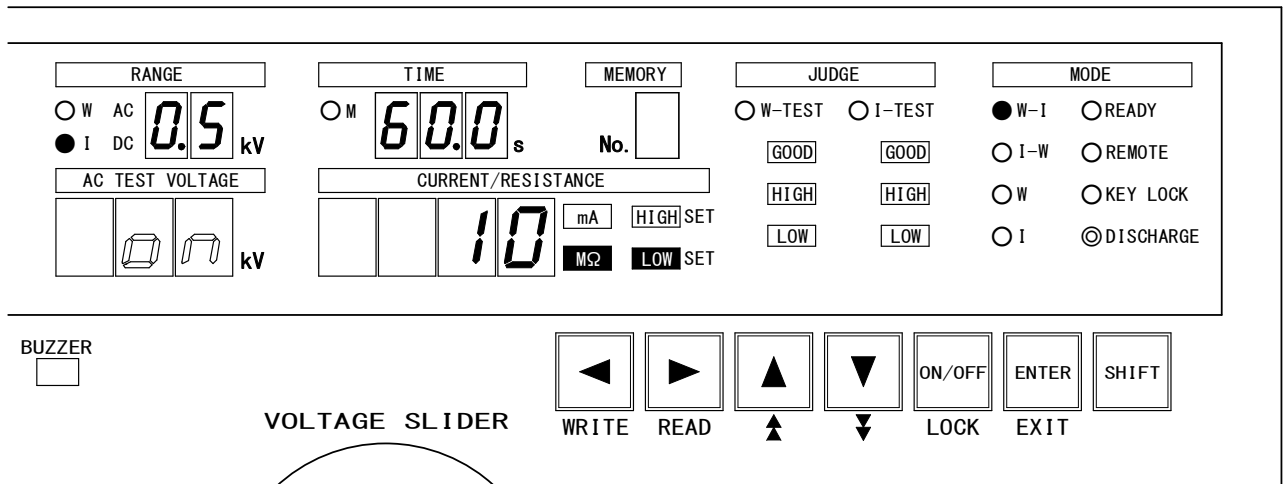
キーを押します。**放電機能設定**に切り替わります。

## 設定の終了

キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
 試験モードW-I又はI-Wのときスライダが昇降します。  
 設定モード中にキー（と同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。  
 その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## 9. 6 ●放電機能設定

設定：ON又はOFF



## 設定モードに入る

- READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押すと、試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーで試験モードランプが上下移動しますので、希望する試験モードランプ（W-I、I-W又はIランプ）を点滅状態にします。
- ▶**又は**◀**キーを押して試験モードランプを点灯します。

## 放電機能設定をする

- ▶**又は**◀**キーを押して、試験電圧表示器が *on* 又は *off* 点滅、DISCHARGEランプが点滅する状態を選択します。
- 放電機能設定が必要な時は **ON/OFF** キーを押し、*on* で点滅する状態を選択します。（上図を参照してください。）
- 放電機能設定が不要な時は **ON/OFF** キーを押し、*off* で点滅する状態を選択します。

## 1つ前の設定項目へ

**◀**キーを押します。試験時間の設定に切り替わります。

## 次の設定へ

**▶**キーを押します。試験モードによって次の設定に切り替わります。

試験モード	切り替わり後の設定項目
W-I	試験モードW-Iランプ点滅へ戻る
I	試験モードIランプ点滅へ戻る
I-W	耐電圧試験の基準電圧設定

## 設定の終了

**ENTER** キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
試験モードW-I又はI-Wのときスライダが昇降します。  
設定モード中に **EXIT** キー（**SHIFT** と **ENTER** 同時）を押すと、試験条件設定モードを中断し、READY状態になります。  
その時の試験条件は、試験条件設定モードに入る前の状態になります。

## 10. メモリー機能

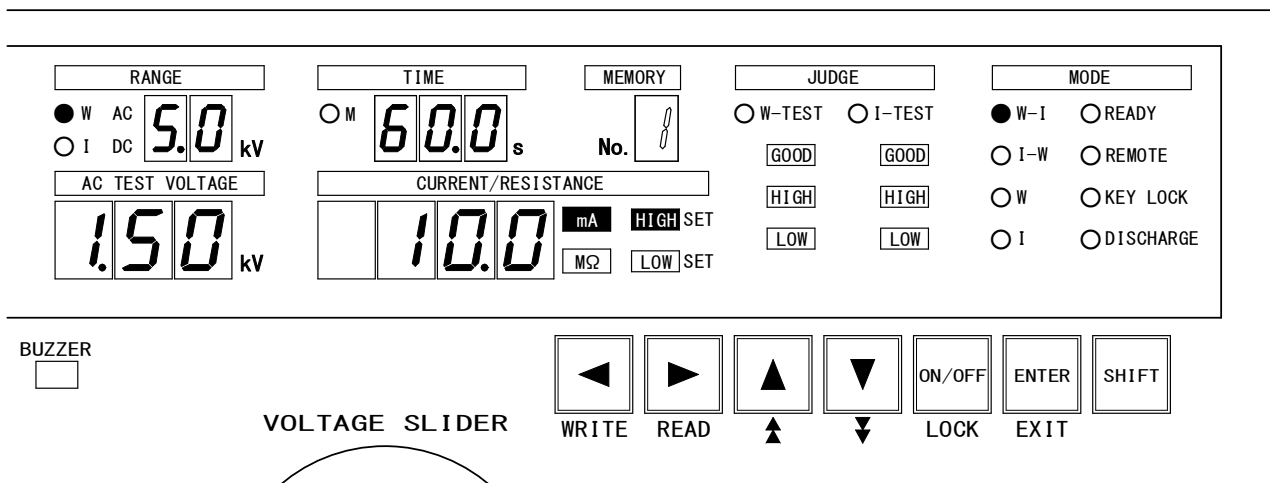
本器は、試験モード、耐電圧又は絶縁抵抗試験条件の設定を記憶する9点のプログラムメモリーがあります。

### 10.1 ●メモリーの構成

メモリー1点あたり、試験モード1種類と耐電圧試験条件5種類、絶縁抵抗試験条件6種類の設定ができます。各種類の内容は、下表参照してください。

試験モードの種類	耐電圧試験条件の設定	絶縁抵抗試験条件の設定
↓	↓	↓
1種類	5種類	6種類
W→I I→W W I	スライダー電圧設定 基準電圧 上限漏れ電流 下限漏れ電流 試験時間	試験電圧のレンジ 上限抵抗値 下限抵抗値 マスクタイマー時間 試験時間 放電機能

### 10.2 ●メモリー書き込み



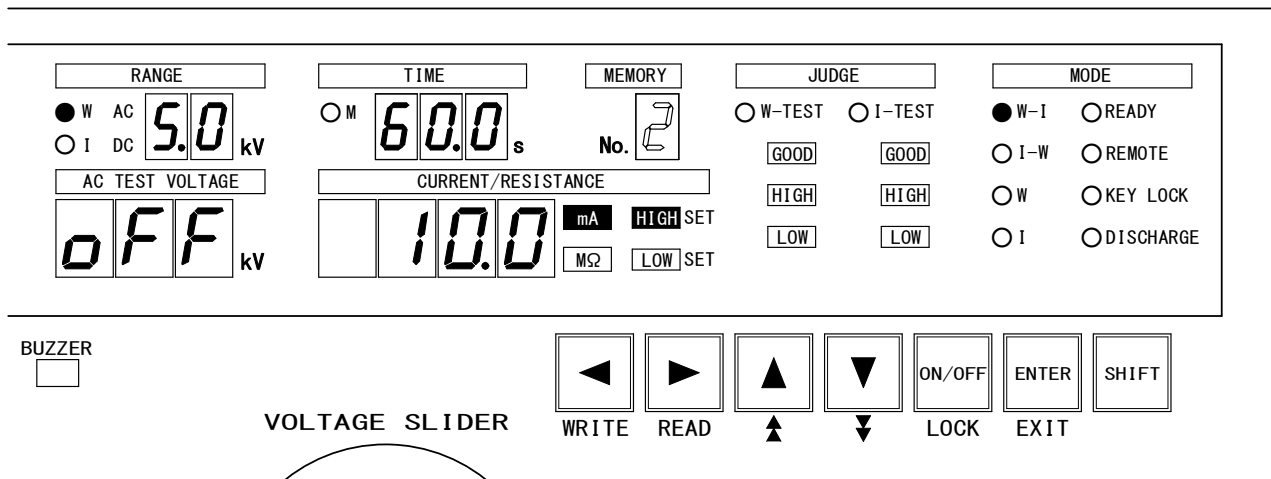
#### メモリーNo. の選択

- ①メモリーに書き込みたい試験モードと試験条件の設定を行い、READY状態にします。(8項～9項参照)
- ② **WRITE** キー (**SHIFT** と **←** 同時) を押します。  
メモリーNo. 表示器の数字が点滅してメモリー書き込みモードになります。(上図を参照してください。)
- ③ **▲** 又は **▼** キーで書き込みしたいメモリーNo. を選択します。

#### 書き込みの終了

**ENTER** キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
試験モードW-I又はI-Wのときスライダーが昇降します。(10.4項参照)  
設定モード中に **EXIT** キー (**SHIFT** と **ENTER** 同時) を押すと、メモリー書き込みモードを中断し、READY状態になります。  
その時のメモリーNo. は、メモリー書き込みモードに入る前の状態になります。

## 10.3 ●メモリー読み出し



## メモリーNo.の選択

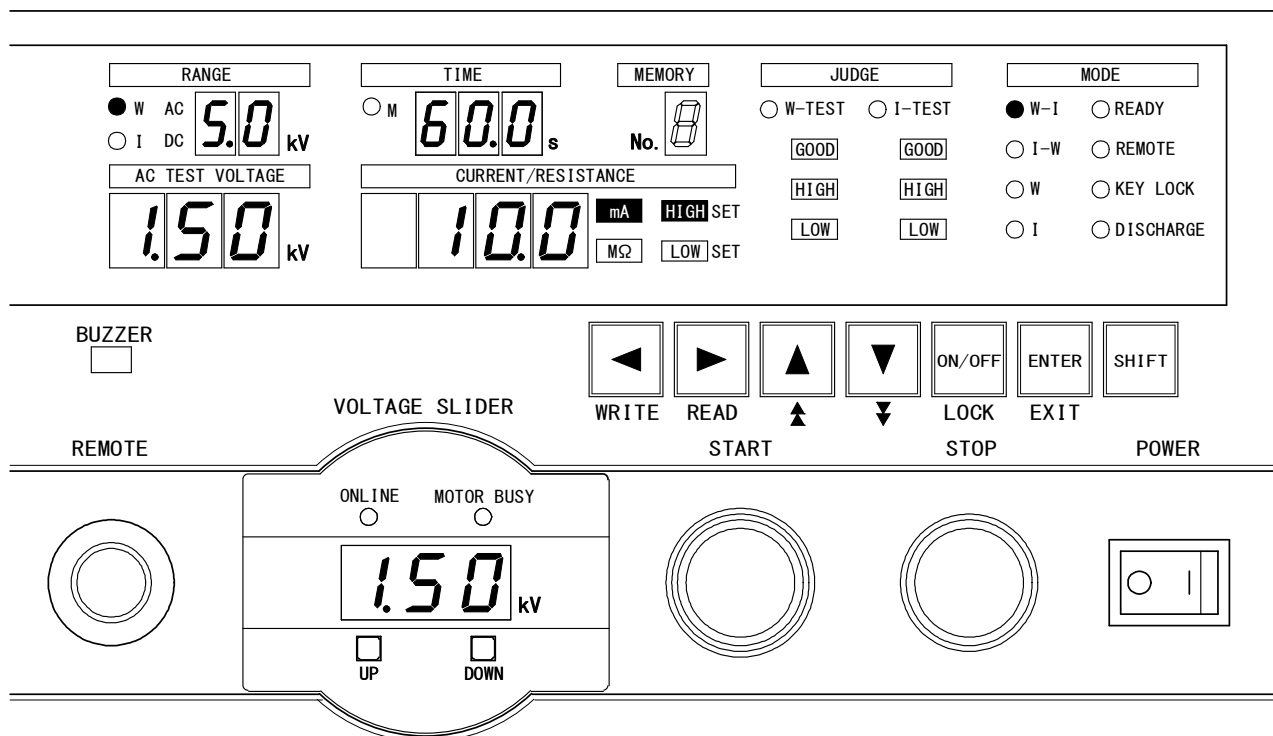
- ① READY状態で **READ** キー (**SHIFT** と **▶** 同時) を押します。
- ② メモリーNo. 表示器の数字が点滅してメモリー読み出しモードになります。  
各表示器は点滅しているメモリーNo. の設定内容を表示します。
- ③ **▲** 又は **▼** キーで読み出したいメモリーNo. を選択します。(上図を参照してください。)

## 読み出しの終了

**ENTER** キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
試験モードW-I又はI-Wのときスライダーが昇降します。(10.4項参照)  
設定モード中に **EXIT** キー (**SHIFT** と **ENTER** 同時) を押すと、メモリー読み出しモードを中断し、READY状態になります。  
その時のメモリーNo. は、メモリー読み出しモードに入る前の状態になります。

## 10.4 ●メモリーによるモータスライダ－電圧調整

メモリーNo.の書き込み、読み込みを使ってスライダ－電圧調整することができます。下図はメモリーNo.8を読み出した例です。



## 設定できる条件

- ①各メモリーNo.の試験条件にスライダ－電圧設定（0～5.99kV）している。
- ②KEY LOCKランプ消灯している。
- ③試験モードが、W-I、I-W、Wの時。

## 設定方法

- ①メモリー書き込みは、10.2項を参照。
- ②メモリー読み込みは、10.3項を参照。

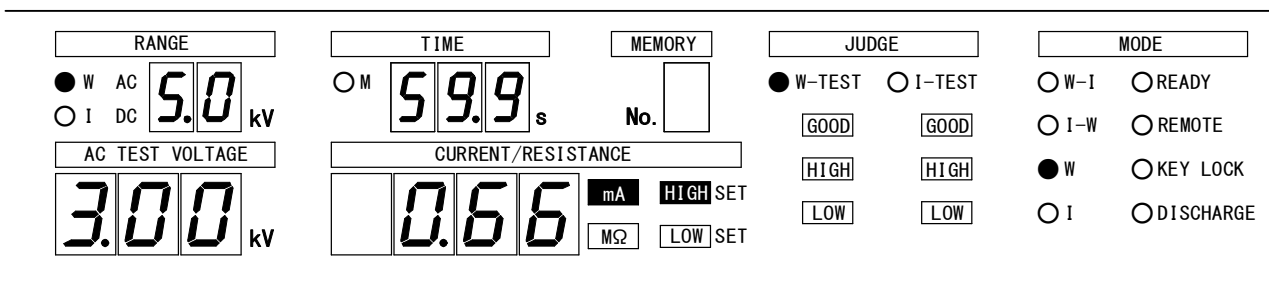
## 自動昇降開始

- メモリーNo.設定後、**ENTER**キーで自動昇降します。

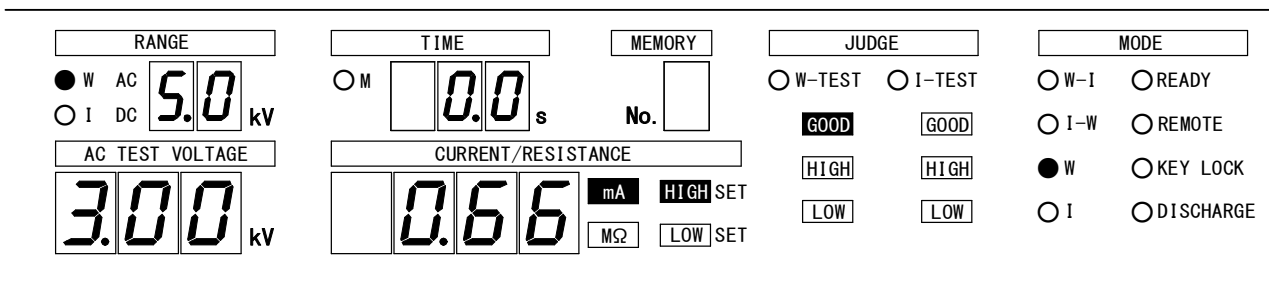


# 1 1. 試験方法（スタートから判定結果まで）

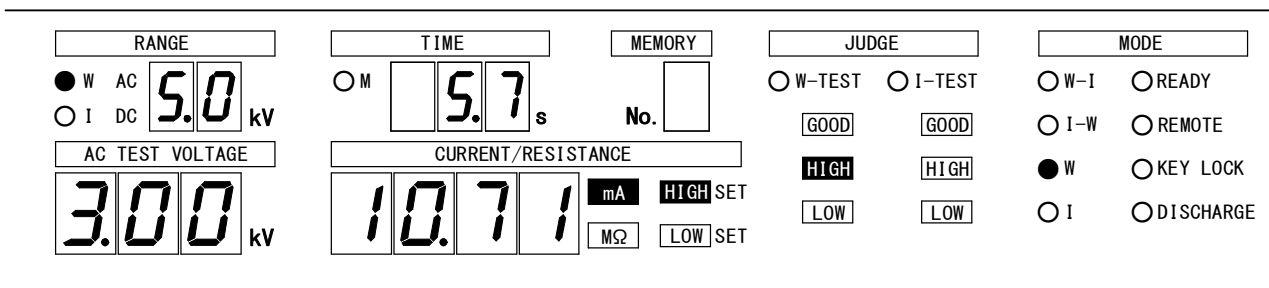
## 1 1. 1 ●W試験（耐電圧試験）の操作方法



- (1) READY状態の時、**▶**又は**◀**キーを押し試験モードランプが点滅します。  
**▲**又は**▼**キーでWランプを選択します。このとき試験条件も表示します。
- (2) 試験条件を変更するときは、**▶**、**◀**、**▲**、**▼**、**ON/OFF**、**SHIFT**キーで設定変更できます。詳細は8項参照してください。  
注) 試験時間を**OFF**に設定することができます。この場合、試験中は経過時間を表示し、999sを超えると**---**のスクロール表示し試験を続行します。
- (3) **START**スイッチ③を押すと、W-TESTランプが点灯し試験を開始します。  
高電圧の出力中は**DANGER**ランプが点灯します。  
試験中は、**REMOTE/OUT**コネクタ④TEST/H.V. OUT、W-TEST、TESTはONし、READYはOFFします。  
試験終了すると、**REMOTE/OUT**コネクタ④TEST/H.V. OUT、W-TEST、TESTはOFFし、ENDはONします。
- (4) 合格判定の場合  
試験時間が経過すると試験を終了し耐電圧試験の**GOOD**点灯します。  
・合格判定時間0.2秒間のとき、スタート前のREADY状態に戻ります。  
・合格判定時間が連続出力のとき、再スタートできません。この場合**STOP**スイッチ②を押すとREADY状態になります。  
・判定出力は**REMOTE/OUT**コネクタ④W-GOOD、GOODがONします。



- (5) 不合格判定の場合  
試験電圧の出力を停止し、試験を中止します。漏れ電流値が上限設定値以上の場合は**JUDGE HIGH**を、下限設定値以下の場合は**JUDGE LOW**を連続点灯します。  
**STOP**スイッチ②を押すとREADY状態になります。  
・判定出力は**REMOTE/OUT**コネクタ④W-HIGH又はW-LOW、NGがONします。



## ※注意 試験電圧が基準電圧範囲外の場合

基準電圧を設定すると、試験電圧が基準電圧値範囲（設定値の±5%以内）に入らないと試験を中止します。

（1000V以下の場合は、±50V（±5digit）以内）

試験電圧が基準電圧範囲以下の場合は5秒間待機し、超えた場合は直ちに試験を中止します。

なお、この間タイマーは動作せず、W-TESTランプが点滅します。

また、試験中に試験電圧が基準電圧範囲を外れた場合は、試験を中止します。

基準電圧設定が不要な時はOFFにできます。

- (1) **START**スイッチ③を押すと、W-TESTと**DANGER**ランプ⑬が点灯し、設定した試験条件で試験を開始します。

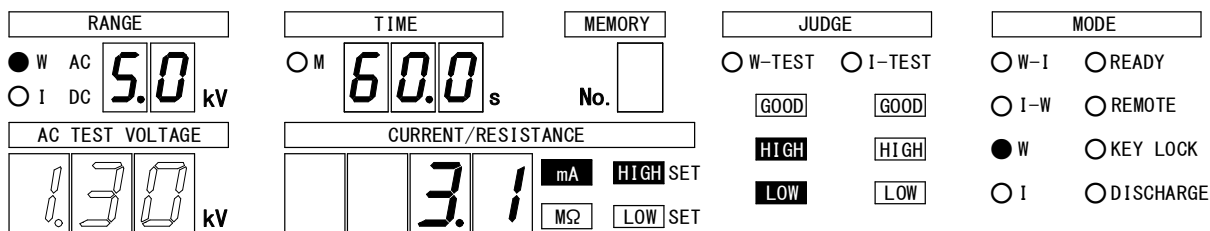
[基準電圧範囲を外れた時の判定表示と判定出力]

判定表示・・・**HIGH** **LOW**ランプ点灯（W-TEST側）

判定出力・・・判定は出力しません。**REMOTE/OUT**コネクタ⑭よりPROTECTION（ピンNo.12）が出力します。

- (2) 試験電圧が基準電圧範囲以下の場合は5秒待機し（待機中はW-TESTランプが点滅）その間**UP**キーにより目的の試験電圧を出力させます。  
また、基準電圧範囲を超えた場合は、直ちに試験を中止します。  
なお、基準電圧の設定をOFFにした場合も、試験電圧が6.00kV以上になると直ちに試験を中止します。  
電圧値は出力電圧計及び試験電圧表示器に表示します。  
注）待機中でも試験電圧は出力していますので、上下限漏れ電流値判定を行っています。
- (3) 5秒を超えても範囲を外れる場合は、試験電圧表示器がその時の試験電圧出力値を点滅表示、更に**JUDGE****HIGH** **LOW**が点灯して試験を中止します。**STOP**スイッチ②を押してREADY状態にしてください。

[試験電圧が基準電圧範囲外の時]



## 1 1 . 2 ● I 試験 (絶縁抵抗試験)

<b>RANGE</b> ○ W AC ● I DC <b>0.5</b> kV AC TEST VOLTAGE kV	<b>TIME</b> ○ M <b>59.9</b> s	<b>MEMORY</b> No. <input type="text"/>	<b>JUDGE</b> ○ W-TEST ● I-TEST GOOD HIGH LOW GOOD HIGH LOW	<b>MODE</b> ○ W-I ○ READY ○ I-W ○ REMOTE ○ W ○ KEY LOCK ● I ○ DISCHARGE
<b>CURRENT/RESISTANCE</b> <b>119.9</b> mA HIGH SET MΩ LOW SET				

- (1) READY状態の時、又はキーを押し試験モードランプが点滅します。  
又はキーでIランプを選択します。このとき試験条件も表示します。
- (2) 試験条件を変更するときは、、、、、**ON/OFF**、**SHIFT**キーで設定変更できます。詳細は9項参照してください。  
注) 試験時間を **OFF** に設定することができます。この場合、試験中は経過時間表示し、999sを超えると **- - -** のスクロール表示し試験を続行します。
- (3) **START** スイッチ③を押すと、I-TESTランプが点灯し試験を開始します。  
高電圧の出力中は**DANGER**ランプが点灯します。  
試験中は、**REMOTE/OUT**コネクタ④TEST/H.V. OUT、I-TEST、TESTはONし、READYはOFFします。  
試験終了すると、**REMOTE/OUT**コネクタ④TEST/H.V. OUT、I-TEST、TESTはOFFし、ENDはONします。
- (4) 合格判定の場合

<b>RANGE</b> ○ W AC ● I DC <b>0.5</b> kV AC TEST VOLTAGE kV	<b>TIME</b> ○ M <b>0.0</b> s	<b>MEMORY</b> No. <input type="text"/>	<b>JUDGE</b> ○ W-TEST ○ I-TEST GOOD HIGH LOW GOOD HIGH LOW	<b>MODE</b> ○ W-I ○ READY ○ I-W ○ REMOTE ○ W ○ KEY LOCK ● I ○ DISCHARGE
<b>CURRENT/RESISTANCE</b> <b>120.0</b> mA HIGH SET MΩ LOW SET				

- 試験時間が経過すると試験を終了し絶縁抵抗試験の**GOOD**点灯します。
- 合格判定時間0.2秒間のとき、スタート前のREADY状態に戻ります。
  - 合格判定時間が連続出力のとき、再スタートできません。この場合**STOP**スイッチ②を押すとREADY状態になります。
  - 判定出力は**REMOTE/OUT**コネクタ④I-GOOD、GOODがONします。
- (5) 不合格判定の場合

<b>RANGE</b> ○ W AC ● I DC <b>0.5</b> kV AC TEST VOLTAGE kV	<b>TIME</b> ○ M <b>4.7</b> s	<b>MEMORY</b> No. <input type="text"/>	<b>JUDGE</b> ○ W-TEST ○ I-TEST GOOD HIGH LOW GOOD HIGH LOW	<b>MODE</b> ○ W-I ○ READY ○ I-W ○ REMOTE ○ W ○ KEY LOCK ● I ○ DISCHARGE
<b>CURRENT/RESISTANCE</b> <b>26.7</b> mA HIGH SET MΩ LOW SET				

- 試験電圧の出力を停止し、試験を中止します。測定抵抗値が設定範囲から外れた場合は、直ちに試験電圧の出力を停止し、試験を中止します。  
測定抵抗値が上限設定値以上の場合は**JUDGE HIGH**を、下限設定値以下の場合は**JUDGE LOW**を点灯します。  
**STOP**スイッチ②を押すとREADY状態になります。  
・判定出力は**REMOTE/OUT**コネクタ④I-HIGH又はI-LOW、NGがONします。

## 1 1 . 3 ● W-I 試験 (耐電圧→絶縁抵抗試験)

READY状態では、耐電圧試験と絶縁抵抗試験の試験条件設定が2秒周期で交互に表示します。

注) 下限漏れ電流判定について

耐電圧試験開始後、0.3秒経過するまで下限漏れ電流判定は行いません。

また、基準電圧設定の場合は、基準電圧範囲に達してから0.3秒経過後、下限漏れ電流判定を行います。

RANGE		TIME	MEMORY	JUDGE		MODE	
● W AC	5.0 kV	○ M 60.0 s	No. <input type="text"/>	○ W-TEST	○ I-TEST	● W-I	● READY
○ I DC				<input type="checkbox"/> GOOD	<input type="checkbox"/> GOOD	○ I-W	○ REMOTE
AC TEST VOLTAGE		CURRENT/RESISTANCE		<input type="checkbox"/> HIGH	<input type="checkbox"/> HIGH	○ W	○ KEY LOCK
1.50 kV		10.0 mA	HIGH SET	<input type="checkbox"/> LOW	<input type="checkbox"/> LOW	○ I	○ DISCHARGE
			MΩ LOW SET				

- READY状態の時、又はキーを押し試験モードランプが点滅します。  
又はキーでW-Iランプを選択します。このとき試験条件も表示します。
- 試験条件を変更するときは、, , , , , キーで設定変更できます。詳細は8項, 9項参照してください。
- スイッチ③を押すと、W-TESTランプが点灯し試験を開始します。  
高電圧の出力中はランプが点灯します。  
試験中は、コネクタ④ TEST/H. V. OUT、TESTはONし、READYはOFFします。  
(耐電圧試験中はW-TEST、絶縁抵抗試験はI-TESTがONします。)  
試験終了すると、コネクタ④ TEST/H. V. OUT、W-TEST、I-TEST、TESTはOFFし、ENDはONします。詳細は、タイミングチャート17項参照してください。
- 合格判定の場合

RANGE		TIME	MEMORY	JUDGE		MODE	
○ W AC	0.5 kV	○ M 0.0 s	No. <input type="text"/>	○ W-TEST	○ I-TEST	● W-I	○ READY
● I DC				<input type="checkbox"/> GOOD	<input type="checkbox"/> GOOD	○ I-W	○ REMOTE
AC TEST VOLTAGE		CURRENT/RESISTANCE		<input type="checkbox"/> HIGH	<input type="checkbox"/> HIGH	○ W	○ KEY LOCK
		184.6 mA	HIGH SET	<input type="checkbox"/> LOW	<input type="checkbox"/> LOW	○ I	○ DISCHARGE
			MΩ LOW SET				

耐電圧試験時間が経過すると、耐電圧試験点灯し、絶縁抵抗試験が経過すると、絶縁抵抗試験点灯します。

- 合格判定時間0.2秒間のとき、スタート前のREADY状態に戻ります。
- 合格判定時間が連続出力のとき、再スタートできません。この場合スイッチ②を押すとREADY状態になります。
- ステータス出力は、タイミングチャート17項参照してください。

- 不合格判定の場合  
耐電圧試験不合格のとき・・・11.1項参照してください。  
絶縁抵抗試験不合格のとき・・・11.2項参照してください。  
スイッチ②を押すとREADY状態になります。

## 11.4 ● I - W 試験 (絶縁抵抗 → 耐電圧試験)

READY状態では、耐電圧試験と絶縁抵抗試験の試験条件設定が2秒周期で交互に表示します。

<b>RANGE</b> ○ W AC ● I DC 0.5 kV	<b>TIME</b> ○ M 60.0 s	<b>MEMORY</b> No. <input type="text"/>	<b>JUDGE</b> ○ W-TEST ○ I-TEST GOOD HIGH LOW GOOD HIGH LOW	<b>MODE</b> ○ W-I ● READY ● I-W ○ REMOTE ○ W ○ KEY LOCK ○ I ● DISCHARGE
<b>AC TEST VOLTAGE</b> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kV	<b>CURRENT/RESISTANCE</b> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> mA HIGH SET <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> MΩ LOW SET			

- READY状態の時、▶️又は◀️キーを押し試験モードランプが点滅します。  
▲️又は▼️キーでW-Iランプを選択します。このとき試験条件も表示します。
- 試験条件を変更するときは、▶️、◀️、▲️、▼️、ON/OFF、SHIFTキーで設定変更できます。詳細は8項,9項参照してください。
- STARTスイッチ③を押すと、I-TESTランプが点灯し試験を開始します。  
高電圧の出力中はDANGERランプが点灯します。  
試験中は、REMOTE/OUTコネクタ④TEST/H.V. OUT、TESTはONし、READYはOFFします。  
(絶縁抵抗試験はI-TEST、耐電圧試験中はW-TESTがONします。)  
試験終了すると、REMOTE/OUTコネクタ④TEST/H.V. OUT、W-TEST、I-TEST、TESTはOFFし、ENDはONします。詳細は、タイミングチャート17項参照してください。
- 合格判定の場合

<b>RANGE</b> ● W AC ○ I DC 5.0 kV	<b>TIME</b> ○ M 0.0 s	<b>MEMORY</b> No. <input type="text"/>	<b>JUDGE</b> ○ W-TEST ○ I-TEST GOOD HIGH LOW GOOD HIGH LOW	<b>MODE</b> ○ W-I ○ READY ● I-W ○ REMOTE ○ W ○ KEY LOCK ○ I ○ DISCHARGE
<b>AC TEST VOLTAGE</b> 1.50 kV	<b>CURRENT/RESISTANCE</b> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> mA HIGH SET <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> MΩ LOW SET			

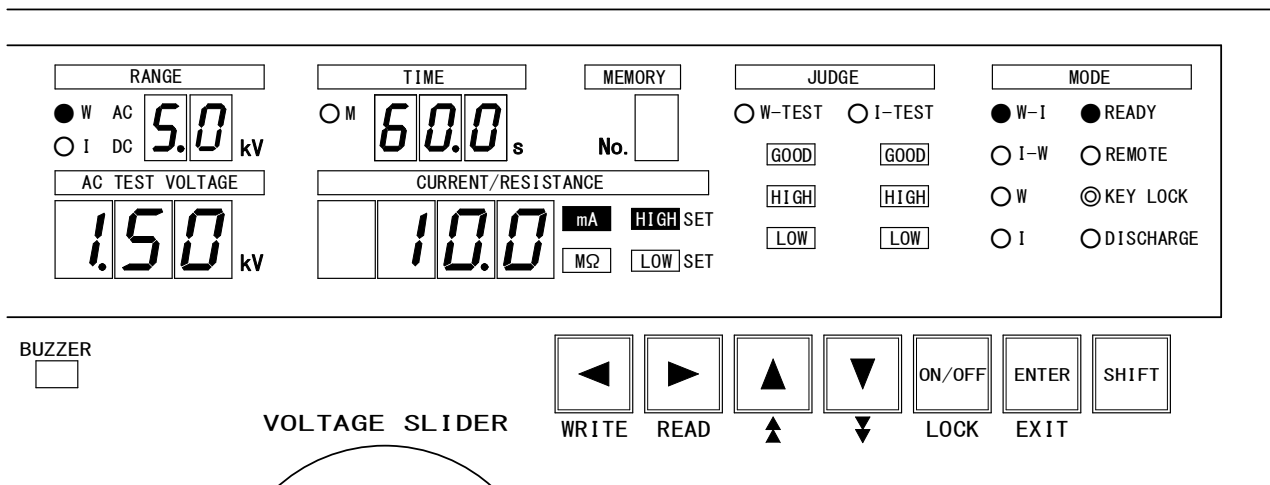
絶縁抵抗試験時間が経過すると、絶縁抵抗試験GOOD点灯し、耐電圧試験が経過すると、耐電圧試験GOOD点灯します。

- 合格判定時間0.2秒間のとき、スタート前のREADY状態に戻ります。
- 合格判定時間が連続出力のとき、再スタートできません。この場合STOPスイッチ②を押すとREADY状態になります。
- ステータス出力は、タイミングチャート17項参照してください。

- 不合格判定の場合  
絶縁抵抗試験不合格のとき・・・11.2項参照してください。  
耐電圧試験不合格のとき・・・11.1項参照してください。  
STOPスイッチ②を押すとREADY状態になります。

## 12. キーロック

READY状態の時、**START**スイッチ③と**STOP**スイッチ②以外の操作を無効にします。  
リモートコントロール時は、リモートコントロールからのスタートになります。



### キーロックの設定手順

- ①READY状態で**LOCK**キー（**SHIFT**と**ON/OFF**同時）を3秒以上押します。  
押している3秒間、KEY LOCKランプは点滅します。
- ②KEY LOCKランプが点灯し、キーロック機能が設定されます。

### キーロックの解除

- ①KEY LOCKランプ点灯中に再度**LOCK**キー（**SHIFT**と**ON/OFF**同時）を3秒以上押します。  
押している3秒間、KEY LOCKランプは点滅します。
- ②KEY LOCKランプが消灯し、キーロック機能が解除されます。

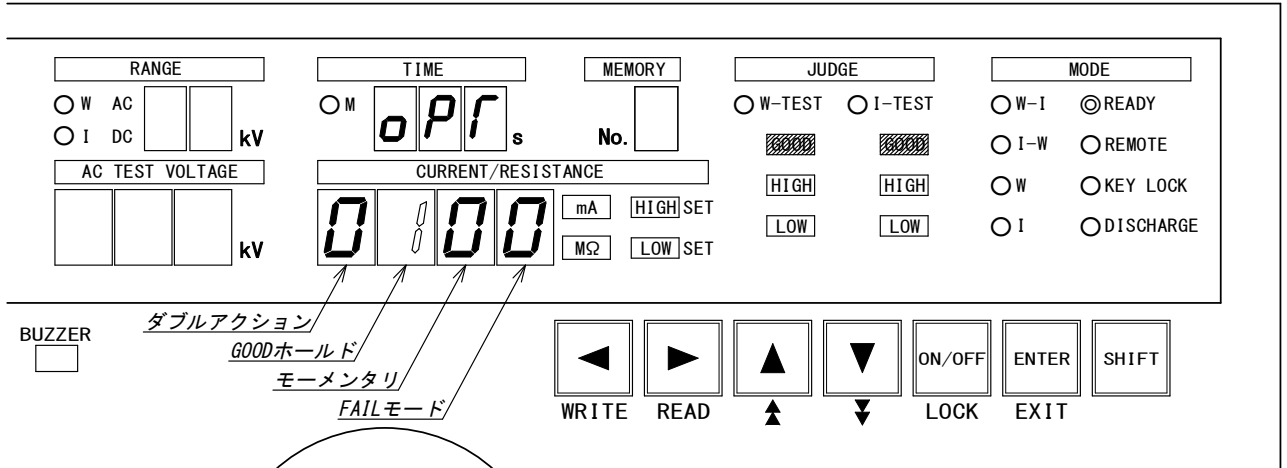
### REAR : MODEによる操作のキーロック

- ①14.4項（P45）REAR : MODEによる操作で、REAR : MODEを設定するとKEY LOCKランプが点灯し、キーロック状態になります。
- ②キーロック状態を解除するには、REAR : MODE設定をOFFしてください。

# 13. 特殊テストモード

8527は前面パネルのスイッチ操作により4種類の特殊機能設定ができます。

- (1) ダブルアクションスタート機能  
ストップ信号入力後、0.5秒以内にスタート信号の入力で試験開始します。  
注) 機能を設定した場合は、READY状態でREADYランプが点滅します。
- (2) GOODホールド機能  
合格判定に関するモードです。ストップ信号を入力するまでの連続出力になります。
- (3) モーメンタリスタート機能  
スタート信号を入力しているときだけ試験を行います。
- (4) FAILモード機能  
NG判定及びPROTECTION動作のリセットはリモコンのストップ信号からは無効となり本体のストップスイッチからのみリセット有効となる機能です。



### 特殊テストモードの設定手順

- ① READY状態で **SHIFT** キーと **STOP** スイッチを同時に3秒以上押します。  
READYランプ点滅、試験時間表示が「OPF」点灯します。  
電流/抵抗表示器の4桁目の表示器が点滅します。
- ② **▶**又は**◀**キーにより設定項目が移動できます。
- ③ 選択項目は下記表を参照願います。

CURRENT/RESISTANCE					設定時に同期して点滅するランプ
0	0	0	0	▲キー：数値が上がります。 ▼キー：数値下がります。	
0	!	-	-	設定の解除	READYランプ
!	-	-	-	ダブルアクションスタート機能の設定	
0	!	-	-	設定の解除	W-TEST、I-TESTの <b>GOOD</b>
!	-	-	-	GOODホールド機能の設定 注) 再スタートするためには一度ストップ信号入力が必要です。	
!	-	-	-	GOODホールド機能の設定 注) スタート信号を入力すると判定出力をリセットして再スタートします。	
0	!	-	-	設定の解除	I-TEST、W-TESTランプ
!	-	-	-	モーメンタリスタート機能の設定	
0	!	-	-	設定の解除	W-TEST、I-TESTの <b>HIGH</b> <b>LOW</b>
!	-	-	-	FAILモードの設定	

### 設定の終了

**ENTER** キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
設定モード中に **EXIT** キー (**SHIFT** と **ENTER** 同時) を押すと、特殊テストモードを中断し、READY状態になります。  
その時の特殊テストモードは、特殊テストモードに入る前の状態になります。

## 14. リモートコントロール

8527は前面パネルの **REMOTE** コネクタ⑧、裏面パネルの **REMOTE** 端子台⑮又は **REMOTE/OUT** コネクタ⑱より、リモートコントロールできます。

### ⚠ 警告

リモートコントロール時、外部信号により高電圧をON/OFFしますので、不用意に高電圧を発生しないよう、また出力端子、高電圧ケーブル及び被試験物に触れないよう十分に注意してください。

### 14.1 ● REMOTEコネクタによる操作

別売品のリモートコントロールボックス（5858-07、07W）を **REMOTE** コネクタ⑧に接続すると、スタート/ストップ操作をリモートコントロールできます。

リモートコントロールボックスのプラグを挿入すると、**REMOTE**ランプが点灯し前面パネルのスイッチ操作からリモートコントロールボックスによるリモート操作に切り替わります。

リモート操作時は、前面パネルの **START** スイッチ③は無効になります。

### 14.2 ● REMOTE端子台による操作

裏面の **REMOTE** 端子台⑮から、**REMOTE** コネクタ⑧と同様のリモート操作ができます。

別売品のフットスイッチ（5858-04）をSTART端子に接続するとスタート操作を足で行うことができます。

- ①電源をOFFし、**DANGER**ランプ⑬が消灯していることを確認します。
- ② **REMOTE** 端子台⑮のREAR:ONとC端子間を短絡します。又は、**REMOTE/OUT** コネクタ⑱のピンNo. 2と同コネクタのCOM(ピンNo. 19, 23, 36のいずれか)と短絡してください。
- ③STARTとC及びSTOPとCにスイッチ、リレー接点又はトランジスタ、ホトカプラなどの論理素子を接続します。
- ④電源をONすると、表示部の**REMOTE**ランプが点灯し、リモートコントロール可能となります。

注) リモートコントロール時、前面の **START** スイッチ③は無効となりますが、ストップ操作は前面の **STOP** スイッチ②と **REMOTE** 端子台⑮のSTOP端子の双方から行うことができます。



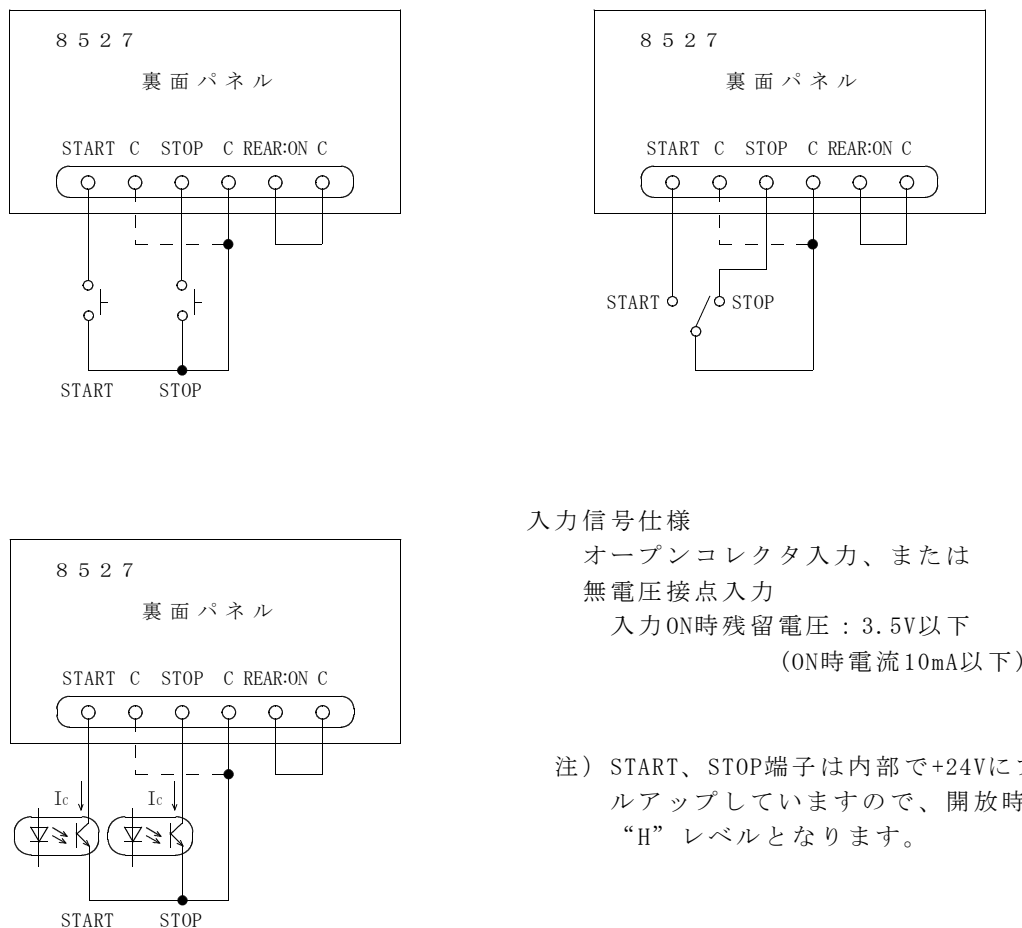


図14.1 リモートコントロール端子台接続例

**注意**

スイッチやリレーで制御する場合、チャタリングが発生すると誤動作することがあります。

**14.3 ● REMOTE/OUTコネクタによる操作**

裏面の **REMOTE/OUT** コネクタ ㉑からも **REMOTE** 端子台 ㉕と同一のリモート操作ができます。

コネクタの接続は15.2項 (P47) を参照してください。

操作方法は14.2項 (P43) REMOTE端子台による操作と同じです。

## 14.4 ● REAR:MODEによる操作

### REAR:MODEの特長

1. リレーやシーケンサ等で試験モード（耐電圧試験、絶縁抵抗試験）を任意に選択できます。また試験モード選択しない場合は、REAR:MODEに入る前の試験状態で試験を行うこととなります。
2. メモリー設定内容をシーケンサ等で読み出して試験できます。
3. 試験モードは外部から制御できますが、数値の設定変更はできませんのであらかじめメモリーなどで設定してください。
4. 外部制御で使用するため設定時は、キーロック状態になります。
5. スタート信号は、リモートコントロール設定状態で決まります。
6. 試験の中断は、**STOP**スイッチ②や裏面の端子台**STOP**⑤、**REMOTE/OUT**コネクタのピンNo. 4(STOP)から試験中断できます。

### REAR:MODE設定からスタートする

- (1) 裏面の**REMOTE/OUT**コネクタ②のピンNo. 20(REAR:MODE)を同コネクタ②のCOM(19, 23, 36のいずれか)と短絡します。メモリーNo.表示器に**7**を表示します。  
注) シーケンサ等により、**START**スイッチ③（手動スタート）を使用しないで、自動で行うときは、ピンNo. 2(REAR:ON)をONにする。又は**REMOTE**端子台⑤のREAR:ONとCを短絡します。
- (2) 試験モードを選択します。  
試験モードは、耐電圧又は絶縁抵抗のいずれかを**REMOTE/OUT**コネクタ②のピンNo. 21(W-MODE)又はピンNo. 22(I-MODE)によって選択しておきます。
- (3) 試験物との配線、安全等の確認後、**START**スイッチ③を押す。又はリモートコントロールによって試験開始します。

耐電圧試験と絶縁抵抗試験を連続(W-I, I-W)して行うには、(2)の試験モードで合格判定後、他方の試験モードを切替えて再スタートします。

[例]耐電圧試験→絶縁抵抗試験(W-I)をするとき

- ①READY状態のとき、**REMOTE/OUT**コネクタ②のピンNo. 21(W-MODE)ONにします。試験スタートします。耐電圧試験中になり**DANGER**ランプ⑬点灯します。
- ②耐電圧試験合格判定終了後、ピンNo. 21(W-MODE)OFFにします。  
このときREADY状態です。
- ③次に絶縁抵抗試験をしますのでピンNo. 22(I-MODE)ONにします。
- ④試験スタートします。絶縁抵抗試験中になり**DANGER**ランプ⑬点灯します。
- ⑤後は通常通り合否判定出力がでます。

### メモリーを読み出してスタートする

- (1) 裏面の**REMOTE/OUT**コネクタ②のピンNo. 20(REAR:MODE)を同コネクタ②のCOM(19, 23, 36のいずれか)と短絡します。メモリーNo.表示器に**7**を表示します。
- (2) 同コネクタ②のピンNo. 6~9(MEM SET 1, 2, 4, 8)のBCDコードの組み合わせによりメモリーNo. 1~9を読み出しておきます。  
注) A~Fコードを入力した場合、表示器にA~Fを点滅表示しますが読み出しはできません。
- (3) 試験物との配線、安全等の確認後、**START**スイッチ③を押す。又はリモートコントロールによって試験開始します。

### REAR:MODEと併用できるリモートコントロール

基本的には、**REAR:MODE設定からスタートまで**で説明したとおりですが、REAR:MODE設定時は、リモートコントロールも併用できます。

**REMOTE**コネクタ⑧（前面パネル）からのスタート、**REMOTE**端子台⑤（裏面パネル）、**REMOTE/OUT**コネクタ②のピンNo. 3(START)からの開始も可能です。

リモートコントロールの優先順位は、14.6項を参照してください。

### [REAR:MODE時に考えられるエラー]

<i>Err No. E</i> の点滅表示する。	原因と対策は20項エラーメッセージを参照してください。
<i>Err E-40</i> の点滅表示する。	
<i>Err rNFE</i> の点滅表示する。	

## 14.5 ● REMOTE/OUTコネクタによるモータスライダ電圧調整

REAR:MODEがON状態で、メモリーNo.を選択するとスライダ電圧設定値に自動昇降します。

昇降途中で、メモリーNo.を切替えると、新しいメモリーNo.のスライダ電圧設定値に昇降します。ただし、有効なメモリーNo.とスライダ電圧設定値であること。メモリーNo.A~F又は昇降中、REAR:MODEがOFFにしても、先に有効なときのメモリーNo.のスライダ電圧設定値に昇降します。

## 14.6 ● 各リモートコントロールの優先順位

8527には、リモートコントロール設定が4ヶ所あります。もし複数設定されても優先順位がありますので、下記の表を参考にしてください。

項目	リモートコントロールの設定	優先順位
A	RS-232Cコネクタ⑳ (裏面パネル)	1
B	REMOTEコネクタ⑧ (前面パネル)	2
C	REMOTE/OUTコネクタ㉑ (裏面パネル)	3
D	REMOTE端子台㉒ (裏面パネル)	3

項目C、D (REAR:ON)は内部で並列接続になりますので、裏面からコントロールするとき、C、Dどちらからでもコントロールできます。

## 15. 外部制御

### 15.1 ●REMOTE/OUTコネクタによる制御

裏面パネルの **REMOTE/OUT** コネクタ②より、スタート/ストップのリモートコントロール、安全を保証するためのインターロックの設定及び8527の各状態に対応する出力信号をオープンコレクタで出力します。

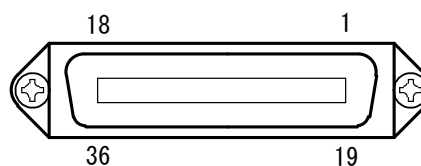
入出力信号はホットカプラで内部回路とは絶縁しています。またDC24V 0.1Aの電源を備えていますので外部制御用電源として使用できます。

### 15.2 ●コネクタピン配列と機能

I/O	信号名	ピンNo.	機能
	+24V	1	DC24V制御用電源を出力 (容量0.1A)
I	REAR:ON	2	リモートコントロール切替信号 詳細は14.3項参照
	START	3	スタート用入力信号
	STOP	4	ストップ用入力信号
	INTER LOCK	5	インターロック用信号
	MEM SET1	6	メモリー呼び出しBCDコード入力 (REAR:MODE設定時に有効) No.1~No.9まで有効。A~Fコードは無効です。 メモリー呼び出しはできません。
	MEM SET2	7	
	MEM SET4	8	
	MEM SET8	9	
O	TEST/H.V. OUT	10	高電圧端子に電圧出力時に出力
	READY	11	READY状態の時出力
	PROTECTION	12	保護機能動作時出力 詳細は15.4項参照
	GOOD	13	合格判定時に出力
	W HIGH	14	耐電圧試験の上限不合格判定時に出力
	W GOOD	15	耐電圧試験の合格判定時に出力
	I HIGH	16	絶縁抵抗試験の上限不合格判定時に出力
	I GOOD	17	絶縁抵抗試験の合格判定時に出力
-	NC	18	空きピン (中継等の配線はしないでください)
COM	COM	19	コモン (23、36と共通)
I	REAR:MODE	20	裏面からの試験モード切替動作(W, I)となります。
	W-MODE	21	耐電圧試験のモード設定 (REAR:MODE設定時に有効)
	I-MODE	22	絶縁抵抗試験のモード設定 (REAR:MODE設定時に有効)
COM	COM	23	コモン (19、36と共通)
O	W-TEST	24	耐電圧試験の試験中に出力 W-TEST点滅時は出力しない
	I-TEST	25	絶縁抵抗試験の試験中に出力 I-TEST点滅時は出力しない
	TEST	26	試験中に出力 W-TEST、I-TEST点滅時は出力しない
-	NC	27	空きピン (中継等の配線はしないでください)
O	END	28	試験終了時に出力
-	NC	29	空きピン (中継等の配線はしないでください)
	NC	30	空きピン (中継等の配線はしないでください)
O	NG	31	不合格判定時に出力
	W LOW	32	耐電圧試験の下限不合格判定時に出力
-	NC	33	空きピン (中継等の配線はしないでください)
O	I LOW	34	絶縁抵抗試験の下限不合格判定時に出力
-	NC	35	空きピン (中継等の配線はしないでください)
COM	COM	36	コモン (19、23と共通)

入出力の種類

I : 入力  
O : オープンコレクタ出力  
COM: 入出力用コモン  
- : 空きピン



使用コネクタ：36Pアンフェノール

注) 外部よりリモートコントロールする場合は、REAR:ONとCOMを短絡します。リモート操作は14.2項 (P43) **REMOTE端子台による操作**と同じです。

### 15.3 ● インターロック信号

インターロックは作業者の安全を確保するため、外部装置と連動させて出力をしゃ断する機能です。

本体裏面の **REMOTE/OUT** コネクタ①のピンNo.5 (INTER LOCK) をオープンにするとインターロック状態になり、試験のスタートができません。

インターロック機能作動中は試験電圧表示器に *Err LOCK* を点滅表示し、8527の出力はしゃ断されすべてのキー操作は無効になります。

インターロックを解除するには **REMOTE/OUT** コネクタ①のピンNo.5とピンNo.23 (COM) を短絡して“L”レベルにしてから **STOP** スイッチ②を押します。

*Err LOCK* が消灯、**READY** ランプが点灯して試験可能になります。

注) 付属の **REMOTE/OUT** プラグ (36P) はピンNo.5とピンNo.23を短絡しています。

下図の接続例のように外部装置と連動させるなど、安全面を考慮した適切なインターロック処理を施してください。

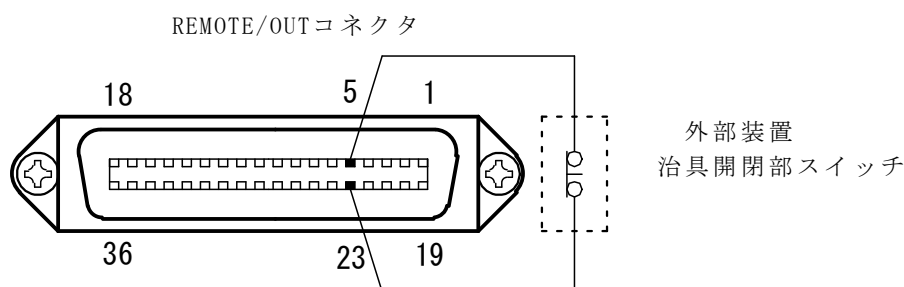


図15.1 インターロック接続例

### 15.4 ● 保護機能動作 (PROTECTION)

保護機能動作は、下記の状態の時に **REMOTE/OUT** コネクタ①より PROTECTION が出力する動作です。

- ・ 試験終了後、10秒経過しても試験物の放電が終了しないとき
- ・ 試験終了後、10秒経過しても電圧出力が下がらないとき
- ・ インターロック入力がOFFしたとき
- ・ 試験中に、リモート状態を変更したとき
- ・ 基準電圧設定範囲外するとき

## 15.5 ●出力信号と制御用電源

8527の各状態を出力信号として取り出すことができます。  
DC24Vの制御用電源を備えていますので、リレーなどを直接ドライブできます。

- (1) 出力信号仕様 (ピンNo. 10~17、24~26、28、31、32、34)  
 信号形式: オープンコレクタ出力  
 最大負荷電圧: DC30V  
 最大出力電流: DC30mA  
 絶縁方式: ホトカプラにより内部回路とアイソレーション  
 出力飽和電圧: DC1.6V以下
- (2) 制御用電源仕様 (ピンNo. 1)  
 出力電圧: DC24V  
 電流量: DC0.1A

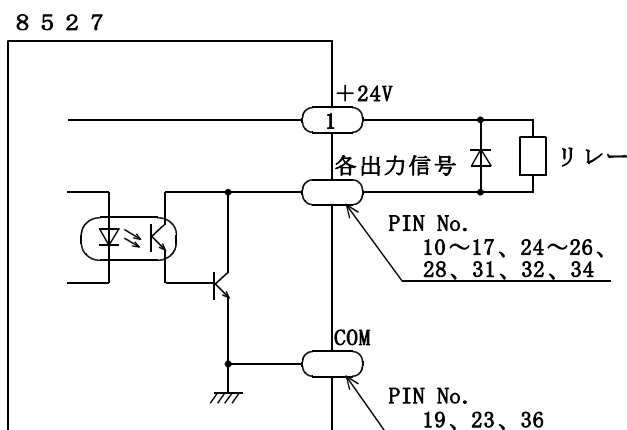


図15.2 リレードライブ接続例

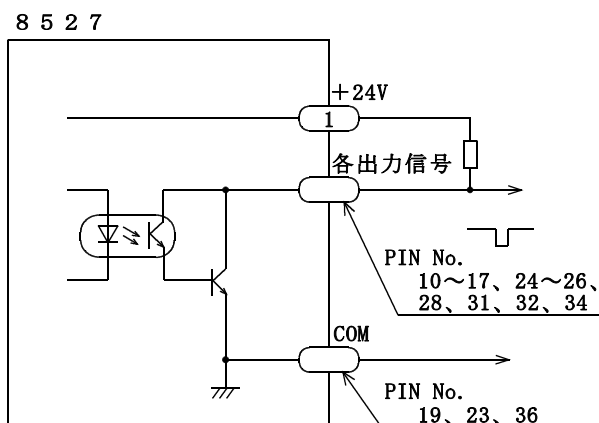


図15.3 信号レベルを得る例

### ⚠ 注意

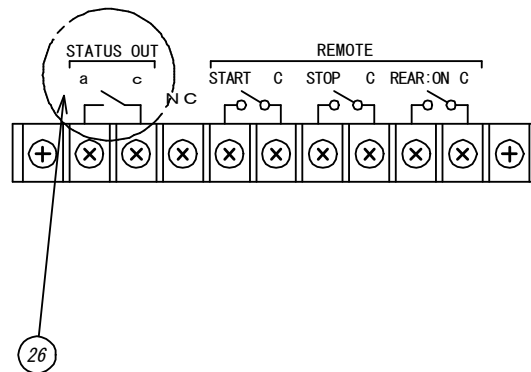
- ・ 出力信号はDC30V 30mA以下でご使用ください。
- ・ リレーなどの誘導性負荷を制御する場合は、コイルと並列にダイオードを接続して逆起電力を吸収してください。

## 16. ステータス出力

### 16.1 ●STATUS OUTの出力名と出力条件

裏面 **STATUS OUT** ②⑥端子台から、設定した出力条件時にリレー接点で出力します。複数の出力を選択した時は、1つでも条件が成立すると出力します。

出力信号名	出力条件
TEST/H.V. OUT	高電圧端子に電圧出力時 ( <b>DANGER</b> 点灯時)
TEST	試験中 ( <b>TEST</b> ランプ点灯時)
GOOD	合格判定時 ( <b>GOOD</b> ランプ点灯時)
NG	不合格判定時 ( <b>JUDGE HIGH</b> 、 <b>LOW</b> ランプ点灯時)
READY	READY状態の時 ( <b>READY</b> ランプ点灯時)
REMOTE	リモートコントロール時 ( <b>REMOTE</b> ランプ点灯時)
POWER ON	電源がONの時



オプションのブザーユニット (5858-05) などに接続することができます。ステータス出力候補の出力名は複数選択可能です。(OR選択となります)

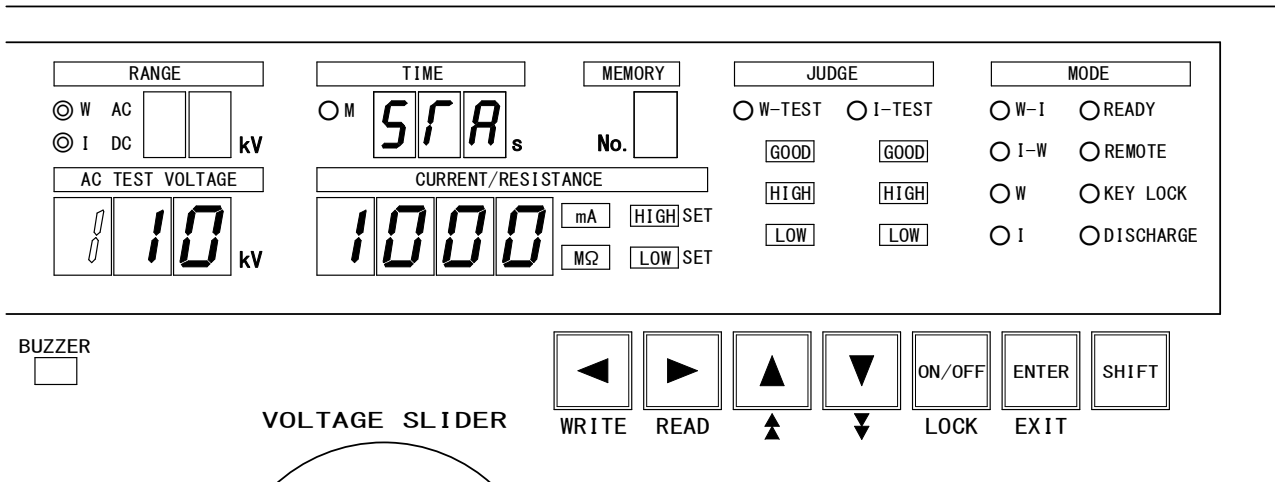
### 16.2 ●ステータス出力仕様

出力接点構成 : 1aリレー接点  
最大出力容量 : AC250V/1A (DC30V/1A) 抵抗負荷  
使用端子ねじ : M3

#### ⚠ 警告

ステータス出力にはAC250V/1A (DC30V/1A) 以上を消費する機器を接続しないでください。  
本器の破損の原因となります。

## 16.3 ●ステータス出力条件の設定



## ステータス出力条件の設定手順

- ① READY状態で **ON/OFF** キーと **▲** キーを同時に3秒以上押します。  
W AC、I DCランプ点滅、試験時間表示が「57A」点灯します。  
電圧表示器の最上位桁の表示器が点滅します。
- ② **▶** 又は **◀** キーにより設定項目が移動できます。
- ③ 選択項目は下記表を参照願います。



各項目選択時：「0」又は「/」点滅

/: 選択 0: 選択しない

**▶** キー：右に移動 ただしPOWER ON項目時に押すと  
TEST/H. V. OUT項目へ移動します。

**◀** キー：左に移動 ただしTEST/H. V. OUT項目時に押  
すとPOWER ON項目へ移動します。

ステータス出力 選択項目	設定時に点滅するランプ
TEST/H. V. OUT	<b>DANGER</b> 、W AC、I DCランプ
TEST	I-TEST、W-TESTランプ
GOOD	W-TEST、I-TESTの <b>GOOD</b>
NG	W-TEST、I-TESTの <b>HIGH</b> <b>LOW</b>
READY	READYランプ
REMOTE	REMOTEランプ
POWER ON	----

## 設定の終了

**ENTER** キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。

**EXIT** キー (**SHIFT** と **ENTER** 同時) を押すと、ステータス出力条件の設定モードを中断し、READY状態になります。

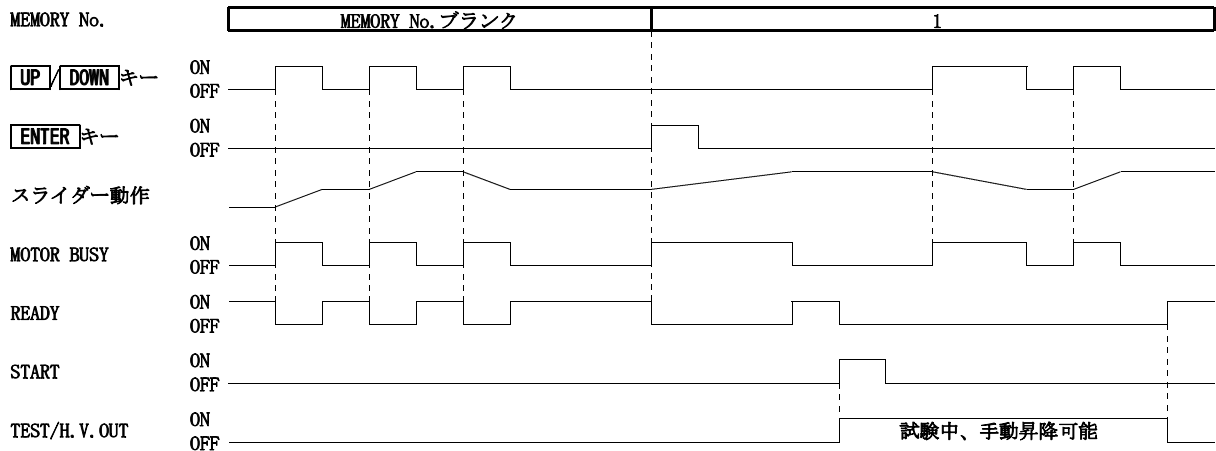
その時のステータス出力条件の設定モードは、ステータス出力条件の設定に入る前の状態になります。



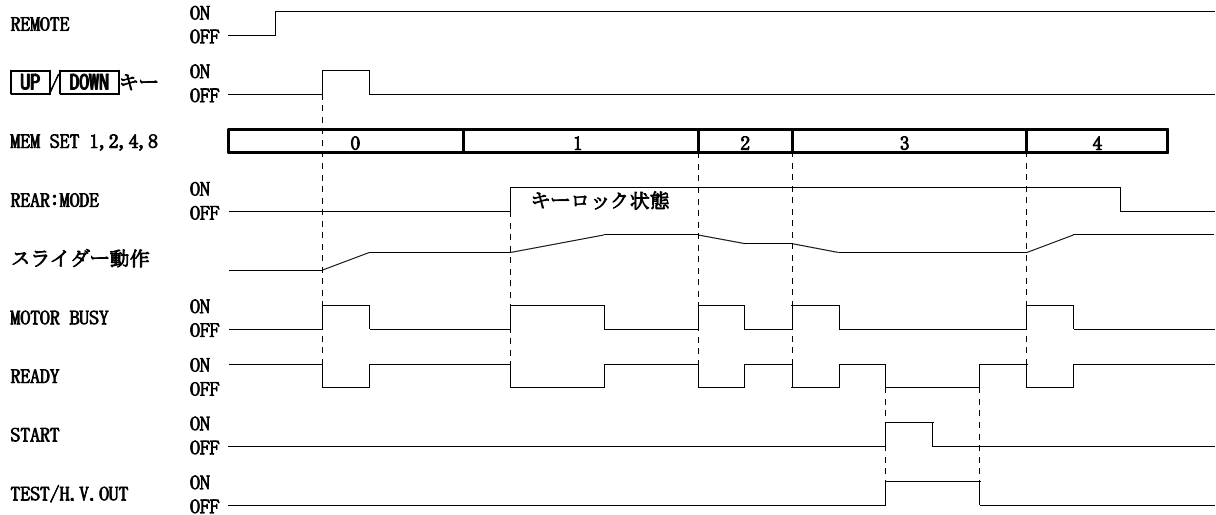
# 17. タイミングチャート

## 17.1 ●モータスライダー動作

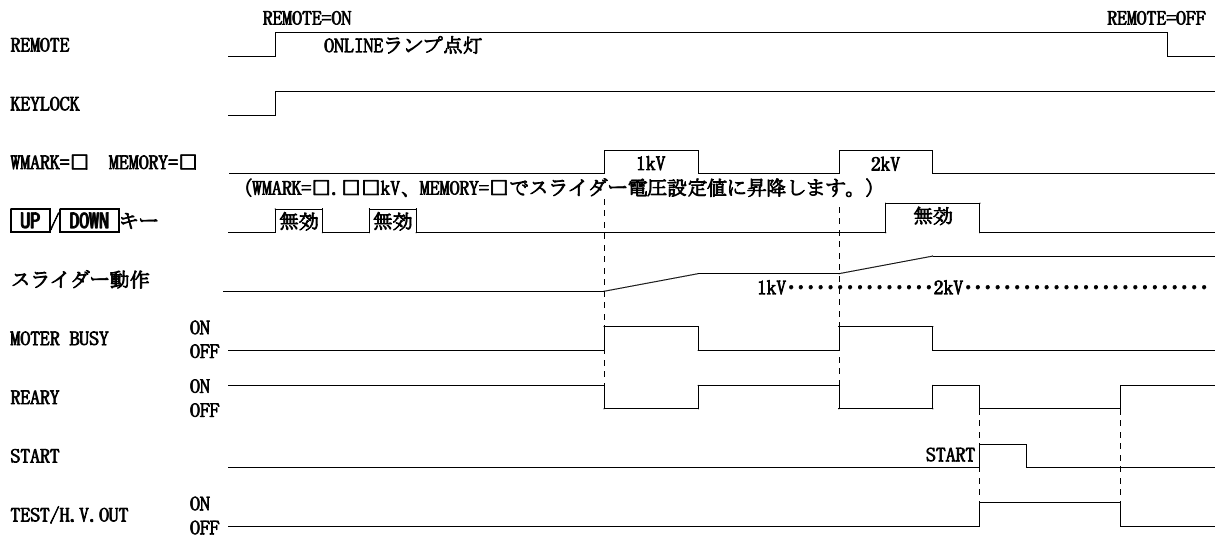
[前面パネル操作によるスライダー電圧設定]



[裏面リモートによるスライダー電圧設定]

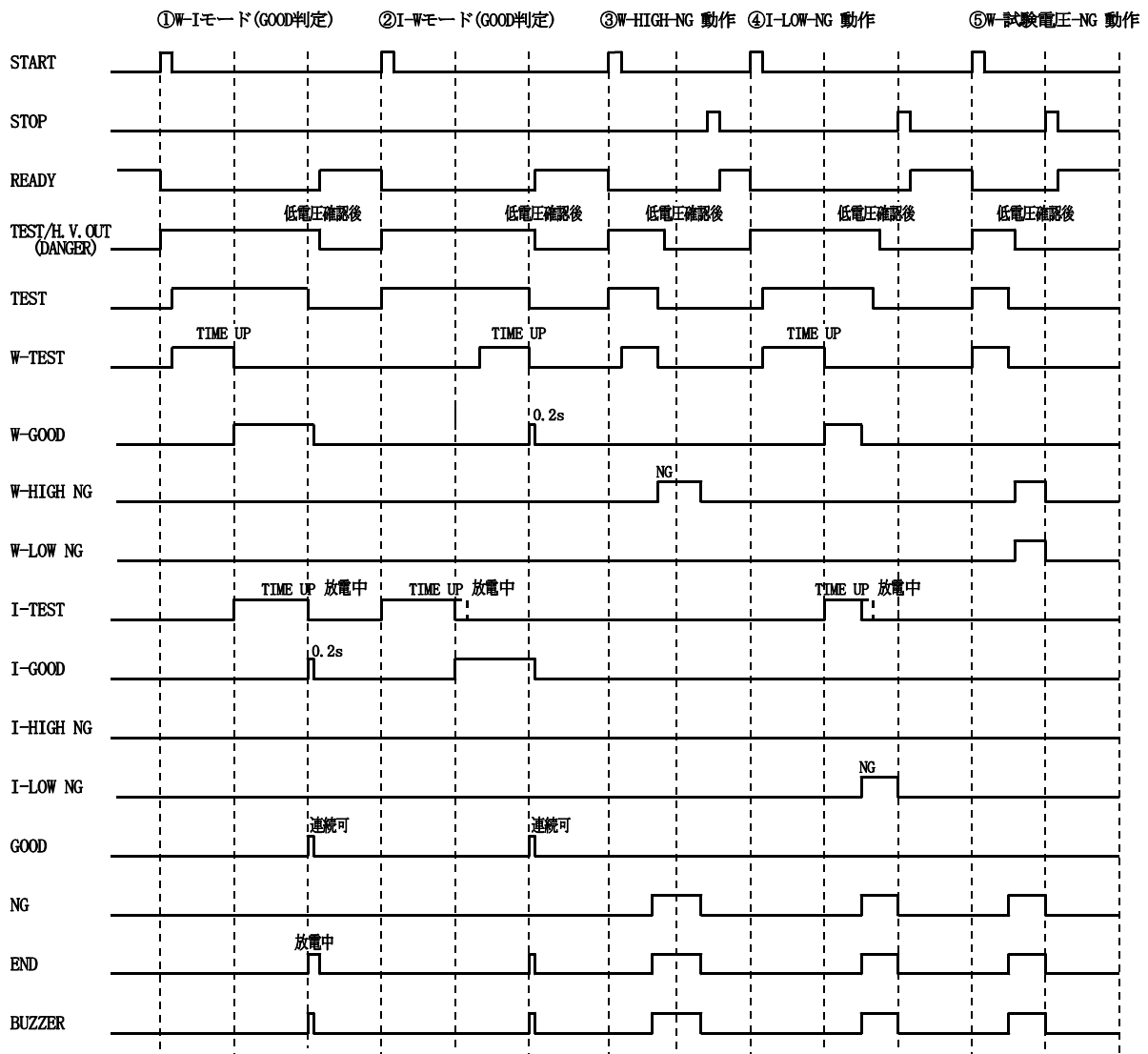


[RS-232Cによるスライダー電圧設定]



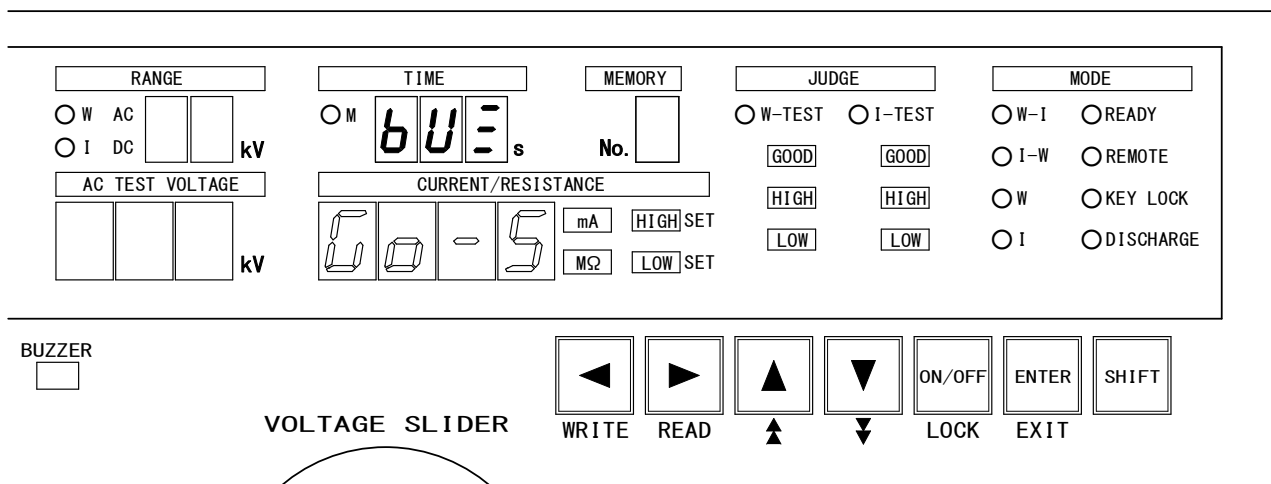
キーロックON時は、VOLTAGE SLIDERのUP/DOWNキーもロック状態となります。

17. 2 ●モータスライダー停止後、試験終了までのタイミングチャート



## 18. ブザー音の調整

合格判定時、及び不合格判定時にブザー音が鳴ります。  
前面パネルの設定で音量調整ができます。



### ブザー音の設定に入るには

READY状態で **ON/OFF** キーと **▼** キーを同時に3秒以上押します。  
試験時間表示が「**BU**」点灯します。

### 合格時のブザー音の調整

- ① 電流／抵抗表示器が「**00-□**」点滅します。  
「**00-□**」点滅時は、合格判定時のブザー音量調整ができます。
- ② 音量は **▲** 又は **▼** キーで調整します。下記表を参照願います。

### 不合格時のブザー音の調整

- ① 電流／抵抗表示器が「**00-□**」点滅します。
- ② **▶** 又は **◀** キーを押すことにより合格設定「**00-□**」点滅と不合格「**n0-□**」点滅時の切り替えとなりますので不合格時の点滅にします。
- ③ 音量は **▲** 又は **▼** キーで調整します。下記表を参照願います。

### 設定の終了

**ENTER** キーを押すと設定を記憶してREADY状態に戻ります。  
試験時間表示が「**BU**」の表示が点灯中に **EXIT** キー (**SHIFT** と **ENTER** 同時) を押すと、ブザー音の調整を中断し、READY状態になります。  
その時のブザー音は、ブザー音の調整に入る前の状態になります。

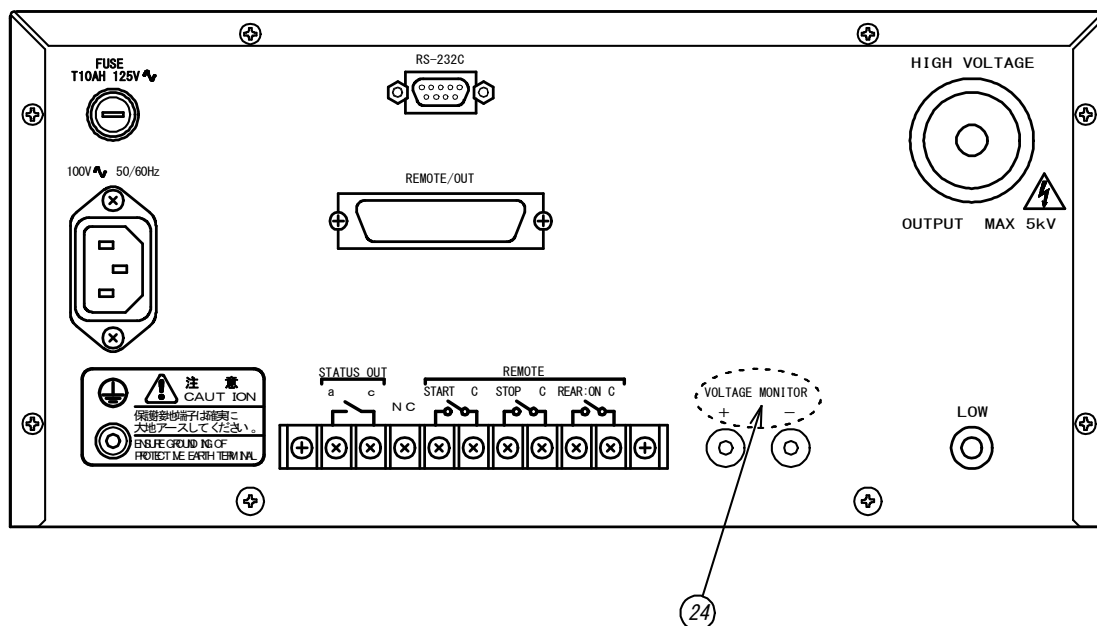
[音量について]

設定範囲		音量
合格判定用	不合格判定用	
00-5	n0-5	最大 ↑ ↓ 最小
00-4	n0-4	
00-3	n0-3	
00-2	n0-2	
00-1	n0-1	
00-0	n0-0	OFF

音量は **STOP** スイッチ②を押すことにより鳴りますので、確認できます。

## 19. 電圧モニター出力

8527には耐電圧試験の電圧モニターが用意されています。  
モニター出力は裏面パネル⑳から出力します。



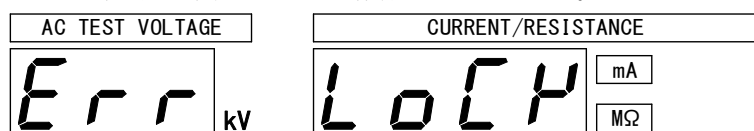
出力範囲：耐電圧試験出力 AC0～5kVに対して電圧出力DC0～5V  
許容差：±1.5% of F.S.  
外部負荷抵抗：2kΩ以上

### 警告

VOLTAGE MONITORは高電圧出力⑨⑩㉒㉓⑰とは絶縁していませんので、モニター機器との接続には十分に注意してください。

## 20. エラーメッセージ

エラー発生時、状況に応じて下記の表のように表示します。  
エラー番号を確認してから作業してください。



AC TEST VOLTAGE	CURRENT/RESISTANCE	原因	対策
Err	CHRG	10秒経過しても試験物の放電が終了しないとき	A、I
Err	SSr	10秒経過しても電圧出力が下がらないとき	A
Err	LoCH	インターロック入力OFFしたとき	B
Err	rNGE	試験中に、リモート状態を変更したとき	C
測定値	UUUU	耐電圧試験中に異常電流を検出動作した（上限漏れ電流値NGになる）	D
Err	STrT	スタート信号の保持時間が40ms以下のとき	E
Err	E-11	モーメンタリ動作で、耐電圧試験中にスタート信号がOFFしたとき	F
Err	E-21	モーメンタリ動作で、絶縁抵抗試験中にスタート信号がOFFしたとき	F
Err	ModE	試験モードが不定のとき	G
Err	E-40	REAR:MODEのとき、試験モードWとIが同時設定されています。	H

※ **REMOTE/OUT** コネクタ②よりPROTECTIONが出力します。

### 対策

- A：すぐに電源をOFFにしてください。8527本体が故障している可能性がありますので、代理店又は当社までご連絡ください。
- B：インターロック入力OFFになりました。接続又はシーケンスを見直してインターロック入力を正しく接続してください。  
**STOP** スイッチ②を押しREADY状態にします。
- C：試験中にリモート接続がON/OFFしたり、メモリーNo.を変更するとエラーになります。**STOP** スイッチ②等を押してREADY状態にします。接続又はシーケンスを見直してください。
- D：試験物が短絡していたりして異常電流が流れたりすると、上限漏れ電流値の判定は不合格となります。  
8527は安全のため負荷（試験物）が短絡しているかどうかまずチェックしますので、測定より早く検出します。  
よって、そのときの測定電圧は、応答途中の電圧値ですので、正しい電圧値ではありません。ご注意ください。  
接続又はシーケンスを見直し正常な負荷（試験物）にしてから**STOP** スイッチ②を押しREADY状態にします。
- E：**STOP** スイッチ②を押しREADY状態にします。  
ON時間が10ms未満のとき、スタートシーケンス40ms以上確保できるよう考慮願います。
- F：**STOP** スイッチ②を押しREADY状態にします。試験中はスタート信号がOFFにならないよう接続又はシーケンスを見直してください。
- G：REAR:MODE設定に入る前の試験モードがW又はIのとき、REAR:MODE設定後は、必ず試験前と同じ単独試験モードにて試験してください。回避方法は、REAR:MODEをOFFし、目的の単独試験モードにしてください。
- H：REAR:MODE動作時は、試験モード選択W-MODE又はI-MODEのいずれかになるように設定してください。設定中は設定を正常にすれば、回避できます。  
試験中に起こった場合は、**STOP** スイッチ②等でREADY状態にします。  
その後、W-MODEとI-MODEがダブってONしないよう接続又はシーケンスを見直してください。
- I：試験物の容量が大きい場合、放電できず高電圧が残っている場合があります。電源をOFFし、試験物を適当な方法で十分に放電させてください。

## 2 1. 保守・故障について

### 2 1. 1 ●お手入れについて

前面パネルやケースが汚れたときは柔らかい布でふいてください。  
汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布を、よく絞ってからふきとり、乾いた布で仕上げてください。シンナー、ベンジン等の有機溶剤でふくと、表面が変形、変色することがありますので、ご使用にならないでください。

### 2 1. 2 ●故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら修理に出される前に、次の点をお調べください。

症 状	点 検 事 項
電源スイッチをONしても表示器が点灯しない。	・電源プラグがコンセントから外れていませんか？ ・ヒューズが切れていませんか？ 21.3項（P57）を参照してヒューズを交換します。
<i>Err Lock</i> を表示する。	・インターロックが作動しています。 15.3項（P48）を参照の上、インターロックを解除してください。
キーが操作できない。	・KEY LOCKランプ点灯していませんか？ 12項（P41）を参照の上キーロックを解除してください。
<b>START</b> スイッチを押しても試験を開始しない。	・READYランプが点灯していますか？ ・REMOTEランプが点灯していませんか？ リモートコントロール中は <b>START</b> スイッチは無効になります。 リモートコントロールについては、14.6（P46）を参照してください。

### 2 1. 3 ●ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは必ず下表の定格のヒューズを使用してください。  
ヒューズは付属品に添付しています。

区分	電源電圧	ヒューズ定格
標準品	AC100V	125V 10A
オプション	AC115V	
	AC200V	250V 5A
	AC220V	
	AC240V	

推奨：ヒューズは、富士端子工業製耐ラッシュ形TWMを使用してください。

上記定格以外のヒューズは使用しないでください

## 2 1 . 4 ●長期間、故障なくお使い頂くには

8527は、電動式のスライドレギュレーターを使用しており、モータ部と変圧器部の組み合わせで構成されています。

機械的に消耗する部品が含まれており、そのまま使用しますと焼損事故につながる恐れがあります。頻度が激しい場合は、モータスライダの交換等が必要になります。

組み込み式ですので、交換や配線、据え付けは弊社にて行います。代理店又は弊社営業までご連絡ください。

### 交換の時期

[摺動子部] 耐電圧の設定を0kV～最大～0kVで1往復とします。

8000回（往復）を目安に使用してください。

### VOLTAGE SLIDERの速度が遅くなったかな?と思ったら

READY状態で、基準電圧設定OFFにしVOLTAGE SLIDERのUP/DOWNを0～最大又は、最大～0まで変化させて、経過時間を測定してみてください。

下記参考データから、20%以上遅くなっていたら、交換時期の判断目安としてください。

モータ単体では10%以上遅くなれば、交換時期ですが、実際の時間計測で2秒の計測誤差もありますので現実的に20%ぐらいを判断基準としています。

参考	0～最大	連続可変（0～100%可変）
	約30秒	50Hz
	約25秒	60Hz

[モータ部]通算使用時間の目安（VOLTAGE SLIDERの総稼働時間）2000時間

### 警 告

VOLTAGE SLIDERを連続変化させて試験するときは、30分以内です。この場合、休止時間は、試験時間と同等以上とします。

### 連続試験時間の制限

表21

周囲温度 t (°C)	上限設定値 I (mA)	休止時間	最大試験時間
t ≤ 40°C	50 < I ≤ 110	試験時間と同等以上	30分以下
	I ≤ 50	不要	24時間

## 2 2 . 仕様

### 2 2 . 1 耐電圧試験部

#### 2 2 . 1 . 1 試験電圧

- (1) 印 加 電 圧 AC0~5kV
- (2) 出 力 容 量 500VA(5kV, 100mA)電源AC100V時  
ただし、出力電流50mA以上は、連続30分以下
- (3) 波 形 商用電源波形
- (4) 電 圧 変 動 率 15%以下 (公称電源電圧時、無負荷→最大負荷にて)
- (5) 電 圧 印 加 方 法 ゼロクロス投入スイッチ
- (6) 印 加 電 圧 設 定 モータスライダによる設定
- (7) スライダ設定精度 ±30V ただし電圧変動による誤差は含まない

#### 2 2 . 1 . 2 電圧測定

- (1) 整 流 方 式 平均値整流実効値表示
- (2) ア ナ ロ グ 目 盛 : AC0~5kV  
確 度 : ±5% of F.S.
- (3) デ ィ ジ タ ル 測定範囲 : AC0.00~6.00kV 3桁緑色LED 文字高さ10mm  
確 度 : ±1.5% of F.S. (F.S. 5kV)  
電圧表示 : 試験中は高電圧端子の印加電圧表示  
試験終了時は判定時の電圧値を保持

#### 2 2 . 1 . 3 電流測定

- (1) 整 流 方 式 平均値整流実効値表示
- (2) 測 定 範 囲 0.01~199.9mA (2レンジ 上限設定値と連動切替)
- (3) 表 示 デジタル 3 1/2桁表示 緑色LED 文字高さ10mm
- (4) 分 解 能 0.01mA(0.1~9.9mA) 注. ( )内は上限設定値  
0.1mA (10.0~110.0mA)
- (5) 測 定 確 度 上限設定値の±(5%+20 $\mu$ A)
- (6) 電 流 表 示 試験中は漏れ電流値を表示  
試験終了時は判定時の漏れ電流値を保持  
(耐電圧NG又は、I-W、W試験モード時)

#### 2 2 . 1 . 4 試験結果判定

- (1) 判 定 方 式 上限 アナログコンパレータ (短絡検出用、設定値内部固定)  
上限、下限 デジタルコンパレータ
- (2) 設 定 範 囲 上限 0.1~110.0mA (下限設定 +1digit 以上)  
分解能0.1mA  
下限 0.0~109.0mA (上限設定 -1digit 以下)  
分解能0.1mA  
注) 下限設定はON/OFF可能(判定機能は:OFF、[LOW SET]LEDは消灯)
- (3) 判 定 条 件 上限設定値 > 漏れ電流 > 下限設定値・GOOD(W-GOOD LED点灯、出力:ON)  
上限設定値 ≤ 漏れ電流・・・・・ NG (W-HIGH LED点灯、出力:ON)  
下限設定値 ≥ 漏れ電流・・・・・ NG (W-LOW LED点灯、出力:ON)  
注) GOOD判定は出力時間を連続/0.2s切替可能

交流耐電圧試験器では、高圧ケーブルや治具などの分布容量による漏れ電流が判定誤差の要因になります。

判定基準値は、この漏れ電流を加味した値としてください。

付属高圧ケーブル (5880-25-020)の高圧側テストリードとLOW側テストリードの間隔をあけて配線した場合の参考値です。

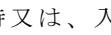
出力電圧	1kV	2kV	3kV	4kV	5kV
漏れ電流	10 $\mu$ A	20 $\mu$ A	30 $\mu$ A	37 $\mu$ A	47 $\mu$ A

#### 2 2 . 1 . 5 試験時間

- (1) 設 定 範 囲 0.5~999sタイマーオフ機能付き
- (2) 設 定 分 解 能 0.1s(0.5~99.9s)/1s(100~999s)
- (3) 時 間 表 示 0.0~999 3桁緑色LED 文字高さ8mm  
試験中 タイマーON時 : 残時間表示  
タイマーOFF時 : 経過時間表示
- (4) 確 度 ±20ms(0.5~99.9s)/±200ms(100~999s)



## 2.2.2 絶縁抵抗試験部

- (1) 適用規格 JIS C1302-2002に準拠  
 (2) 定格測定電圧 DC500/1000V  
 (3) 無負荷電圧 定格電圧の125%以内  
 (4) 定格測定電流 1mA  
 (5) 短絡電流 12mA以下  
 (6) 表示 0.00～2000 (3レンジ 自動切替) 4桁緑色LED 文字高さ10mm  
 自動ゼロサプレス  
 入力オーバー時又は、入力オープン時 (  ) でフラッシング表示  
 試験中は絶縁抵抗を表示  
 試験終了時は判定時の抵抗値を保持 (絶縁NG又は、W-I, I試験モード時)  
 漏れ電流表示と共用

### (7) 測定範囲・確度

定格測定電圧	表示範囲	分解能	確度
DC500V	0.00～20.00MΩ	10kΩ	±(2%rdg.+3digit)
DC1000V	18.0～200.0MΩ	100kΩ	±(2%rdg.+3digit)
	180～2000MΩ	1MΩ	±(5%rdg.+3digit)

確度：23℃±5℃、45～75%RHの状態規定

- (8) 誤入力保護 AC600V (50/60Hz正弦波) 10秒間

### 2.2.2.1 試験結果判定

- (1) 判定方式 上下限 デジタルコンパレータ  
 (2) 設定範囲 上限 0.2M～2000MΩ (下限設定 +1digit 以上)  
 分解能0.1MΩ (0.2～9.9MΩ)/1MΩ (10～2000MΩ)  
 下限 0.1M～1999MΩ (上限設定 -1digit 以下)  
 分解能0.1MΩ (0.1～9.9MΩ)/1MΩ (10～1999MΩ)  
 注) 上限設定はON/OFF可能  
 (3) 判定条件 上限設定値>表示値>下限設定値・・・GOOD(I-GOOD LED点灯、出力:ON)  
 上限設定値≤表示値・・・・・・・・・・NG (I-HIGH LED点灯、出力:ON)  
 下限設定値≥表示値・・・・・・・・・・NG (I-LOW LED点灯、出力:ON)  
 注) GOOD判定は出力時間を連続/0.2s切替可能

### 2.2.2.2 試験時間

- (1) 設定範囲 0.5～999sタイマーオフ機能付き (マスクタイム +0.2s 以上)  
 (2) 設定分解能 0.1s(0.5～99.9s)/1s(100～999s)  
 (3) 時間表示 試験中 タイマーON時 : 残時間表示  
 タイマーOFF時 : 経過時間表示  
 (4) マスクタイム 0.3～50.0 s (試験時間 -0.2s 以下)  
 マスクタイマー動作時Mランプ点灯します。  
 コンパレータの動作を一定時間禁止するタイマー  
 コンデンサ負荷など遅延のある被試験品の測定で待ち時間が必要なときに使用  
 (5) 確度 ±20ms (0.5～99.9s)/±200ms(100～999s)

### 2.2.2.3 放電機能

- 絶縁抵抗試験で、被試験品に充電された電荷を放電  
 (機能のON/OFF可)  
 機能ON時、DISCHARGEランプ点灯  
 放電動作時、I-TESTランプ点滅

## 2.2.3 試験電圧出力端子

- 前面、裏面に設置、端子は試験中高電圧出力しています。

## 22.4 入出力信号

(1) 判定方式	上下限 デジタルコンパレータ
(2) コネクタ	裏面36P アンフェノールコネクタ
(3) 出力信号	オープンコレクタ DC30V、30mA MAX.
(4) 出力信号名	TEST : 試験期間中 END : 終了 TEST/H. V. OUT : 高電圧出力中 READY : 待機中 W-TEST : 耐電圧試験中 I-TEST : 絶縁抵抗試験中 GOOD : 合格判定時 (0.2s/連続 切替可能) NG : 不合格判定時 (連続) W HIGH : 耐電圧上限不合格判定時 (連続) W LOW : 耐電圧下限不合格判定時 (連続) W GOOD : 耐電圧合格判定時 I HIGH : 絶縁上限不合格判定時 (連続) I LOW : 絶縁下限不合格判定時 (連続) I GOOD : 絶縁合格判定時 PROTECTION : 保護機能動作時
(5) 出力信号用電源	DC24V、0.1A
(6) 入力信号	オープンコレクタ入力、または無電圧接点入力 入力ON時残留電圧：3.5V以下 (ON時電流10mA以下)
(7) 入力信号名	START : スタート信号 STOP : ストップ信号 REAR:ON : リモートコントロール信号 INTER LOCK : インターロック信号 W-MODE : 耐電圧試験モード I-MODE : 絶縁抵抗試験モード REAR:MODE : リモートコントロール切替信号 MEM SET1 : メモリー読み出しBCDコード1信号 MEM SET2 : メモリー読み出しBCDコード2信号 MEM SET4 : メモリー読み出しBCDコード4信号 MEM SET8 : メモリー読み出しBCDコード8信号

## 22.5 ステータス出力

前面パネルより設定した出力条件時にリレー接点で出力します

接点構成：1a接点

接点容量：AC250V/1A (DC30V/1A) 抵抗負荷

設定条件： 1. TEST/H. V. OUT      5. READY  
(複数選択可能) 2. TEST                      6. REMOTE  
3. GOOD                              7. POWER ON  
4. NG

## 22.6 電圧モニター出力

耐電圧試験の出力電圧のモニター用出力

出力端子：裏面パネルに赤、黒ジョンソン端子各1個

出力電圧：DC0～5V (AC0～5kVに対して)

許容差：±1.5% of F.S.

## 22.7 RS-232Cインタフェース

試験条件の設定及び試験結果のデータ取り込みをパソコン等で行うことができます。

コネクタ：D-sub 9P

伝送方式：調歩同期式

伝送速度：9600bps

データ長：8bit

パリティ：なし

## 22.8 リモートコントロール

前面パネルのREMOTEコネクタ(DIN5P)、裏面パネルのREMOTE端子台、又はREMOTE/OUTコネクタより下記のリモートコントロール可能です。

- (1) S T A R T 試験スタート
- (2) S T O P 試験の中断及び判定の復帰  
前面パネルのREMOTEコネクタよりリモートコントロールする場合は、別売のリモートコントロールボックス(5858-07)を接続することにより可能になります。  
また、裏面パネルのREMOTE端子台又はREMOTE/OUTコネクタより無電圧接点又は論理素子でリモートコントロールすることも可能です。  
リモートコントロールする場合は、REAR:ONを短絡します。  
リモートコントロール時、REMOTEを表示、本体前面パネルのスタートスイッチは操作できません。
- (3) W - M O D E 耐電圧試験モード (REMOTE/OUTコネクタピンNo. 21)
- (4) I - M O D E 絶縁抵抗試験モード (REMOTE/OUTコネクタピンNo. 22)  
裏面パネルのコネクタよりリモートコントロールする場合は、REAR:MODEをCOMと短絡します。  
前面パネルで設定した試験モードは無効になり、裏面で選択したモードが有効になります。
- (5) メモリー読出  
メモリーに記憶された条件で試験をします。  
REMOTE/OUTコネクタの(MEM SET)で選択したメモリー番号の条件で試験を行うことができます。  
この機能を使用しているときは、設定の変更はできません。(設定モードに入れません)

## 22.9 その他の機能

- (1) インターロック  
裏面コネクタのピンNo. 5 (INTER LOCK)オープン時ロック状態  
ロック時、表示器に *Err LOCK* を表示
- (2) メモリー機能  
12種類の設定内容(試験モード、耐電圧試験のスライダ電圧設定、基準電圧設定、上下限漏れ電流値、試験時間、絶縁試験の電圧レンジ、上下限抵抗値、試験時間、マスクタイマー時間、放電機能の有無)を記憶します。  
メモリーの書き込み、読み出し時メモリー番号表示1~9
- (3) 基準電圧  
スライダで設定する電圧が、設定値の±5%以内で試験開始  
注) 設定電圧が1000V以下の場合には±50V以内  
試験中に設定値を外れた場合、試験を中止し[W-HIGH], [W-LOW](NG) LED点灯(機能のON/OFF可 OFFにすると設定時及び[READY]時に電圧表示器は *OFF* 表示)
- (4) キーロック  
ロック時はスタート、ストップスイッチ以外の操作が無効  
(ロック時KEY LOCKランプ点灯)
- (5) ブザー設定  
GOOD、NG個別に音量調整可能(消音可)：前面キーで設定
- (6) DANGER表示  
試験電圧が出力されているときに点灯します。  
なお、試験終了後、出力端子に電圧が残留している場合には点灯しつづけます。  
低電圧検出レベル：AC100V  
DC30V
- (7) 特殊テストモード
- ①ダブルアクションスタート機能  
ストップ信号入力後、0.5秒以内にスタート信号の入力で試験開始
  - ②GOODホールド機能
    - a)「GOOD」判定はストップ信号を入力するまで連続して出力する。  
この場合、ストップ信号を入力するまで再スタートはできません。
    - b)上記a)の状態スタート信号を入力すると判定を解除して再スタート可能。
  - ③モーメンタリスタート機能  
スタート信号を入力しているときだけ試験を行う。
  - ④FAILモード機能  
「NG」判定及び「PROTECTION」動作のリセットをリモートコントロールのストップ信号からはできず、本体のストップスイッチのみ有効とする。

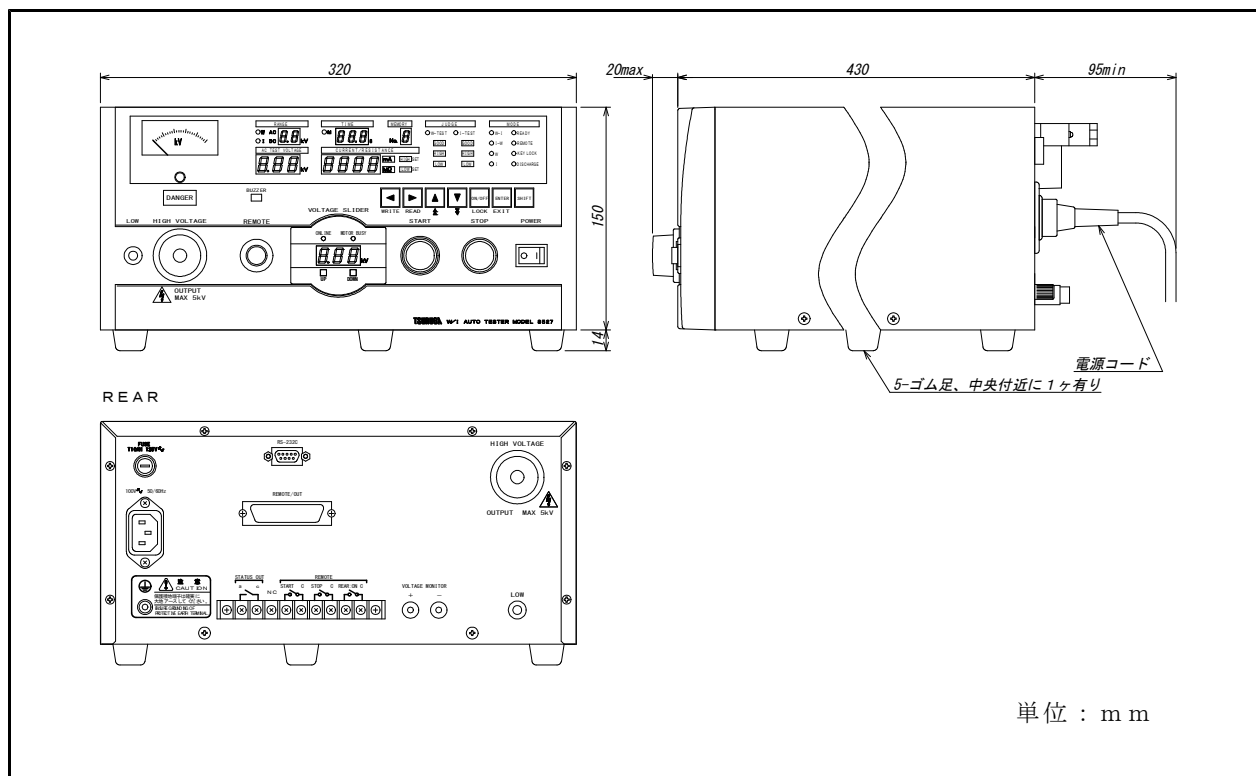
## 2.2.10 一般仕様

(1) 供給電源	AC100V 50/60Hz
(2) 電源電圧許容範囲	AC90～110V
(3) 消費電力	耐電圧試験定格負荷時：約650VA 無負荷 (READY) 時：約17VA
(4) 動作周囲温度	0～40℃
(5) 動作湿度範囲	20～80%RH (結露なきこと)
(6) 保存温湿度	-20～70℃ 90%RH以下 (結露なきこと)
(7) 耐電圧	電源-外箱間 AC1000V 1分間
(8) 外形寸法	320(W)×150(H)×430(D)
(9) 質量	約19kg (オプションの標準外電源電圧の場合は、約5.5kg増加)
(10) 別売アクセサリ	リモートコントロールボックス：5858-07 両手リモコンボックス：5858-07W フットスイッチ：5858-04 通信ケーブル：5881-11-018 (RS-232Cケーブル、9ピン-9ピン/1.8m) ラック取付金具：5871-03-015 リレーユニット：5858-08

## 2.2.11 オプション仕様 (工場オプションにつき発注時指定)

(1) 標準外電源電圧	AC115V / 追番：-P115
	AC200V / 追番：-P200
	AC220V / 追番：-P220
	AC240V / 追番：-P240 の電源電圧製作可能

## 2.2.12 外形図





#### 保証について

##### 1) 保証期間

製品のご購入後又はご指定の場所に納入後1年間に致します。

##### 2) 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責任と明らかに認められる原因により当社製品に故障を生じた場合は、代替品の無償提供又は当社工場において無償修理を行います。

ただし、次項に該当する場合は保証の範囲外と致します。

- ①カタログ、取扱説明書、クイックマニュアル、仕様書などに記載されている環境条件の範囲外での使用による場合
- ②故障の原因が当社製品以外による場合
- ③当社以外による改造・修理による場合
- ④製品本来の使い方以外の使用による場合
- ⑤天災・災害など当社側の責任でない原因による場合

なお、ここでいう保証は、当社製品単体の保証を意味し、当社製品の故障により誘発された損害についてはご容赦いただきます。

##### 3) 製品の適用範囲

当社製品は一般工業向けの汎用品として設計・製造されておりますので、原子力発電、航空、鉄道、医療機器などの人命や財産に多大な影響が予想される用途に使用される場合は、冗長設計による必要な安全性の確保や当社製品に万一故障があっても危険を回避する安全対策を講じてください。

##### 4) サービスの範囲

製品価格には、技術派遣などのサービス費用は含まれておりません。

##### 5) 仕様の変更

製品の仕様・外観は改善又はその他の事由により必要に応じて、お断りなく変更する事があります。

以上の内容は、日本国内においてのみ有効です。

●この取扱説明書の仕様は、2022年9月現在のものです。

# TSURUGA

## 鶴賀電機株式会社

大阪営業所 〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東1丁目10番6号太陽生命大阪南ビル5F TEL 06(4703)3874(代) FAX 06(4703)3875  
名古屋営業所 〒460-0015 名古屋市中区大井町5番19号ツルガビル東別院ビル2F TEL 052(332)5456(代) FAX 052(331)6477  
横浜営業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1丁目29番15号 TEL 045(473)1561(代) FAX 045(473)1557

当製品の技術的なご質問、ご相談は下記まで問い合わせください。

技術サポートセンター 0120-784646

受付時間:土日祝日除く 9:00~12:00/13:00~16:00

ホームページ URL <http://www.tsuruga.co.jp/>

8527用 RS-232Cインタフェース

---

インタフェース取扱説明書

鶴賀電機株式会社

1. 仕様	1
2. 接続	2
2.1 ●コネクタと信号	2
2.2 ●ホストとの接続(参考)	2
3. 通信方法の説明	3
3.1 ●コマンドの通信方法	3
3.2 ●読み出しコマンドの基本フォーマット	5
3.3 ●設定・操作コマンドの基本フォーマット	5
4. コマンドの説明	6
4.1 ●コマンド一覧表	6
4.2 ●個別コマンド説明	7
4.2.1 REMOTE= (リモートコントロールの設定)	7
4.2.2 REMOTE? (リモートコントロール設定の読み出し)	7
4.2.3 KEYLOCK= (キーロックの設定)	8
4.2.4 KEYLOCK? (キーロック状態の読み出し)	8
4.2.5 FORMAT= (応答形式の設定)	9
4.2.6 FORMAT? (応答形式の読み出し)	9
4.2.7 RESPONSE= (応答の設定)	10
4.2.8 RESPONSE? (応答設定の読み出し)	10
4.2.9 MODE= (試験モードの設定)	11
4.2.10 MODE? (試験モードの読み出し)	11
4.2.11 START (試験の開始)	12
4.2.12 RESET (試験の中止、判定リセット)	12
4.2.13 STATUS? (状態の読み出し)	13
4.2.14 IDNT? (機器情報の読み出し)	14
4.2.15 WMARK= (耐電圧試験のスライダー電圧設定)	14
4.2.16 WMARK? (耐電圧試験のスライダー電圧読み出し)	14
4.2.17 WLEVEL= (耐電圧試験の基準電圧設定)	15
4.2.18 WLEVEL? (耐電圧試験の基準電圧読み出し)	15
4.2.19 WHIGH= (耐電圧試験の上限漏れ電流設定)	16
4.2.20 WHIGH? (耐電圧試験の上限漏れ電流設定値読み出し)	16
4.2.21 WLOW= (耐電圧試験の下限漏れ電流設定)	17
4.2.22 WLOW? (耐電圧試験の下限漏れ電流値読み出し)	17
4.2.23 WTIMER= (耐電圧試験の試験時間設定)	18
4.2.24 WTIMER? (耐電圧試験の試験時間読み出し)	18
4.2.25 IVOLT= (絶縁抵抗試験の試験電圧レンジ設定)	19
4.2.26 IVOLT? (絶縁抵抗試験の試験電圧レンジ読み出し)	19
4.2.27 IHIGH= (絶縁抵抗試験の上限抵抗値設定)	20
4.2.28 IHIGH? (絶縁抵抗試験の上限抵抗値読み出し)	20
4.2.29 ILOW= (絶縁抵抗試験の下限抵抗値設定)	21
4.2.30 ILOW? (絶縁抵抗試験の下限抵抗値読み出し)	21
4.2.31 IMASK= (絶縁抵抗試験のマスク時間設定)	22
4.2.32 IMASK? (絶縁抵抗試験のマスク時間読み出し)	22
4.2.33 ITIMER= (絶縁抵抗試験の試験時間設定)	23
4.2.34 ITIMER? (絶縁抵抗試験の試験時間読み出し)	23
4.2.35 DISCHARGE= (絶縁抵抗試験の放電機能設定)	24
4.2.36 DISCHARGE? (絶縁抵抗試験の放電機能読み出し)	24
4.2.37 JUDGE? (判定結果の読み出し)	25
4.2.38 DATA? (試験結果の一括読み出し)	26
4.2.39 SET: (試験条件のパラメータ設定)	27
4.2.40 SET:? (試験条件の設定パラメーター一括読み出し)	27
4.2.41 MEMORY= (メモリー番号の設定)	28
4.2.42 MEMORY? (メモリー番号の読み出し)	28
4.2.43 MEM[No]: (試験条件をメモリーに設定)	29
4.2.44 MEM[No]:? (メモリー設定の試験条件読み出し)	29
4.2.45 BUZZ= (ブザー音の設定)	30
4.2.46 BUZZ? (ブザー音量設定値の読み出し)	30
5. スライダー電圧設定できるコマンド	31
6. エラーについて	32
7. 注意事項	32
8. サンプルプログラム	33



# 使用する前に

REMOTE/OUTコネクタの仕様制限

⚠ 注 意	
RS-232Cインターフェースで試験するときは、以下のリモートコントロールの制御は使用しないでください。	
・裏面パネル <b>REMOTE/OUT</b> コネクタ②のREAR:MODEはONしないでください。	

## 1. 仕様

8527は、通信機能としてRS-232Cインタフェースを標準装備していますのでパーソナルコンピュータによるリモートコントロール及び各種データ出力を行うことができます。

**【注意】** ホスト側機器にはパーソナルコンピュータやシーケンサなど様々ありますが本文中では、「ホスト」と表現致します。あらかじめご理解願います。

○RS-232Cインタフェースを使ってできる内容

表1.1

機 能	できる内容
設定・操作	●試験動作モード ●各試験条件 ●メモリーNo. ●ブザー音量
出力	●試験動作モード ●各試験条件 ●各試験結果 ●ステータス ●メモリーNo. ●ブザー音量

**【注意】** 供給電源のON/OFF、特殊テストモード及びステータス出力条件の設定はできません。

○仕様

表1.2 仕様

伝送方式	調歩同期 全二重
伝送速度	9600bps
データビット長	8ビット
ストップビット	1ビット
パリティビット	なし
デリミタ	CR+LF
Xon/Xoff	なし
受信バッファ長	256バイト
コネクタ	D-sub9ピン (オス)

○リモートコントロールの優先順位

項目	リモートコントロールの設定	優先順位
A	<b>RS-232C</b> コネクタ (裏面パネル)	1
B	<b>REMOTE</b> コネクタ (前面パネル)	2
C	<b>REMOTE/OUT</b> コネクタ (裏面パネル)	3
D	<b>REMOTE</b> 端子台 (裏面パネル)	3

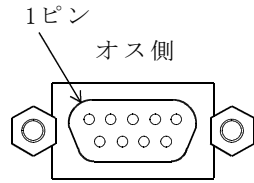
○RS-232C使用后、電源を再投入したときの注意点

RS-232Cで設定したメモリーNo.表示、キーロック、リモートなど、メモリー設定以外の内容は電源OFFするとRS-232C設定以前の状態に戻ります。

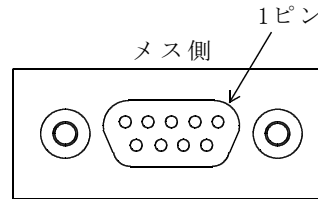
## 2. 接続

### 2. 1 ●コネクタと信号

8527コネクタDサブ9ピン



コネクタ：Dサブ9ピンプラグタイプ



推奨コネクタ：XM3D-0921（オムロン）  
 推奨ロックねじ：XM2S-0913（オムロン） インチねじ  
**注意）外部接続用コネクタ及びケーブル**  
 形名5881-11-018、9ピン-9ピン/1.8m（別売）  
 も用意しています。

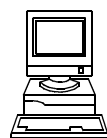
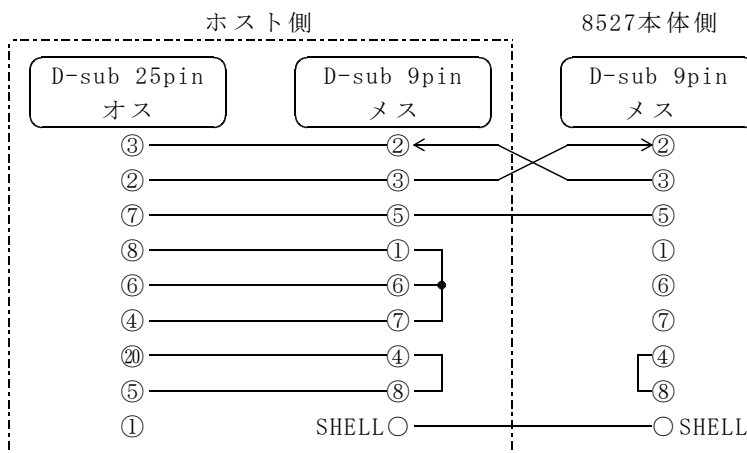
ピン No.	8527 JIS (RS-232C)	方向	名称
①	NC		未使用
②	RD (RXD)	←ホスト	受信データ
③	SD (TXD)	→ホスト	送信データ
④	ER (DTR)	←ホスト	データ端末レディ
⑤	SG (GND)		信号用接地
⑥	NC		未使用 ※1
⑦	RS (RTS)	←ホスト	送信要求
⑧	CS (CTS)	→ホスト	送信可能
⑨	NC		未使用 ※2

※1. ホスト側はDR (DSR) データセットレディ

※2. ホスト側はRI

### 2. 2 ●ホストとの接続(参考)

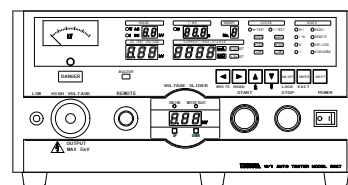
ハードウェアハンドシェイク無し



ホスト

Dsub9ピン  
又は25ピン

Dsub9ピン

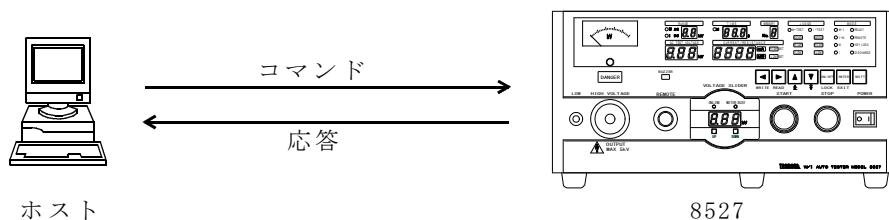


8527

8527とホストをケーブルで接続します。

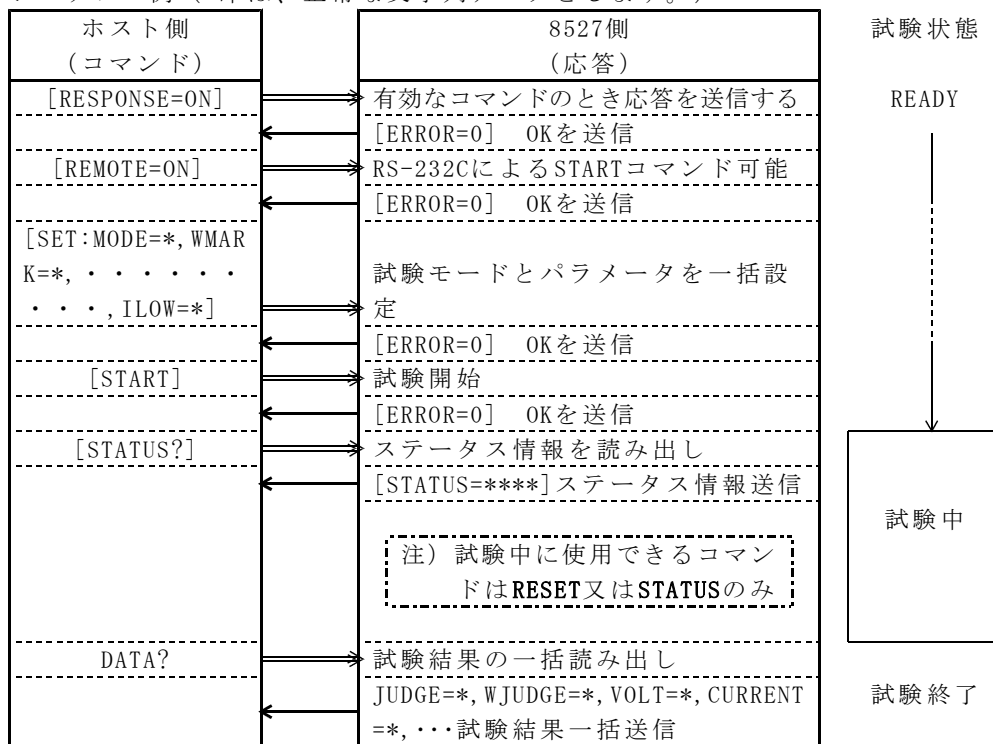
### 3. 通信方法の説明

#### 3. 1 ● コマンドの通信方法

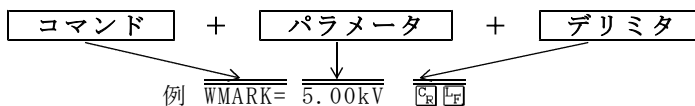


ホストからコマンドを送信します。  
 8527は有効なコマンドを受信するとそれに対する処理を行います。  
 コマンド処理完了後、応答をホストへ送信します。  
 ホストは、応答を確認してから次のコマンドを送信します。

シーケンス例 (\*印は、正常な文字列データとします。)



#### A コマンドの構成



1. コマンド 8527をコントロールするコマンドです。  
コマンドは大文字でも小文字でもかまいません。
2. デリミタ 送信データの区切りを意味します。
3. コマンド、パラメータ、デリミタはJIS8ビットコードを使用します。
4. コマンドとパラメータとの間は「=」で区切ります。
5. パラメータがない場合はコマンドに続いてデリミタを送信してください。  
[例] RESET [CR][LF]
6. パラメータに単位が含まれていなくても8527は応答します。

#### コマンド送信時の注意

設定コマンド (○○○○=) は8527がREADY状態のときに、送信してください。  
 試験中にホストから設定コマンドを送信した場合、8527はエラーをホストへ送信します。

**B** 応答の構成



ホストから8527にコマンドを送信すると、8527はコマンドの解析及び処理を行い、応答をホストに送信します。



コマンド送信が不適合のとき、8527はホストにエラーコードを送信します。



また、コマンド送信の正常な場合、8527から正常応答を送信するか否かを設定する**応答設定**（設定方法は4.2.7項(P10)RESPONSE参照）があります。



## [応答設定をONにすると]

○有効な設定及び操作コマンドに対しては、**ERROR=0**を必ずホストへ送信します。

例3.1 有効コマンド：**START**   の場合



応 答：**ERROR=0**  

例3.2 有効コマンド：**WTIMER=60.0s**   の場合

応 答：**ERROR=0**  

耐電圧試験の試験時間を60.0sに設定しました。



○無効な設定及び操作コマンドに対しては、**ERROR=コード**を必ずホストへ送信します。

例3.3 無効コマンド：**RST**   試験中断コマンドのスペル間違いのとき



応 答：**ERROR=**エラーNo  

## [応答設定をOFFすると]

○有効な設定及び操作コマンドに対して**ERROR=0**は送信しません。

例3.4 有効コマンド：**START**   の場合

応 答：応答なし

例3.5 有効コマンド：**WTIMER=60.0s**   の場合

応 答：応答なし





○無効な設定及び操作コマンドに対して、応答設定のON/OFFに関わらず**ERROR=コード**を必ずホストへ送信します。

例3.3と同じです。

### 3. 2 ● 読み出しコマンドの基本フォーマット

ホスト側からコマンド文字に「?」を付加送信することで、8527は読み出しコマンドとして処理します。読み出しコマンド<sup>\*</sup>に対して8527からは、コマンド文字に「=パラメータ」を付加し、ホストへ送信します。





ホスト側からのコマンド：コマンド文字?  
 8527からホストへの応答：コマンド文字=パラメータ  
 エラーのときは、エラーコードをホストに送信します。  
 6項 (P32)エラーについてを参照してください。





例3.6 コマンド ILOW?  絶縁抵抗試験の下限設定抵抗値を読み出します。  
 応 答 ILOW=10.0MOHM 

### 3. 3 ● 設定・操作コマンドの基本フォーマット

- ホスト側から設定コマンド文字に「=」を付加することで、8527は設定コマンドとして処理します。
- 操作コマンドの **START** 及び **RESET**は「=」不要です。

ホスト側から設定コマンド：コマンド文字=  
 ホスト側から操作コマンド：コマンド文字

例3.7 設定コマンドのとき  
 有効コマンド：MODE=WI  . . . . . 試験モードをW-Iに設定  
 応 答：ERROR=0  . . . . . 応答設定ONのとき  
 応 答：応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき  
 エラーのときは、エラーコードをホストに送信します。

例3.8 操作コマンドのとき  
 有効コマンド：START  の場合 試験スタート  
 応 答：ERROR=0  . . . . . 応答設定ONのとき  
 応 答：応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき  
 エラーのときは、エラーコードをホストに送信します。

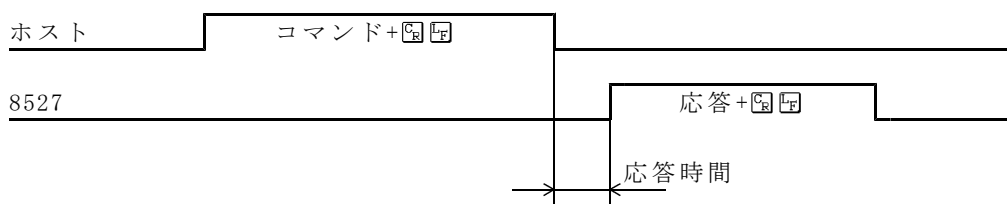
## 4. コマンドの説明

### 4. 1 ● コマンド一覧表

機能	設定/読み出し	応答時間 (注1) 約 (ms)	説明 頁
リモートコントロールON/OFF選択	REMOTE=/REMOTE?	23/19	7
キーロック	KEYLOCK=/KEYLOCK?	27/23	8
ホストへの送信に、コマンド名と単位を付加するON/OFF選択	FORMAT=/FORMAT?	27/23	9
応答のON/OFF選択	RESPONSE=/RESPONSE?	32/24	10
試験モード	MODE=/MODE?	17/15	11
試験の開始	START	10~15	12
試験の中止、判定リセット	RESET	10~15	12
状態の読み出し	STATUS?	5~13	13
機器情報の読み出し	IDNT?	12	14
耐電圧試験のスライダ電圧	注2 WMARK=/WMARK?	400/20	14
基準電圧	WLEVEL=/WLEVEL?	28/16	15
上限漏れ電流	WHIGH=/WHIGH?	25/16	16
下限漏れ電流	WLOW=/WLOW?	32/15	17
試験時間	WTIMER=/WTIMER?	29/26	18
絶縁抵抗試験の試験電圧レンジ	IVOLT=/IVOLT?	19/16	19
上限抵抗値	IHIGH=/IHIGH?	32/14	20
下限抵抗値	ILOW=/ILOW?	29/12	21
マスク時間	IMASK=/IMASK?	30/18	22
試験時間	ITIMER=/ITIMER?	25/18	23
放電機能	DISCHARGE=/DISCHARGE?	32/27	24
判定結果の読み出し	JUDGE?	20	25
試験結果とデータの一括読み出し	DATA?	16	26
試験条件のパラメータ	注2 SET:/SET:?	400/30	27
メモリーNo. の切替	注2 MEMORY=/MEMORY?	400/14	28
メモリー番号を含んだ試験条件のパラメータ	□:1~9 MEM□:/MEM□:?	420/20	29
ブザー音量	BUZZ=/BUZZ?	23/15	30

注1：表の応答時間は参考値ですので、使用状態により変化します。

8527の性能を保証するものではありません。



注2：設定コマンドは、スライダを自動昇降します。

例：WMARK=1.50kV [F] [E]

：MEMORY=1 (メモリー内容に有効なWMARK=□. □□kVがあるとき)

## 4. 2 ● 個別コマンド説明



### 4.2.1 REMOTE= (リモートコントロールの設定)



**機能** リモートコントロールを設定することによりONLINEランプとREMOTEランプが点灯しキーロック状態 (KEYLOCKランプ点灯) になります。

**構文** REMOTE=**ON/OFF**

**ON/OFF** : “ON” でホストによるリモートコントロール状態になります。無条件にキーロック設定も「ON」となります。STARTコマンドが有効になります。  
“OFF” でリモートコントロール状態を解除します。キーロック設定は、そのときの状態を保持します。

**送信**

REMOTE=ON   . . . . . リモートコントロール設定をONにします。

REMOTE=OFF   . . . . . リモートコントロール設定をOFFにします。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0   . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

### 警告

RS-232CのKEYLOCK=OFFコマンドでキーロック機能が解除できます。  
KEYLOCK=OFFによるRS-232C遠隔操作は、使用しないでください。

### 4.2.2 REMOTE? (リモートコントロール設定の読み出し)



**機能** リモートコントロール設定内容ON又はOFFかを読み出します。



**構文** REMOTE?

**送信**

REMOTE?  

**応答**

REMOTE=ON   . . . . . リモートコントロール設定ONのとき

REMOTE=OFF   . . . . . リモートコントロール設定OFFのとき

#### 4.2.3 KEYLOCK= (キーロックの設定)

**機能** 前面パネルと **REMOTE/OUT** コネクタ④のSTART、STOP以外の操作をロック (KEYLOCKランプ点灯) 及び解除します。

**構文** KEYLOCK=**ON/OFF**

**ON/OFF** : “ON” でキーロック状態になります。  
“OFF” でキーロック設定を解除します。

**送信**

KEYLOCK=ON **Ⓢ** **Ⓜ** . . . . . キーロック設定をONにします。

KEYLOCK=OFF **Ⓢ** **Ⓜ** . . . . . キーロック設定をOFFにします。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 **Ⓢ** **Ⓜ** . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

注) KEYLOCK=ON設定すると、キー操作によるキーロック解除はできません。OFFするにはKEYLOCK=OFFコマンド又は電源をOFFにしてください。

#### 4.2.4 KEYLOCK? (キーロック状態の読み出し)

**機能** キーロック設定のON/OFFを読み出します。

**構文** KEYLOCK?

**送信**

KEYLOCK? **Ⓢ** **Ⓜ**

**応答**

KEYLOCK=ON **Ⓢ** **Ⓜ** . . . . . キーロック設定ONのとき

KEYLOCK=OFF **Ⓢ** **Ⓜ** . . . . . キーロック設定OFFのとき

注) 本体のキーで設定したキーロック状態は読み出しできません。  
KEYLOCK=OFF **Ⓢ** **Ⓜ** でKEYLOCKランプが点灯している時は、本体のキーで解除してください。



#### 4.2.5 FORMAT= (応答形式の設定)

**機能** ホストに送信する応答に、コマンド名と単位を付加することができます。

**構文** FORMAT= **ON/OFF**

**ON/OFF** : “ON” でホストに送信するデータにコマンド名と単位を付加します。  
 “OFF” でホストに送信するデータにコマンド名と単位を付加しません。

**送信**

FORMAT=ON **CR LF** . . . . . 応答にコマンド名と単位を付加します。

FORMAT=OFF **CR LF** . . . . . 応答にコマンド名と単位を付加しません。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 **CR LF** . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.6 FORMAT? (応答形式の読み出し)

**機能** 応答形式設定がON又はOFFかを読み出します。

**構文** FORMAT?

**送信**

FORMAT? **CR LF**

**応答**

FORMAT=ON **CR LF** . . . . . ホストへの応答形式ONのとき

FORMAT=OFF **CR LF** . . . . . ホストへの応答形式OFFのとき

**⚠ 注 意**

本取扱説明書は、便宜上すべてFORMAT=ONにて説明しています。

#### 4.2.7 RESPONSE= (応答の設定)

**機能** 有効なコマンドを8527へ送信したとき、8527が正常受信したことをホストへ知らせます。その通信機能をON/OFF設定します。

**構文** RESPONSE=**ON/OFF**

**ON/OFF** : “ON” で応答を必ず送信します。  
 8527が有効なコマンドを受信すると、ホストへERROR=0を送信します。  
 無効なコマンドのとき、ERROR=**No** を送信します。  
 “OFF” で8527が有効なコマンドを受信すると、ホストへは応答を送信しません。  
 無効なコマンドのとき、応答の設定ON/OFFに関わらずERROR=**No**を送信します。

注) ERROR=**No** は6項エラーについてを参照してください。

**送信**

RESPONSE=ON **Ⓢ** **Ⓛ** . . . . . 応答設定をONにします。

RESPONSE=OFF **Ⓢ** **Ⓛ** . . . . . 応答設定をOFFにします。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 **Ⓢ** **Ⓛ** . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.8 RESPONSE? (応答設定の読み出し)

**機能** 応答設定がON又はOFFかを読み出します。

**構文** RESPONSE?

**送信**

RESPONSE? **Ⓢ** **Ⓛ**

**応答**

RESPONSE=ON **Ⓢ** **Ⓛ** . . . . . 応答設定ONのとき

RESPONSE=OFF **Ⓢ** **Ⓛ** . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.9 MODE= (試験モードの設定)

**機能** 試験モードの設定をします。

**構文** MODE= **パラメータ**

**パラメータ**

WI : 耐電圧試験→絶縁抵抗試験の自動連続試験モード

IW : 絶縁抵抗試験→耐電圧試験の自動連続試験モード

W : 耐電圧試験の単独試験モード

I : 絶縁抵抗試験の単独試験モード

**送信**

MODE=WI **CR** **LF**

試験モードをWI（耐電圧試験→絶縁抵抗試験）の自動連続試験モードに設定

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 **CR** **LF** . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.10 MODE? (試験モードの読み出し)

**機能** 設定している試験モード内容を読み出します。

**構文** MODE?

**送信**


MODE? **CR** **LF**

**応答**

MODE=I **CR** **LF** . . . . . 試験モード設定I絶縁抵抗試験のとき

#### 4.2.11 START (試験の開始)

**機能** 試験を開始します。


注) 8527本体側の特殊テストモードGOODホールド機能  のとき、STARTコマンドによる再スタートも可能です。

**構文** START

**送信**

START  

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0   . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.12 RESET (試験の中止、判定リセット)


**機能** 試験を中止します。  
判定が出されている状態でコマンド送信しますと判定リセットします。

**構文** RESET

**送信**

RESET  

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0   . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.13 STATUS? (状態の読み出し)

**機能** 8527の状態を読み出します。  
 注) ステータス出力条件 (本体取扱説明書P50参照) による8527の裏面  
**STATUS OUT**端子のリレー出力とは、関係ありません。

**構文** STATUS?

**送信**

STATUS?  
 (送信)

**応答**

STATUS=□□□□ (受信)

□ : 4桁の数字 (16進表記)

[例]

STATUS=0015 (受信) . . . . . 試験中  
 W-TEST, TEST/HVOUT, TESTが出力しています。

STATUS=2442 (受信) . . . . . 試験終了時  
 I-GOOD, W-GOOD, GOOD, ENDが出力しています。

・パラメータの種類

出力名	出力状態	データの重み(16進)
TEST	試験中	0001
END	試験終了	0002
TEST/H. V. OUT	高電圧出力中	0004
READY	待機中	0008
W-TEST	耐電圧試験中	0010
I-TEST	絶縁抵抗試験中	0020
GOOD	総合判定合格	0040
NG	総合判定不合格	0080
W-HIGH	耐電圧試験上限漏れ電流判定不合格	0100
W-LOW	耐電圧試験下限漏れ電流判定不合格	0200
W-GOOD	耐電圧試験合格	0400
I-HIGH	絶縁抵抗試験上限抵抗判定不合格	0800
I-LOW	絶縁抵抗試験下限抵抗判定不合格	1000
I-GOOD	絶縁抵抗試験合格	2000
PROTECTION	保護回路動作中 注1	4000
MOTOR BUSY	モータスライダ稼働中	8000

注1) 保護回路動作中とは、インターロック中やエラー表示状態です。

#### 4.2.14 IDNT? (機器情報の読み出し)

**機能** モデル名、ソフトウェアバージョンを読み出します。

**構文** IDNT?

**送信**

IDNT?

**応答**

IDNT=TSURUGA 8527 ROM-N0.461 Ver. 1.00.03 460-1.01

① ②

①モデル名

②ソフトウェアバージョン

(品質向上のため、バージョンは更新している場合があります。)

#### 4.2.15 WMARK= (耐電圧試験のスライダ電圧設定)

**機能** 耐電圧試験のスライダ電圧設定をします。

**構文** WMARK=

OFF, 0.00~5.99kVを設定します。

OFF: RS-232Cによる自動昇降はできません。

**送信**

WMARK=5.00kV  . . . . . 耐電圧試験のスライダ電圧を5.00kVに設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0  . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.16 WMARK? (耐電圧試験のスライダ電圧設定値読み出し)

**機能** 耐電圧試験のスライダ電圧設定値を読み出します。

**構文** WMARK?

**送信**

WMARK?

**応答**

WMARK=2.50kV  . . . . . 耐電圧試験のスライダ電圧設定値を示します。

#### 4.2.17 WLEVEL= (耐電圧試験の基準電圧設定)

**機能** 耐電圧試験の基準電圧レンジの設定をします。

**構文** WLEVEL= **基準電圧**

**基準電圧** OFF又は0.00～5.00kVを設定します。

**送信**

WLEVEL=1.50kV

耐電圧試験の基準電圧を1.50kVに設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0   . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.18 WLEVEL? (耐電圧試験の基準電圧読み出し)

**機能** 耐電圧試験の基準電圧を読み出します。

**構文** WLEVEL?

**送信**

WLEVEL?

**応答**

WLEVEL=1.50kV   . . . . . 耐電圧試験の基準電圧1.50kVを示します。

#### 4.2.19 WHIGH= (耐電圧試験の上限漏れ電流の設定)

**機能** 耐電圧試験の上限漏れ電流の設定をします。

**構文** WHIGH=**上限漏れ電流**

**上限漏れ電流** 0.1～110.0mAを設定します。

注) 上限漏れ電流の設定は下限漏れ電流値以下にはできません。

**送信**

WHIGH=10.0mA   . . . . . 耐電圧試験の上限漏れ電流設定を10.0mAに設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0   . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.20 WHIGH? (耐電圧試験の上限漏れ電流設定値の読み出し)

**機能** 耐電圧試験の上限漏れ電流設定値を読み出します。

**構文** WHIGH?

**送信**

WHIGH?

**応答**

WHIGH=10.0mA   . . . . . 耐電圧試験の上限漏れ電流10.0mAを示します。



## 4.2.21 WLOW= (耐電圧試験の下限漏れ電流の設定)

**機能** 耐電圧試験の下限漏れ電流の設定をします。

**構文** WLOW=**下限漏れ電流**

**下限漏れ電流** OFF又は0.0～109.0mAを設定します。

注) 下限漏れ電流の設定は上限漏れ電流値以上にはできません。

**送信**

WLOW=2.0mA **CR LF** . . . . . 耐電圧試験の下限漏れ電流設定を2.0mAに設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 **CR LF** . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

## 4.2.22 WLOW? (耐電圧試験の下限漏れ電流値の読み出し)

**機能** 耐電圧試験の下限漏れ電流値を読み出します。

**構文** WLOW?

**送信**

WLOW? **CR LF**

**応答**

WLOW=2.0mA **CR LF** . . . . . 耐電圧試験の下限漏れ電流2.0mAを示します。

#### 4.2.23 WTIMER= (耐電圧試験の試験時間設定)

**機能** 耐電圧試験の試験時間設定をします。

**構文** WTIMER=**試験時間**

**試験時間** OFF又は0.5～999秒を設定します。

**送信**

WTIMER=60.0s<sup>Ⓒ</sup><sub>Ⓕ</sub> . . . . . 耐電圧試験の試験時間を60.0秒に設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0<sup>Ⓒ</sup><sub>Ⓕ</sub> . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.24 WTIMER? (耐電圧試験の試験時間読み出し)

**機能** 耐電圧試験の試験時間を読み出します。

**構文** WTIMER?

**送信**

WTIMER?<sup>Ⓒ</sup><sub>Ⓕ</sub>

**応答**

WTIMER=10.0s<sup>Ⓒ</sup><sub>Ⓕ</sub> . . . . . 耐電圧試験の試験時間10.0秒を示します。

#### 4.2.25 IVOLT= (絶縁抵抗試験の試験電圧レンジ設定)

**機能** 絶縁抵抗試験の試験電圧レンジ設定をします。

**構文** IVOLT=**試験電圧レンジ**

**試験電圧レンジ** 0.5kV又は1.0kVを設定します。

**送信**

IVOLT=1.0kV $\left[ \begin{array}{c} \text{C} \\ \text{R} \end{array} \right] \left[ \begin{array}{c} \text{F} \\ \text{F} \end{array} \right] \dots \dots \dots$  絶縁抵抗試験の試験電圧レンジを1.0kVに設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 $\left[ \begin{array}{c} \text{C} \\ \text{R} \end{array} \right] \left[ \begin{array}{c} \text{F} \\ \text{F} \end{array} \right] \dots \dots \dots$  応答設定ONのとき

応答なし $\dots \dots \dots$  応答設定OFFのとき

#### 4.2.26 IVOLT? (絶縁抵抗試験の試験電圧レンジ読み出し)

**機能** 絶縁抵抗試験の試験電圧レンジを読み出します。

**構文** IVOLT?

**送信**

IVOLT? $\left[ \begin{array}{c} \text{C} \\ \text{R} \end{array} \right] \left[ \begin{array}{c} \text{F} \\ \text{F} \end{array} \right]$

**応答**

IVOLT=0.5kV $\left[ \begin{array}{c} \text{C} \\ \text{R} \end{array} \right] \left[ \begin{array}{c} \text{F} \\ \text{F} \end{array} \right] \dots \dots \dots$  絶縁抵抗試験の試験電圧レンジ0.5kVを示します。

#### 4.2.27 IHIGH= (絶縁抵抗試験の上限抵抗値の設定)

**機能** 絶縁抵抗試験の上限抵抗値設定をします。

**構文** IHIGH=**上限抵抗値**

**上限抵抗値** OFF又は0.2MOHM～2000MOHMを設定します。

注) 上限抵抗値は下限抵抗値以下には設定できません。

**送信**

IHIGH=100.0MOHM<sup>C</sup><sub>F</sub> . . . . . 絶縁抵抗試験の上限抵抗値を100.0MΩに設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0<sup>C</sup><sub>F</sub> . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.28 IHIGH? (絶縁抵抗試験の上限抵抗値の読み出し)

**機能** 絶縁抵抗試験の上限抵抗値を読み出します。

**構文** IHIGH?

**送信**

IHIGH?<sup>C</sup><sub>F</sub>

**応答**

IHIGH=100.0MOHM<sup>C</sup><sub>F</sub> . . . . . 絶縁抵抗試験の上限抵抗値100.0MΩを示します。

## 4.2.29 ILOW= (絶縁抵抗試験の下限抵抗値の設定)

**機能** 絶縁抵抗試験の下限抵抗値の設定をします。

**構文** ILOW=**下限抵抗値**

**下限抵抗値** 0.1MOHM～1999MOHMを設定します。OFFにはできません。

注) 下限抵抗値は上限抵抗値以上には設定できません。

**送信**

ILOW=0.2MOHM **[S]** **[F]**

絶縁抵抗試験の下限抵抗値を0.2MΩに設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 **[S]** **[F]** . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

## 4.2.30 ILOW? (絶縁抵抗試験の下限抵抗値の読み出し)

**機能** 絶縁抵抗試験の下限抵抗値を読み出します。

**構文** ILOW?

**送信**

ILOW? **[S]** **[F]**

**応答**

ILOW=2.0MOHM **[S]** **[F]** . . . . . 絶縁抵抗試験の下限抵抗値2.0MΩを示します。

#### 4.2.31 IMASK= (絶縁抵抗試験のマスク時間設定)

**機能** 絶縁抵抗試験のマスク時間 (マスクタイマー) を設定します。

**構文** IMASK=**マスク時間**

**マスク時間** 0.3~50.0秒を設定します。OFFにはできません。

注) マスク時間は試験時間 (ITIMER) より0.2s以下で設定してください。

**送信**

IMASK=5.0s   . . . . . 絶縁抵抗試験のマスク時間を5.0秒に設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0   . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.32 IMASK? (絶縁抵抗試験のマスク時間読み出し)

**機能** 絶縁抵抗試験のマスク時間を読み出します。

**構文** IMASK?

**送信**

IMASK?

**応答**

IMASK=0.5s   . . . . . 絶縁抵抗試験のマスク時間0.5秒を示します。

#### 4.2.33 ITIMER= (絶縁抵抗試験の試験時間設定)

**機能** 絶縁抵抗試験の試験時間設定をします。

**構文** ITIMER=**試験時間**

**試験時間** OFF又は0.5～999秒を設定します。

注) 試験時間はマスク時間(IMASK)より0.2s以上で設定してください。

**送信**

ITIMER=60.0s<sup>[C]</sup><sub>[F]</sub>

絶縁抵抗試験の試験時間を60.0秒に設定

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0<sup>[C]</sup><sub>[F]</sub> . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.34 ITIMER? (絶縁抵抗試験の試験時間読み出し)

**機能** 絶縁抵抗試験の試験時間を読み出します。

**構文** ITIMER?

**送信**

ITIMER?<sup>[C]</sup><sub>[F]</sub>

**応答**

ITIMER=10.0s<sup>[C]</sup><sub>[F]</sub> . . . . . 絶縁抵抗試験の試験時間10.0秒を示します。

#### 4.2.35 DISCHARGE= (絶縁抵抗試験の放電機能設定)

**機能** 絶縁抵抗試験の放電機能設定をします。

**構文** DISCHARGE= **ON/OFF**

**ON/OFF** : “ON” で放電機能をONにします。  
“OFF” で放電機能をOFFにします。

**送信**

DISCHARGE=ON **CR LF** . . . . . 絶縁抵抗試験の放電機能をONに設定します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 **CR LF** . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.36 DISCHARGE? (絶縁抵抗試験の放電機能読み出し)

**機能** 絶縁抵抗試験の放電機能 (ON/OFF) を読み出します。

**構文** DISCHARGE?

**送信**

DISCHARGE? **CR LF**

**応答**

DISCHARGE=ON **CR LF** . . . . . 絶縁抵抗試験の放電機能設定ONを読み出したとき



### 4.2.37 JUDGE? (判定結果の読み出し)

**機能** 各試験の判定結果を読み出します。  
**[試験終了後に使用するコマンドです。(READY状態)]**  
 RESETコマンド及び **STOP** スイッチを押しても、判定結果は次のスタートまで保持します。

**構文** JUDGE?

**送信**

JUDGE?



**応答**

判定の種類	パラメータ	内容
総合判定 JUDGE= <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> :パラメータ	GOOD	合格
	NG	不合格
	NULL	RESETコマンド ( <b>STOP</b> スイッチ) で試験中断したとき
	PROTECT	試験中に保護機能動作状態 (PROTECTION) になったとき
試験モード WJUDGE= <input type="checkbox"/> IJUDGE= <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> :パラメータ	GOOD	合格
	HIGH	上限判定不合格しました。
	LOW	下限判定不合格しました。
	NULL	RESETコマンド ( <b>STOP</b> スイッチ) で試験中断したとき
	HIGH LOW	試験中に保護機能動作状態 (PROTECTION) になったとき

応答例

試験モード	判定結果及び試験中動作	応答
WI又はIW	耐電圧・絶縁抵抗試験合格	JUDGE=GOOD, WJUDGE=GOOD, IJUDGE=GOOD <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
WI	耐電圧試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=HIGH, IJUDGE=NULL <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	耐電圧試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=LOW, IJUDGE=NULL <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	絶縁抵抗試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=GOOD, IJUDGE=HIGH <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	絶縁抵抗試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=GOOD, IJUDGE=LOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	耐電圧試験時保護機能動作のとき	JUDGE=PROTECT, WJUDGE=HIGH LOW, IJUDGE=NULL <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	絶縁抵抗試験時保護機能動作のとき	JUDGE=PROTECT, WJUDGE=GOOD, IJUDGE=HIGH LOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
IW	耐電圧試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=HIGH, IJUDGE=GOOD <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	耐電圧試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=LOW, IJUDGE=GOOD <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	絶縁抵抗試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=NULL, IJUDGE=HIGH <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	絶縁抵抗試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=NULL, IJUDGE=LOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	耐電圧試験時保護機能動作のとき	JUDGE=PROTECT, WJUDGE=HIGH LOW, IJUDGE=GOOD <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	絶縁抵抗試験時保護機能動作のとき	JUDGE=PROTECT, WJUDGE=NULL, IJUDGE=HIGH LOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
WI又はIW	RESET(ストップ)時	JUDGE=NULL, WJUDGE=NULL, IJUDGE=NULL <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
W	判定結果GOODの時	JUDGE=GOOD, WJUDGE=GOOD <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	判定結果HIGHの時	JUDGE=NG, WJUDGE=HIGH <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	判定結果LOWの時	JUDGE=NG, WJUDGE=LOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	ストップ時	JUDGE=NULL, WJUDGE=NULL <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	保護機能動作のとき	JUDGE=PROTECT, WJUDGE=HIGH LOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
I	判定結果GOODの時	JUDGE=GOOD, IJUDGE=GOOD <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	判定結果HIGHの時	JUDGE=NG, IJUDGE=HIGH <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	判定結果LOWの時	JUDGE=NG, IJUDGE=LOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	ストップ時	JUDGE=NULL, IJUDGE=NULL <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	保護機能動作のとき	JUDGE=PROTECT, IJUDGE=HIGH LOW <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

4.2.38 DATA? (試験結果の一括読み出し)

機能	試験結果の詳細なデータを読み出します。 [試験終了後に使用するコマンドです。(READY状態)] RESETコマンド及び[STOP]スイッチを押しても、判定結果とデータは次のスタートまで保持します。
構文	DATA?
送信	
	DATA?  
応答	

[自動試験終了後の応答例]

試験モード	判定結果及び試験中動作	応答
WI又はIW	耐電圧・絶縁抵抗試験合格	JUDGE=GOOD, WJUDGE=GOOD, VOLT=1.51kV, CURRENT=1.23mA, IJUDGE=GOOD, RESISTANCE=123MOHM  
WI	耐電圧試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=HIGH, VOLT=1.51kV, CURRENT=32.1mA, IJUDGE=NULL, RESISTANCE=0.00MOHM  
	耐電圧試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=LOW, VOLT=1.51kV, CURRENT=0.15mA, IJUDGE=NULL, RESISTANCE=0.00MOHM  
	絶縁抵抗試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=GOOD, VOLT=1.51kV, CURRENT=1.23mA, IJUDGE=HIGH, RESISTANCE=1234MOHM  
	絶縁抵抗試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=GOOD, VOLT=1.51kV, CURRENT=1.23mA, IJUDGE=LOW, RESISTANCE=10.20MOHM  
IW	耐電圧試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=HIGH, VOLT=1.51kV, CURRENT=32.1mA, IJUDGE=GOOD, RESISTANCE=12.34MOHM  
	耐電圧試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=LOW, VOLT=1.51kV, CURRENT=0.6mA, IJUDGE=GOOD, RESISTANCE=1234MOHM  
	絶縁抵抗試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=NULL, VOLT=0.00kV, CURRENT=0.00mA, IJUDGE=HIGH, RESISTANCE=1234MOHM  
	絶縁抵抗試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=NULL, VOLT=0.00kV, CURRENT=0.00mA, IJUDGE=LOW, RESISTANCE=9.99MOHM  
WI又はIW	RESET(ストップ)時 注1	JUDGE=NULL, WJUDGE=NULL, VOLT=0.00kV, CURRENT=0.00mA, IJUDGE=NULL, RESISTANCE=0.00MOHM  
	保護機能動作のとき 注2 WIモードのWで発生したとき	JUDGE=PROTECT, WJUDGE=HIGH LOW, VOLT=1.50kV, CURRENT=1.23mA, IJUDGE=NULL, RESISTANCE=0.00MOHM  
W	耐電圧試験合格	JUDGE=GOOD, WJUDGE=GOOD, VOLT=1.51kV, CURRENT=1.23mA  
	耐電圧試験HIGH不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=HIGH, VOLT=1.51kV, CURRENT=32.1mA  
	耐電圧試験HIGH不合格 漏れ電流199.9mA超えたとき	JUDGE=NG, WJUDGE=HIGH, VOLT=0.00kV, CURRENT=OVER  
	耐電圧試験LOW不合格	JUDGE=NG, WJUDGE=LOW, VOLT=1.51kV, CURRENT=0.15mA  
	RESET(ストップ)時 注1	JUDGE=NULL, WJUDGE=NULL, VOLT=0.00kV, CURRENT=0.0mA  
	保護機能動作のとき 注2	JUDGE=PROTECT, WJUDGE=HIGH LOW, VOLT=1.50kV, CURRENT=1.23mA  
I	絶縁抵抗試験合格	JUDGE=GOOD, IJUDGE=GOOD, RESISTANCE=1234MOHM  
	絶縁抵抗試験合格 2000Ω超えたとき	JUDGE=GOOD, IJUDGE=GOOD, RESISTANCE=OVER  
	絶縁抵抗試験HIGH不合格	JUDGE=NG, IJUDGE=HIGH, RESISTANCE=1234MOHM  
	絶縁抵抗試験LOW不合格	JUDGE=NG, IJUDGE=LOW, RESISTANCE=1.2MOHM  
	RESET(ストップ)時 注1	JUDGE=NULL, IJUDGE=NULL, RESISTANCE=0.00MOHM  
	保護機能動作のとき 注2	JUDGE=PROTECT, IJUDGE=HIGH LOW, RESISTANCE=1234MOHM  

注1) データは、0になります。

注2) データは、保護機能動作時のデータを応答します。試験できなかった項目のデータは、0になります。

#### 4.2.39 SET: (試験条件のパラメータ設定)

**機能** 試験モードとパラメータを一括設定します。

**構文** SET: 試験のパラメータ

試験のパラメータ

MODE= 試験モード W-I, I-W, W, I

WMARK= 耐電圧試験を含む試験モードのときに設定します。

WLEVEL= W-I, I-W, W

WHIGH= 詳細、は4.2.15項(P14)、4.2.17項(P15)、4.2.19項(P16)、

WLOW= 4.2.21項(P17)、4.2.23項(P18)を参照してください。

WTIMER=

IVOLT= 絶縁抵抗試験を含む試験モードのときに設定します。

IHIGH= W-I, I-W, I

ILOW= 詳細は、4.2.25項(P19)、4.2.27項(P20)、4.2.29項(P21)、

IMASK= 4.2.31項(P22)、4.2.33項(P23)、4.2.35項(P24)を参照し

ITIMER= てください。

DISCHARGE=

注) 試験モードW、Iのとき、試験を行わない項目は省略してください。

**送信**

試験モードW-Iのとき

SET:MODE=WI, WMARK=2.50kV, WLEVEL=1.50kV, WHIGH=20.0mA, WLOW=OFF, WTIMER=60.0s, IVOLT=0.5kV, IHIGH=OFF, ILOW=10MOHM, IMASK=1.0s, ITIMER=60.0s, DISCHARGE=ON ↵ ↵

試験モードIのとき

SET:MODE=I, IVOLT=0.5kV, IHIGH=OFF, ILOW=10MOHM, IMASK=1.0s, ITIMER=60.0s, DISCHARGE=ON ↵ ↵

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0 ↵ ↵ . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.40 SET:? (試験条件の設定パラメータ一括読み出し)

**機能** 試験モードと各パラメータを一括して読み出します。

**構文** SET:?

**送信**

SET:? ↵ ↵

**応答**

試験モードI-Wのとき (W-Iのとき、MODE=WIになります。)

○FORMAT=ONのとき

SET:MODE=IW, WMARK=2.50kV, WLEVEL=1.50kV, WHIGH=20.0mA, WLOW=OFF, WTIMER=60.0s, IVOLT=0.5kV, IHIGH=OFF, ILOW=10MOHM, IMASK=1.0s, ITIMER=60.0s, DISCHARGE=ON ↵ ↵

○FORMAT=OFFのとき

SET:IW, 2.50, 1.50, 20.0, OFF, 60.0, 0.5, OFF, 10, 1.0, 60.0, ON ↵ ↵

試験モードWのとき

○FORMAT=ONのとき

SET:MODE=W, WMARK=2.50kV, WLEVEL=1.50kV, WHIGH=20.0mA, WLOW=OFF, WTIMER=60.0s ↵ ↵

○FORMAT=OFFのとき

SET:W, 2.50, 1.50, 20.0, OFF, 60.0 ↵ ↵

#### 4.2.41 MEMORY= (メモリー番号の設定)

**機能** 指定したメモリーNo. の試験条件に切替えます。

**構文** MEMORY=

: 1~9

**送信**

MEMORY=5   . . . . . 現在の試験条件をメモリーNo. 5に切替えます。  
メモリー内容に有効なWMARK=. kVがあるとき  
モータスライダー自動昇降します。

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0   . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

#### 4.2.42 MEMORY? (メモリー番号の読み出し)

**機能** 現在選択されているメモリー番号を読み出します。

**構文** MEMORY?

**送信**

MEMORY?

**応答**

MEMORY=8   . . . . . メモリーNo. 8を読み出したとき

MEMORY=OFF   . . . . . メモリーNo. が選択されていない状態を読み出したとき

4.2.43 MEM[No]: (試験条件をメモリーに設定)

**機能** 指定したメモリー番号に試験モードとパラメータを一括設定します。

**構文** MEM[No]: [試験のパラメータ]

[No]: 1~9

[試験のパラメータ]

4.2.39項(P27) SET:試験条件のパラメータ設定と同じです。

**送信**

試験モードW-Iのとき

MEM3:MODE=WI, WMARK=2.50kV, WLEVEL=1.50kV, WHIGH=20.0mA, WLOW=OFF, WTIMER=60.0s, IVOLT=0.5kV, IHIGH=OFF, ILOW=10MOHM, IMASK=1.0s, ITIMER=60.0s, DISCHARGE=ON

試験モードIのとき

MEM5:MODE=I, IVOLT=0.5kV, IHIGH=OFF, ILOW=10MOHM, IMASK=1.0s, ITIMER=60.0s, DISCHARGE=ON

**応答** 8527が有効なコマンド設定を受信したとき

ERROR=0   . . . . . 応答設定ONのとき

応答なし . . . . . 応答設定OFFのとき

4.2.44 MEM[No]:? (メモリー設定の試験条件読み出し)

**機能** 指定したメモリー番号と試験モード、各パラメータを一括して読み出します。

**構文** MEM[No]:?

[No]: 1~9

**送信**

MEM3:?

**応答**

試験モードI-Wのとき (W-Iのとき、MODE=WIになります。)

○FORMAT=ONのとき

MEM3:MODE=IW, WMARK=2.50kV, WLEVEL=1.50kV, WHIGH=20.0mA, WLOW=OFF, WTIMER=60.0s, IVOLT=0.5kV, IHIGH=OFF, ILOW=10MOHM, IMASK=1.0s, ITIMER=60.0s, DISCHARGE=ON

○FORMAT=OFFのとき

MEM3:IW, 2.50, 1.50, 20.0, OFF, 60.0, 0.5, OFF, 10, 1.0, 60.0, ON

試験モードWのとき

○FORMAT=ONのとき

MEM3:MODE=W, WMARK=2.50kV, WLEVEL=1.50kV, WHIGH=20.0mA, WLOW=OFF, WTIMER=60.0s

○FORMAT=OFFのとき

MEM3:W, 2.50, 1.50, 20.0, OFF, 60.0



## 5. スライダ電圧設定できるコマンド

---

8527は、RS-232Cインタフェースにて耐電圧試験の試験電圧設定を行うことができます。



### 設定できる条件

- ① 試験モードが、W-I、I-W、Wのいずれかであること。
- ② メモリーNo.の指定番号により設定するときは、メモリーNo.の試験条件に、スライダ電圧設定（0～5.99kV）が設定されていること。

### 設定できない条件

試験モードが、MODE=Iのとき。

### コマンドの種類

- WMARK=□.□□kVコマンドにて、自動昇降します。  
詳細は、4.2.16項参照してください。
- MEMORY=□コマンドにて、スライダ電圧設定値に自動昇降します。  
詳細は、4.2.41項参照してください。
- SET: **試験のパラメータ**コマンドにて、自動昇降します。  
詳細は、4.2.39項参照してください。

## 6. エラーについて

エラーコード	エラー内容と対策
ERROR=1	コマンドフォーマットが認識不可・文字の間違い。 例) RESSET、RST RESET と正しい文字列にしてください。
ERROR=2	パラメータが有効範囲外です。 例) ITIMER=9999 OFF又は、0.5～999s以内にしてください。
ERROR=3	設定できない状態で、パラメータを設定しようとした。 例) 試験モードI（単独絶縁抵抗試験）のとき、WMARK=5.00kVなど耐電圧試験に関するコマンドを送信しました。試験モードに合ったコマンドを送信してください。
ERROR=4	8527初期化動作中に操作を行った。 電源投入時など、初期設定状態でまだREADY状態になっていないときには、コマンド設定はできません。
ERROR=5	試験中及び判定出力中にRESET、STATUS以外の操作を行った。 MOTOR BUSY中にSTARTコマンドを送信した。 例) 設定する前に、 <b>STATUS?</b> のTEST、PROTECTION、READYなどの情報を読み出してください。 READY状態を確認してから設定コマンドを送信してください。
ERROR=6	REMOTE=OFF時、無効な操作を行った。 REMOTE=OFF時、STARTコマンドは無効になります。 REMOTE=ON設定後に行ってください。
ERROR=7	SET:時及びMEM□:時の一括設定時の構文エラーが発生しました。 例) ブザー音量 (BUZZ=3,3)など、SET:、MEM□: に定義されていないコマンド送信をしたとき
ERROR=8	試験条件設定中にコマンド送信を行った。 例) 前面パネル操作にて設定中はコマンド送信できません。 設定を終了し、READYランプを点灯状態にしてください。

下記表のエラーについては本体取扱説明書の20項エラーメッセージを参照してください。

エラーメッセージ	対 策
<i>Err CHrG</i>	コマンドを送信しても、 <b>ERROR=3</b> を必ずホストに送信します。
<i>Err SSR</i>	ハード的な問題ですので、当社又は代理店等にご連絡ください。
<i>Err LOCK</i>	<b>REMOTE/OUT</b> コネクタのピンNo.5 (INTER LOCK) がオープンになっていると、コマンドを送信しても <b>ERROR=3</b> をホストに送信します。 ピンNo.5をCOMと短絡して、RESETコマンド又は <b>STOP</b> スイッチを押してください。
<i>Err rNFE</i> <i>Err SGrF</i> <i>Err E-11</i> <i>Err E-21</i> <i>Err E-40</i>	RESETコマンド又は <b>STOP</b> スイッチを押してください。
<i>Err NoDE</i>	本体取扱説明書の20項エラーメッセージを参照してください。

## 7. 注意事項

RS-232C通信で設定した状態からREMOTE=OFF、KEYLOCK=OFFによりキー操作で設定を行った場合について

[キー操作設定途中で**EXIT**キーを押したとき]

RS-232Cで設定した値は残りません。RS-232C通信モードに入る前のメモリーなし番号の設定値に戻ります。

[キー操作設定にて**ENTER**キーを押したとき]

キー操作にて設定状態が記憶され、電源再投入しても設定値は記憶しています。



## 8. サンプルプログラム

---

```
' ○8527制御 Microsoft Visual Basic 用サンプルプログラムソースです。
',
',
', 1. フォームをロードすると8527通信設定および動作確認を行います。
', 2. Command1[SETTING]ボタンをクリックすると、試験条件・設定値の変更を行います。
',
',     ・設定内容は以下の通りです。
',
',         MODE           = WI
',         WMARK          = 2.50kV
',         WLEVEL         = OFF
',         WHIGH          = 10.0mA
',         WLOW           = OFF
',         WTIMER         = 5.0s
',         IVOLT          = 0.5kV
',         IHIGH         = OFF
',         ILOW           = 100MOHM
',         IMASK          = 0.3s
',         ITIMER         = 5.0s
',         DISCHARGE     = ON
',
', 3. Command2[START]ボタンをクリックすると、上記設定値にて自動試験を開始します。
', 4. Command3[STOP]ボタンにて試験を中止することができます。
', 5. Command4[QUIT]ボタンにてサンプルプログラムを終了します。
', 6. 通信内容および試験結果等のデータは、テキストボックス(Text1)へ随時表示を行います。
',
', ○フォーム上に配置するオブジェクトについて
', MSCComm1 :Microsoft Comm Control コンポーネント(OCX)をフォーム上に配置して下さい。
', Text1    :TextBox ※.MultiLineプロパティをTrueに設定して下さい。
', Command1 :CommandButton
', Command2 :CommandButton
', Command3 :CommandButton
', Command4 :CommandButton
```

'----- 定義 -----'

Option Explicit

Private StopFlag As Boolean '試験中断用フラグ

'ウェイト、タイムアウト検出 msecタイマー用 Windows API

Private Declare Function GetTickCount Lib "kernel32" () As Long

'8527ステータスの列挙型定義

Private Enum STB8527\_ID

sTEST = &H1	'試験動作中
sTEST_END = &H2	'試験終了
sH_V_OUT = &H4	'高電圧出力中
sREADY = &H8	'待機中
sW_TEST = &H10	'耐電圧試験中
sI_TEST = &H20	'絶縁抵抗試験中
sGOOD = &H40	'総合判定合格
sNG = &H80	'総合判定不合格
sW_HIGH = &H100	'耐電圧上限不合格
sW_LOW = &H200	'耐電圧下限不合格
sW_GOOD = &H400	'耐電圧合格
sI_HIGH = &H800	'絶縁上限不合格
sI_LOW = &H1000	'絶縁下限不合格
sI_GOOD = &H2000	'絶縁合格
sPROTECTION = &H4000	'保護回路動作

End Enum

'エラーコード列挙型定義

Private Enum EER8527\_ID

eNo_Error = 0	'正常
eSyntax_Error = 1	'コマンド表記エラー
eOut_Of_Range = 2	'有効範囲外
eCondition = 3	'設定条件エラー
eInitializing = 4	'8527初期化中
eTesting = 5	'試験実行中
eRemote_Off = 6	'REMOTE=がOFF状態
eSet_Construction = 7	'SET構文エラー
eKey_Operating = 8	'キー操作にて設定中

End Enum

```

'----- プロシージャ -----
' MSCOMM1   ポートを定義しオープンする
Private Function OpenComm(Optional PortNumber As Integer) As Boolean
Dim nPort As Integer

    On Error GoTo Err_OpenComm

    nPort = 1

    If PortNumber <> 0 Then nPort = PortNumber

    With MSCOMM1

        If .PortOpen = True Then .PortOpen = False

        .CommPort = nPort           ' ポート番号
        .Settings = "9600,n,8,1"   ' 通信設定
        .InBufferSize = 256       ' 受信バッファサイズ
        .OutBufferSize = 256      ' 送信バッファサイズ

        Call FlashBuffer          ' 送受信バッファのフラッシュ

        .Handshaking = comNone     ' ハンドシェイク
        .DTREnable = True          ' DTR
        .NullDiscard = True        ' NULL文字の破棄
        .RThreshold = 0            ' 受信イベント無し
        .ParityReplace = "?"       ' パリティエラー置換文字
        .RTSEnable = True          ' RTS
        .SThreshold = 0            ' 送信イベント無し
        .EOFEnable = False         ' EOF
        .InputMode = comInputModeText ' アスキー通信

        .PortOpen = True          ' ポートオープン

    End With

Exit_OpenComm:
    OpenComm = True
    ShowLog "OpenComm", "No." & nPort & " 9600,n,8,1 OK"
    Exit Function

Err_OpenComm:
    OpenComm = False
    ShowLog "OpenComm", "NG"
    MsgBox "An error occurred in OpenComm.", vbCritical
    Exit Function
End Function

```

```
'MSCOMM1   ポートをクローズする
Private Sub CloseComm()

    On Error GoTo Exit_CloseComm

    With MSCOMM1
        If .PortOpen = True Then
            .PortOpen = False 'ポートクローズ
            Call FlashBuffer 'バッファのフラッシュ
            .RTSEnable = False
            .DTREnable = False
        End If
    End With

    ShowLog "CloseComm", "OK"

Exit_CloseComm:
    Exit Sub
End Sub

'MSCOMM1   送受信バッファのフラッシュ
Private Sub FlashBuffer()

    With MSCOMM1
        .InBufferCount = 0
        .OutBufferCount = 0
    End With

End Sub

'Text1   文字列をログ表示
Private Sub ShowLog(Optional ByVal dat1 As Variant, Optional ByVal dat2 As Variant)

    With Text1
        If Len(.Text) >= .MaxLength Then .Text = Right(.Text, 256)
        .SelStart = Len(.Text)
        .SelText = dat1 & ":" & dat2 & vbCrLf
    End With

End Sub
```

```

'MSCOMM1 コマンドの送信とレスポンスの受信
Private Function SendComm(ByVal sSendCommand As String, Optional ByRef sRecvBuffer As String) As Boolean
Dim sSend As String '送信文字列
Dim sRecv As String '受信文字列バッファ
Dim nTMO As Long 'タイムアウト

    On Error GoTo Err_SendComm

    '受信タイムアウトを1sに設定
    nTMO = GetTickCount + 1000

    '送信文字を半角+CRLF
    sSend = StrConv(sSendCommand, vbNarrow)
    ShowLog "Send", sSend
    sSend = sSend & vbCrLf

    With MSCOMM1
        FlashBuffer
        .Output = sSend '文字列の送信
    End With

    Do

        DoEvents

        sWait 0.1 '100msのウェイト

        With MSCOMM1
            If .InBufferCount > 0 Then '受信バッファ(ポート)に文字有
                sRecv = sRecv & .Input '受信文字列バッファに保存
                'Debug.Print sRecv
            End If
        End With

        If InStr(sRecv, vbCrLf) > 0 Then '受信文字列バッファにデリミタ有
            sRecv = Left(sRecv, InStr(sRecv, vbCrLf) - 1) 'デリミタ以降を切捨
            ShowLog "Recv", sRecv
            Exit Do
        End If

        If GetTickCount >= nTMO Then 'タイムアウト条件
            ShowLog "SendComm", "TMO Error"
            GoTo Err_SendComm:
        End If

    Loop

Exit_SendComm: '正常終了
    sRecvBuffer = sRecv
    SendComm = True
    Exit Function

Err_SendComm: '異常終了
    sRecvBuffer = ""
    SendComm = False
    MsgBox "An error occurred in SendComm.", vbCritical
    Exit Function
End Function

```

```

'レスポンス内容に応じメッセージを表示する
'エラーメッセージ時: False
Private Function ErrorHandler(ByVal sResponse As String) As Boolean
Dim nError As EER8527_ID

'エラーレスポンス
If sResponse Like "ERROR=*" Then

    If sResponse <> "ERROR=0" Then 'エラー

        nError = CLng(Right(sResponse, 1))

        Select Case nError
        Case eNo_Error '0
            ' ShowLog "ERROR", "No Error."
        Case eSyntax_Error '1
            ShowLog "ERROR", "Syntax error."
        Case eOut_Of_Range '2
            ShowLog "ERROR", "Out of range."
        Case eCondition '3
            ShowLog "ERROR", "Condition error of the parameter."
        Case eInitializing '4
            ShowLog "ERROR", "Being initialized."
        Case eTesting '5
            ShowLog "ERROR", "Testing."
        Case eRemote_Off '6
            ShowLog "ERROR", "Remote Off."
        Case eSet_Construction '7
            ShowLog "ERROR", "Construction error of an order for a SET or MEM."
        Case eKey_Operating '8
            ShowLog "ERROR", "Being set up by the key operation."
        Case Else
            ShowLog "ERROR", "Undefined Error."
        End Select

        GoTo Err_ErrorHandler:

    End If

End If

Exit_ErrorHandler:
    ErrorHandler = True
    Exit Function

Err_ErrorHandler:
    ErrorHandler = False
    Exit Function
End Function

'secウェイトプロシージャ
Private Sub sWait(ByVal sngSec As Single)
Dim lngStart As Long, lngEnd As Long
If sngSec = 0 Then Exit Sub
lngStart = GetTickCount()
lngEnd = lngStart + (sngSec * 1000)
Do While GetTickCount() < lngEnd
    DoEvents
Loop
End Sub

```

```
'フォーム読込
Private Sub Form_Load()

    With Text1
        .MultiLine = True
        .MaxLength = 4096
        .Text = ""
    End With

    Command1.Caption = "&SETTING"
    Command2.Caption = "&START"
    Command3.Caption = "&STOP"
    Command4.Caption = "&QUIT"

End Sub

'フォームアクティブ時に実行する
Private Sub Form_Activate()
    Static MeActive As Boolean

    If MeActive Then Exit Sub

    MeActive = True

Dim szBuf As String

'No.1 ポートオープン
If OpenComm(1) = False Then GoTo Err_Form_Activate:

'8527 レスポンスON
If SendComm("RESPONSE=ON", szBuf) = False Then GoTo Err_Form_Activate:
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Err_Form_Activate:

'8527 リモート制御ON
If SendComm("REMOTE=ON", szBuf) = False Then GoTo Err_Form_Activate:
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Err_Form_Activate:

'8527 レスポンスフォーマットOFF
If SendComm("FORMAT=3", szBuf) = False Then GoTo Err_Form_Activate:
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Err_Form_Activate:

'8527 機器情報取得
If SendComm("IDNT?", szBuf) = False Then GoTo Err_Form_Activate:
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Err_Form_Activate:

    Command1.Enabled = True
    Command2.Enabled = False
    Command3.Enabled = False
Exit_Form_Activate:
    Exit Sub

Err_Form_Activate:
    Command1.Enabled = False
    Command2.Enabled = False
    Command3.Enabled = False
    Exit Sub
End Sub
```

```
Private Sub Form_QueryUnload(Cancel As Integer, UnloadMode As Integer)

    If Not Command4.Enabled Then
        Cancel = True
        Exit Sub
    End If

    ' フォーム終了時に8527をローカルへリセット
    If Command1.Enabled Then
        Call SendComm("RESET")
        Call SendComm("KEYLOCK=OFF")
        Call SendComm("REMOTE=OFF")
    End If

    Call CloseComm 'ポートをクローズ

End

End Sub

' 試験のスタート
Private Sub Command2_Click()
Dim szBuf As String, nSTB As STB8527_ID

    StopFlag = False
    Command1.Enabled = False
    Command2.Enabled = False
    Command3.Enabled = True
    Command4.Enabled = False

    ' スタート前にステータス確認
    If SendComm("STATUS?", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
    If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:

    szBuf = "&H" & szBuf
    If IsNumeric(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
    nSTB = CLng(szBuf)
    If (nSTB And sREADY) = 0 Then
        MsgBox "Can not START.", vbCritical
        GoTo Exit_Command2_Click:
    End If

    ' RESETコマンド
    If SendComm("RESET", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
    If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:

    ' STARTコマンド
    If SendComm("START", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
    If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:

Do

    DoEvents

    sWait 0.5 '500msのウェイト
```



```
' STOPボタンが押された
If StopFlag Then
    If SendComm("RESET", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
    If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
    GoTo Exit_Command2_Click:
End If

' 試験中のステータス確認
If SendComm("STATUS?", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:

nSTB = CLng("&H" & szBuf)

' プロテクション動作有
If nSTB And sPROTECTION Then
    ShowLog "STATUS", "PROTECTION"
    GoTo Exit_Command2_Click:
End If

If nSTB And sI_TEST Then Debug.Print "I_TESTING"
If nSTB And sW_TEST Then Debug.Print "W_TESTING"

' 試験動作完了時
If (nSTB And sH_V_OUT) = 0 Then Exit Do ' 電圧遮断 / 試験が停止

Loop

' 試験動作完了後に判定取得
If SendComm("JUDGE?", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
' ※受信した文字は、テキストボックスへログ表示

' 試験動作完了後に判定と測定データ取得
If SendComm("DATA?", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
' ※受信した文字は、テキストボックスへログ表示

' リセットを行う
If SendComm("RESET", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command2_Click:

Exit_Command2_Click:
    StopFlag = False
    Command1.Enabled = True
    Command2.Enabled = True
    Command3.Enabled = False
    Command4.Enabled = True
    Exit Sub
End Sub

Private Sub Command3_Click()
    StopFlag = True
End Sub
```

' 8527の初期設定

```
Private Sub Command1_Click()
```

```
Dim szBuf As String, nSTB As STB8527_ID
```

```
Dim Sets As String
```

```
Command1.Enabled = False
```

```
Command2.Enabled = False
```

```
Command3.Enabled = False
```

```
' SET:コマンド送信
```

```
If SendComm("STATUS?", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command1_Click:
```

```
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command1_Click:
```

```
szBuf = "&H" & szBuf
```

```
If IsNumeric(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command1_Click:
```

```
nSTB = CLng(szBuf)
```

```
If (nSTB And sREADY) = 0 Then
```

```
    MsgBox "It is not the condition which can be setup.", vbCritical
```

```
    GoTo Exit_Command1_Click:
```

```
End If
```

```
' SET:コマンドの構築
```

```
Sets = "SET:" & "MODE=WI"
```

```
Sets = Sets & "," & "WMARK=2.50kV"
```

```
Sets = Sets & "," & "WLEVEL=OFF"
```

```
Sets = Sets & "," & "WHIGH=10.0mA"
```

```
Sets = Sets & "," & "WLOW=OFF"
```

```
Sets = Sets & "," & "WTIMER=5.0s"
```

```
Sets = Sets & "," & "IVOLT=0.5kV"
```

```
Sets = Sets & "," & "IHIGH=OFF"
```

```
Sets = Sets & "," & "ILOW=100MOHM"
```

```
Sets = Sets & "," & "IMASK=0.3s"
```

```
Sets = Sets & "," & "ITIMER=5.0s"
```

```
Sets = Sets & "," & "DISCHARGE=ON"
```

```
' SET:コマンド送信
```

```
If SendComm(Sets, szBuf) = False Then GoTo Exit_Command1_Click:
```

```
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command1_Click:
```

```
' RESETコマンド送信
```

```
If SendComm("RESET", szBuf) = False Then GoTo Exit_Command1_Click:
```

```
If ErrorHandler(szBuf) = False Then GoTo Exit_Command1_Click:
```

```
Command2.Enabled = True
```

```
Command3.Enabled = True
```

```
Exit_Command1_Click:
```

```
Command1.Enabled = True
```

```
Exit Sub
```

```
End Sub
```

```
' 終了ボタン
```

```
Private Sub Command4_Click()
```

```
Unload Me
```

```
End Sub
```



●この取扱説明書の仕様は、2019年9月現在のものです。

# TSURUGA 鶴賀電機株式会社

大阪営業所 〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東1丁目10番6号太陽生命大阪南ビル5F TEL 06(4703)3874(代) FAX 06(4703)3875  
名古屋営業所 〒460-0015 名古屋市中区大井町5番19号サンプラザ東別院ビル2F TEL 052(332)5456(代) FAX 052(331)6477  
横浜営業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1丁目29番15号 TEL 045(473)1561(代) FAX 045(473)1557

当製品の技術的なご質問、ご相談は下記まで問い合わせください。

技術サポートセンター 0120-784646

受付時間:土日祝日除く 9:00~12:00/13:00~16:00

ホームページ URL <http://www.tsuruga.co.jp/>

MODEL 5858 - 08

リレー出力ユニット

---

取扱説明書

鶴賀電機株式会社

# 1 . はじめに

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は、本製品をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取り計らいください。また、いつでも読めるよう本製品の近くに備えてください。

# 2 . 概要

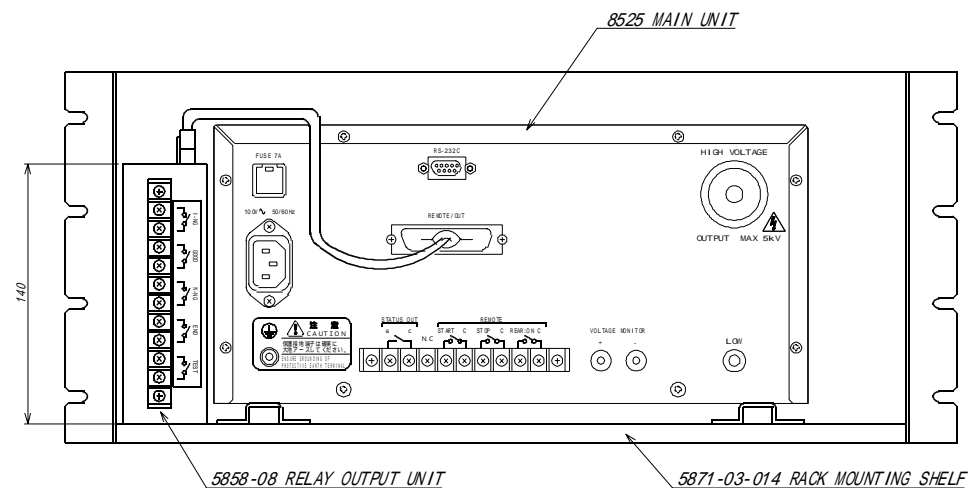
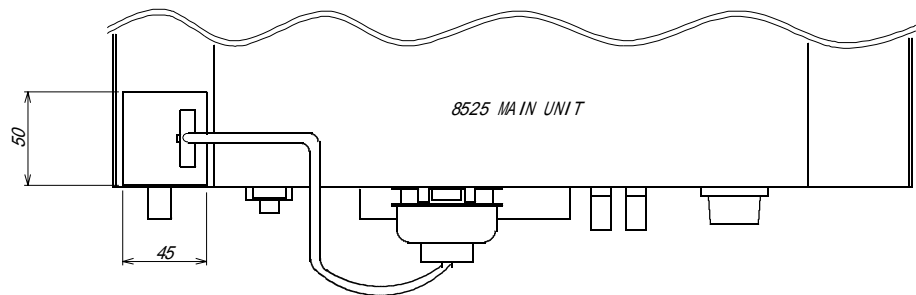
本器は、自動耐電圧絶縁試験器：8525のオープンコレクタ出力をリレー接点出力に変換するユニットです。  
8525の[REMOTE/OUT]コネクタに接続して使用します。

# 3 . 仕様

- |             |   |
|-------------|---|
| 1 . 出力信号    | 5点 (1a接点出力, 接点容量AC100V 1A/DC30V 1A(抵抗負荷)) |
| (1) T E S T | 試験動作中                                     |
| (2) G O O D | 試験合格判定時                                   |
| (3) W - N G | 耐電圧試験不合格判定時                               |
| (4) I - N G | 絶縁抵抗試験不合格判定時                              |
| (5) E N D   | 試験終了時                                     |

2 . 出力端子配列	出力信号名	I - N G	G O O D	W - N G	E N D	T E S T
	端子台番号	1	2	3	4	5
		6	7	8	9	10

- |            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 3 . 動作周囲温度 | 0 ~ 40                          |
| 4 . 動作湿度範囲 | 20 ~ 80% RH (結露なきこと)            |
| 5 . 保存温湿度  | -20 ~ 70      90% RH以下 (結露なきこと) |
| 6 . 外形     | 45W × 140H × 50Dmm              |



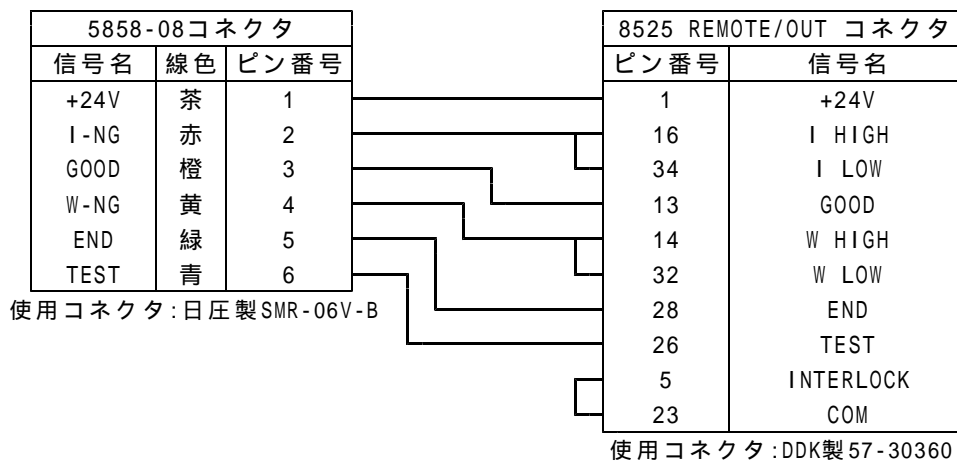
(ラックマウント金具に本体とリレー出力ユニットを取り付けた状態です)

7. 付属品 取付ねじ 2個

ユニットをラックマウント金具に取り付けるねじです。

接続線（長さ：300mm） 1本

ユニットと8525を接続する線です。接続線は下表の配線をしています。



●この取扱説明書の仕様は、2002年9月現在のものです。

# TSURUGA 鶴賀電機株式会社

大阪営業所 〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東1丁目10番6号太陽生命大阪南ビル5F TEL 06(4703)3874(代) FAX 06(4703)3875  
横浜営業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1丁目29番15号 TEL 045(473)1561(代) FAX 045(473)1557  
東京営業所 〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目25番16号MLJ五反田ビル7F TEL 03(5789)6910(代) FAX 03(5789)6920  
名古屋営業所 〒460-0015 名古屋市中区大井町5番19号サパール東別院ビル2F TEL 052(332)5456(代) FAX 052(331)6477

当製品の技術的なご質問、ご相談は下記まで問い合わせください。

技術サポートセンター 0120-784646

受付時間:土日祝日除く 9:00~12:00/13:00~17:00

ホームページ URL <http://www.tsuruga.co.jp/>

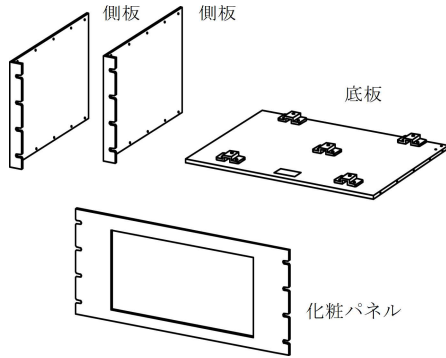


# 取扱説明書

8526 / 8527用  
5871-03-015  
ラック取付方法

①ラックケース部品と付属品があることを確認してください。

(1)ラックケース部品



※側板は左右共用です。  
※底板と化粧パネルは取付方向が有ります(シール貼付)。

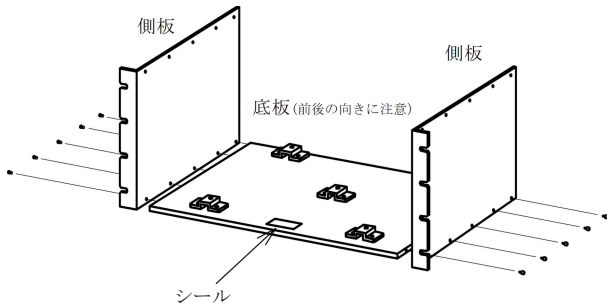
(2)付属品



	名称	数量
A	皿丸ねじ (M5×15)	8 個
B	ローゼット	8 個
C	取付ねじ (M4×8)	15個 (8526では4個使用のため1個余ります)

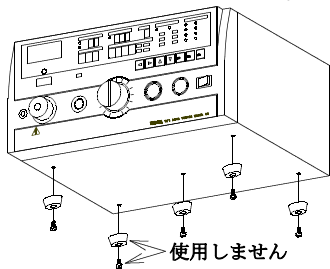
②ラックケースを組み立てます。

付属品の取付ねじ[C]で、左右各5ヶ所ねじ止めしてください。

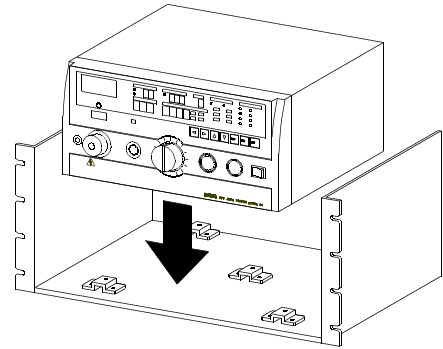


③本体のゴム足を外します。

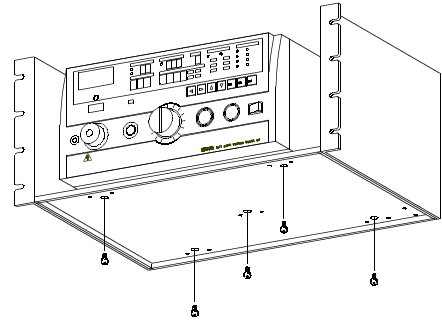
外したねじはラック取付け時には使用しないでください。  
8526には中央のゴム足はありません。



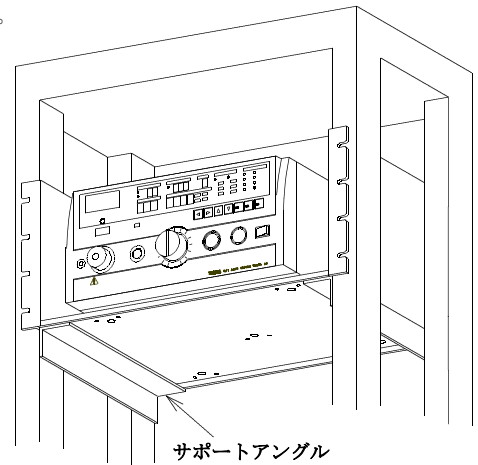
④本体をラックの上に乗せます。



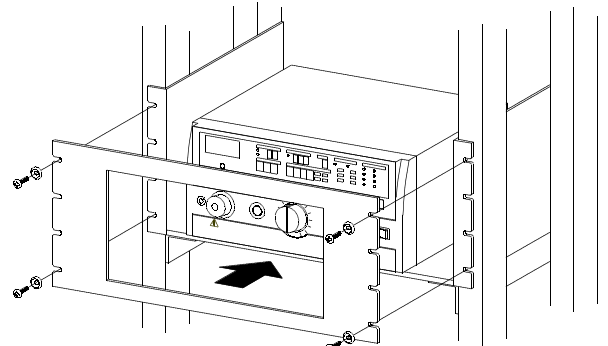
⑤付属品の取付ねじ[C]で、5ヶ所ねじ止めしてください。  
(8526は4ヶ所をねじ止め)



⑥取付ラックパネルに応じたサポートアングルで補強対策してください。



⑦皿丸ねじ[A]とローゼット[B]で化粧パネルを取付けます。



●この取扱説明書は、2013年12月現在のものです。

# TSURUGA

## 鶴賀電機株式会社

大阪営業所 〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東1丁目10番6号太陽生命大阪南ビル5F TEL 06(4703)3874(代) FAX 06(4703)3875  
 横浜営業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1丁目29番15号 TEL 045(473)1561(代) FAX 045(473)1557  
 東京営業所 〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目25番16号MLJ五反田ビル7F TEL 03(5789)6910(代) FAX 03(5789)6920  
 名古屋営業所 〒460-0015 名古屋市中区大井町5番19号ツルガ-く東別院ビル2F TEL 052(332)5456(代) FAX 052(331)6477

当製品の技術的なご質問、ご相談は下記までお問い合わせください。

技術サポートセンター 0120-784646

受付時間:土日祝日除く 9:00~12:00/13:00~17:00

ホームページ URL <http://www.tsuruga.co.jp/>